

3.2 制度の利用者など特定の層を調査対象とした個別事業評価

制度の利用者など特定の層を調査対象とした個別事業評価については、テーマごとの調査票で調査を実施した。調査対象、回収率、回答者の属性については、各テーマの調査結果に記載する。

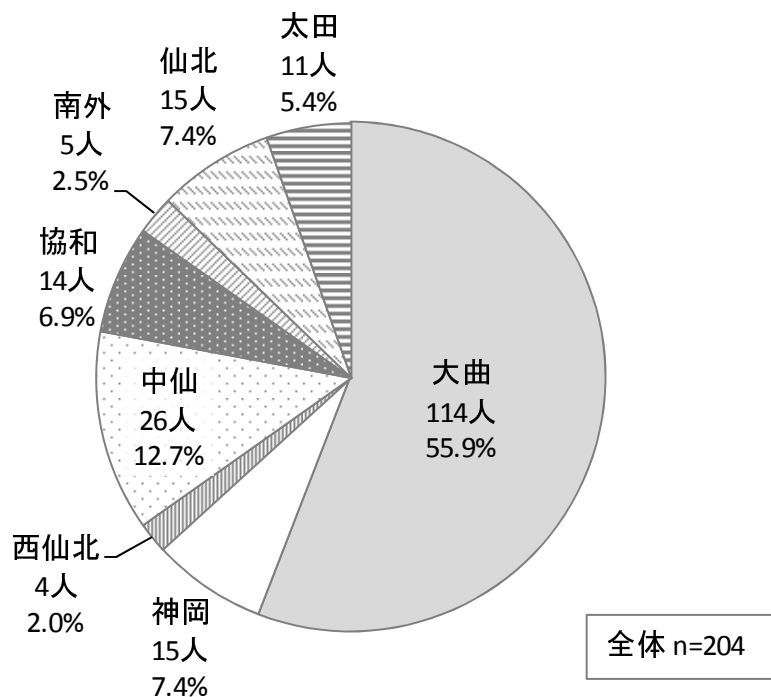
3.2.1 地域子育て支援拠点事業について

(健康福祉部子ども支援課)

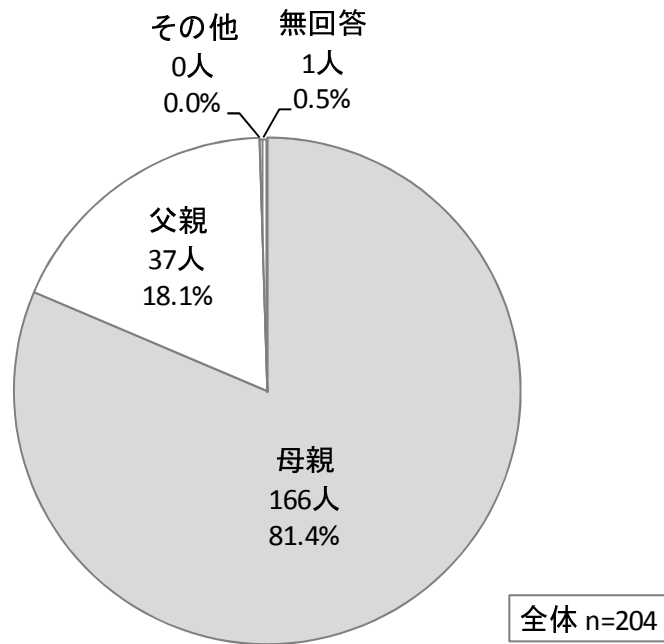
- ◆ 調査目的：市では、子育て家族を地域で支える取り組みとして、子育て中の親子の交流や育児相談、子育てに関する講習等を実施する「子育て支援拠点施設」を開設している。本調査では、子育て世代の方に、子育て支援拠点施設の利用状況や子育てに関するご意見を伺い、今後の施設運営や子育て支援事業を推進していくための参考とする。
- ◆ 調査対象：「子育て支援拠点施設」の対象となる、小学校3年生までのお子さんの中から無作為に300人を抽出し、その保護者の方300人。
- ◆ 回収数：204人
- ◆ 回収率：68.0%

回答者の属性

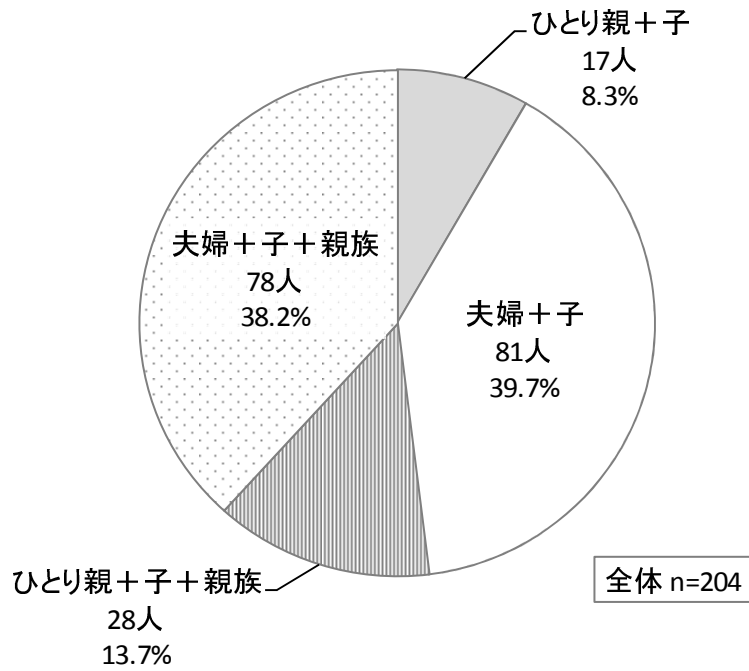
【地域】



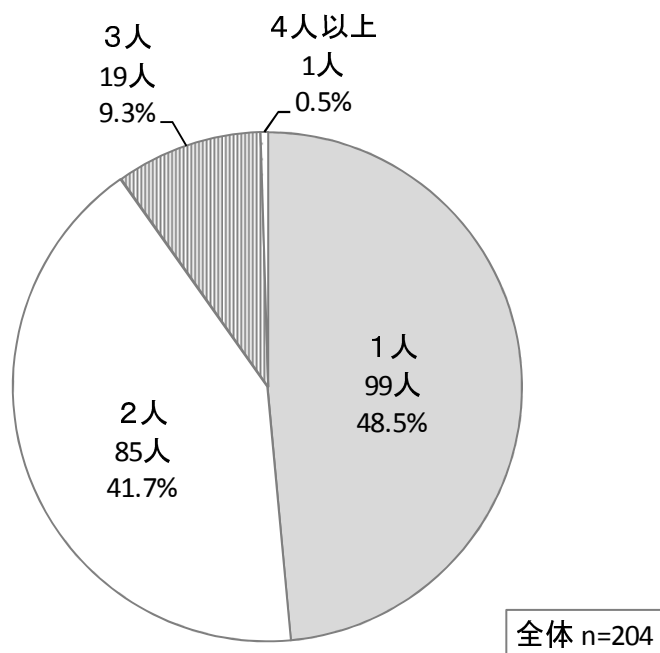
【保護者】



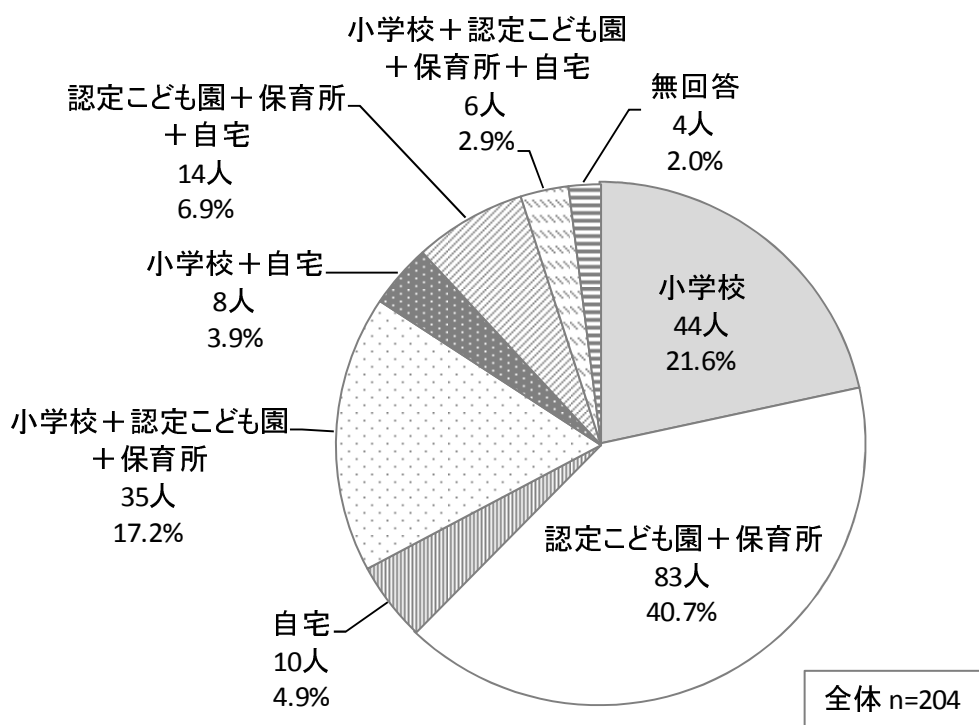
【家族構成】



【小学生3年生以下の子供の人数】

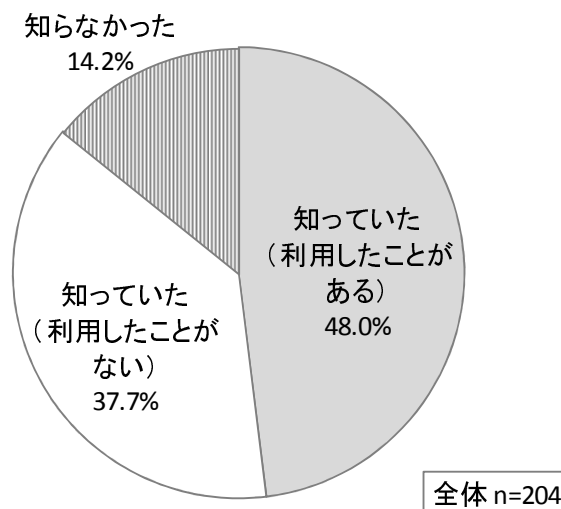


【普段日中、お子さんが過ごしている場所】

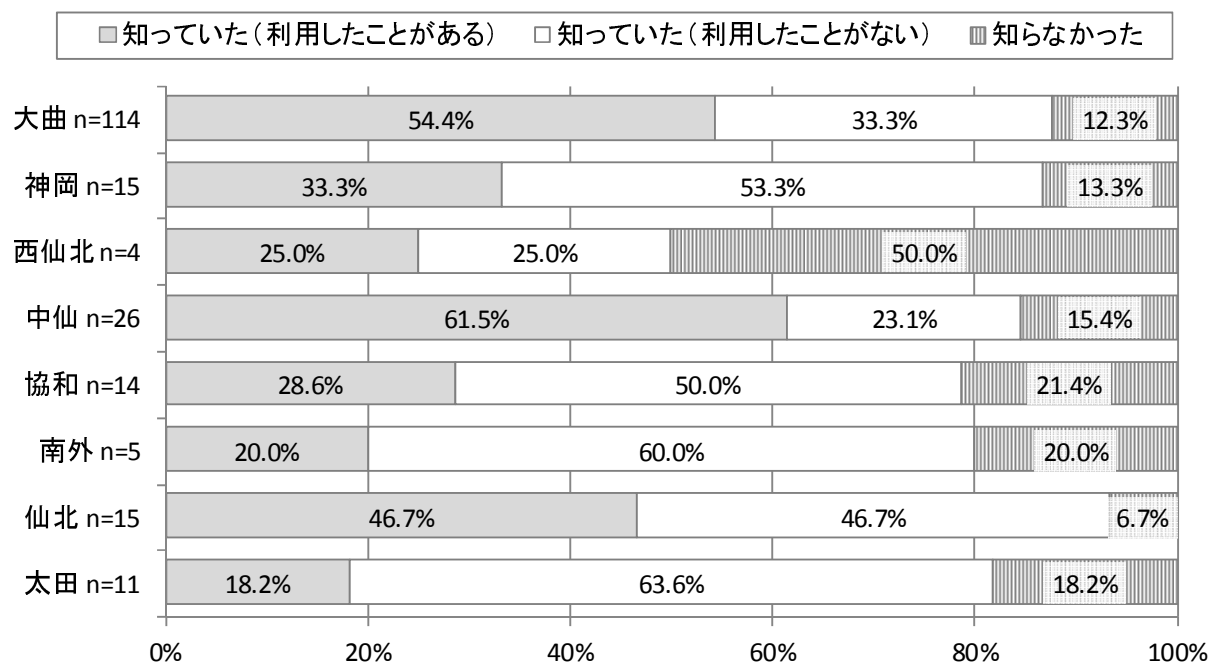


【問1】市の「子育て支援拠点施設」を知っていましたか。

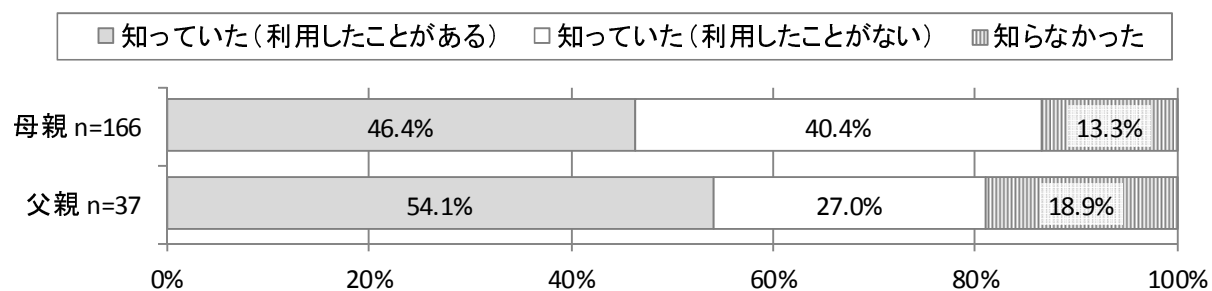
- 全体では、「知っていた（利用したことがある）」または「知っていた（利用したことがない）」と回答した方の割合を合わせると85.7%で、8割以上が「知っていた」と回答している。「知っていた（利用したことがある）」と回答した方は48.0%で、約半数が実際に利用したことがあると回答している。
- 地域別で見ると、西仙北地域以外では約8割またはそれ以上の方が「知っていた」と回答している。西仙北地域は回答数が少ないが、半数の方が「知らなかった」と回答している。また、「知っていた（使用したことがない）」と回答した方の割合は、施設所在地である大曲、西仙北、中仙地域では2～3割となっているが、それ以外の地域では4～6割と大きくなっている。
- 保護者別で見ると、「知っていた」と回答した方の割合は、母親の方が大きくなっており、「知っていた（利用したことがある）」と回答した方の割合は、父親の方が大きくなっている。

【全体】


【地域別】



【保護者別】



【問2-1】 どの施設を利用しましたか。

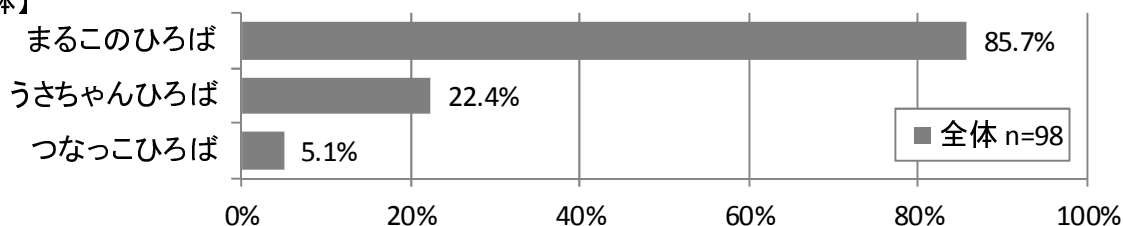
(問1で「1. 知っていた(利用したことがある)」と回答した方)

○全体では、「まるこのひろば」と回答した方が85.7%で突出して最も多く、次いで「うさちゃんひろば」が22.4%、「つなっこひろば」が5.1%となっている。

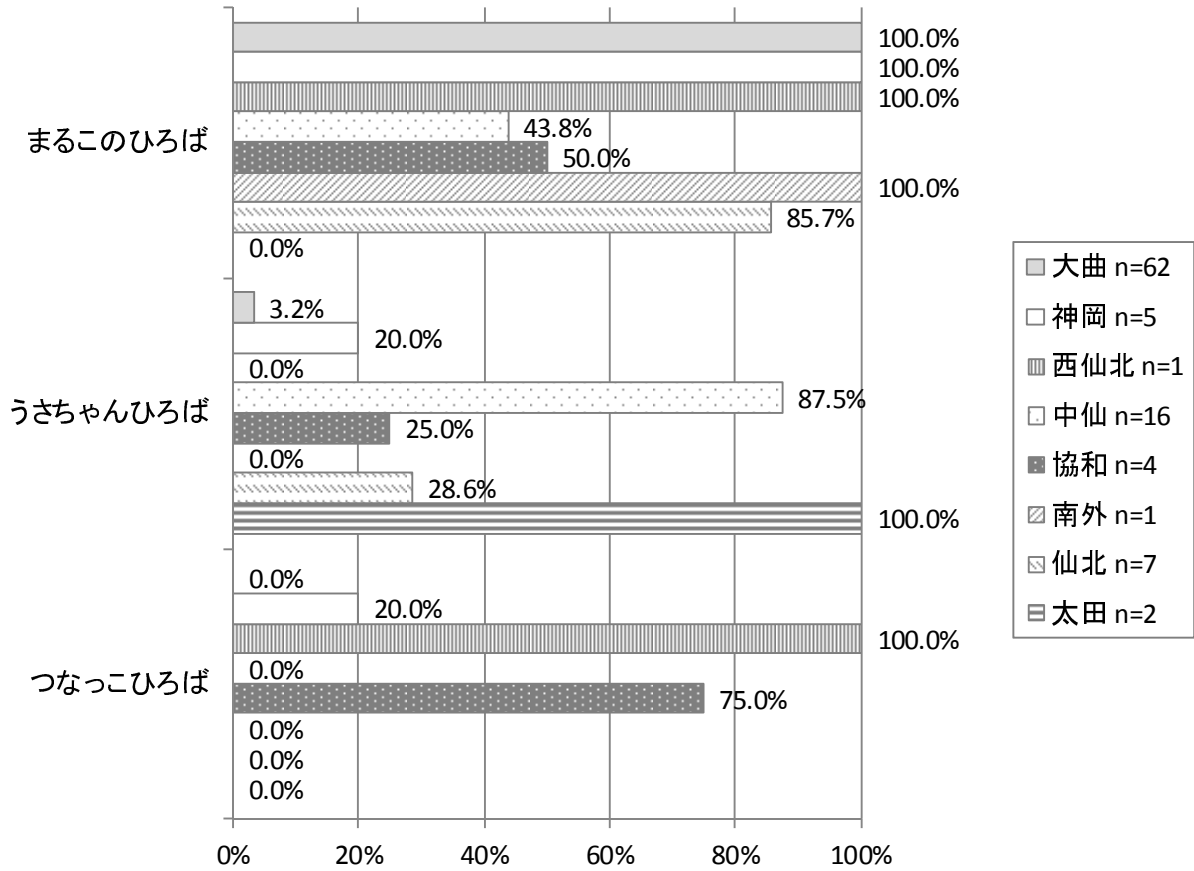
○地域別で見ると、「まるこのひろば」は4地域で100.0%、仙北地域で85.7%と利用率が大きくなっている。また、「うさちゃんひろば」は中仙、太田地域などの東部地域、「つなっこひろば」は西仙北、協和地域などの西部地域の割合が大きくなっている。

○保護者別で見ると、「まるこのひろば」と回答した方は父親の方の割合が大きくなっており、「うさちゃんひろば」と回答した方は母親の方の割合が大きくなっている。「つなっこひろば」と回答した方はほぼ同じ割合となっている。

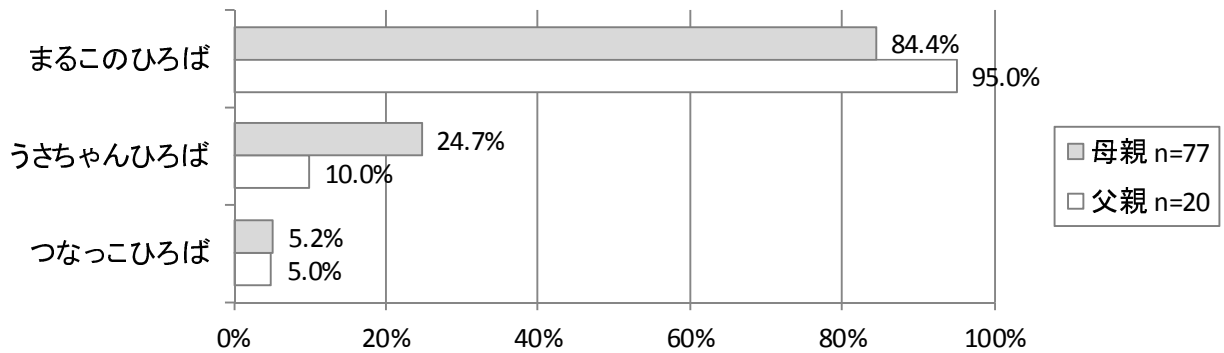
【全体】



【地域別】



【保護者別】



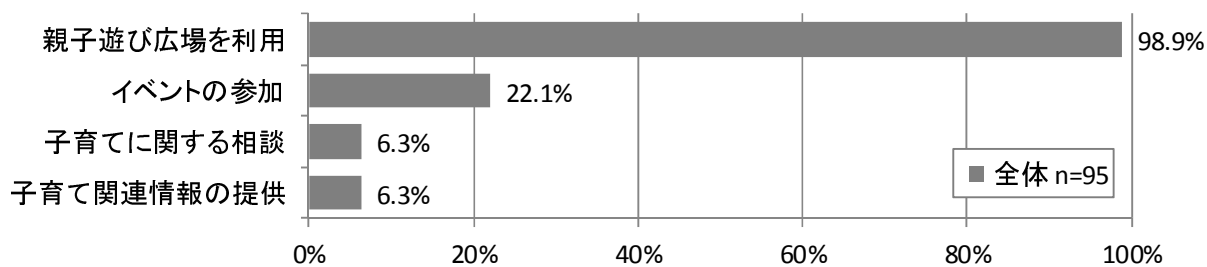
【問 2-2】どのようなサービスを利用しましたか。

(問 1 で「1. 知っていた (利用したことがある)」と回答した方)

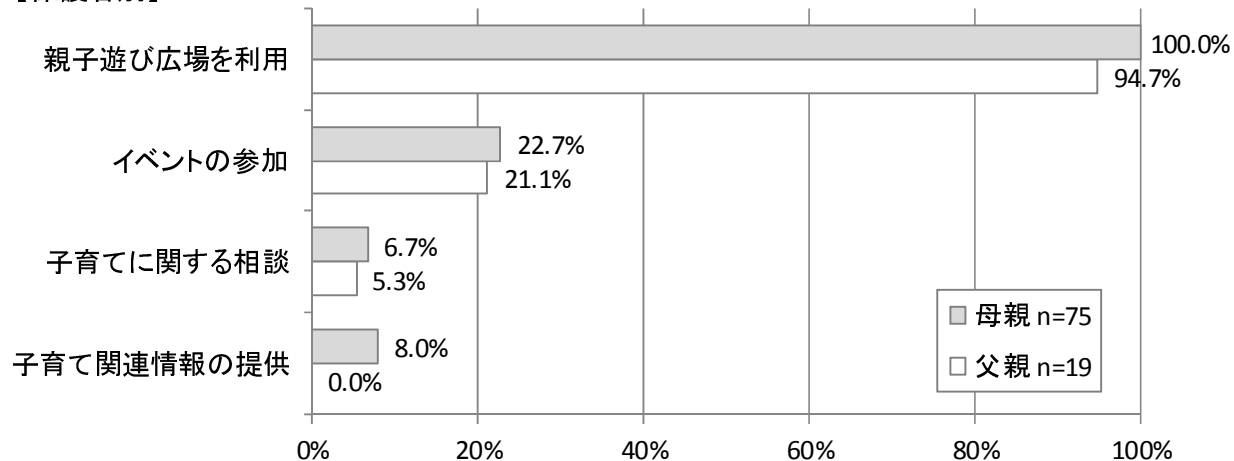
○全体では、「親子遊び広場を利用」と回答した方が 98.9%で突出して最も多く、次いで「イベントの参加」が 22.1%、「子育てに関する相談」と「子育て関連情報の提供」がどちらも 6.3%となっている。

○保護者別で見ると、どちらも同様の傾向となっているが、母親の「親子遊び広場を利用」は 100.0%となっており、父親の「子育て関連情報の提供」は 0.0%となっている。

【全体】



【保護者別】



【問2-3】 また利用したいと思いますか。

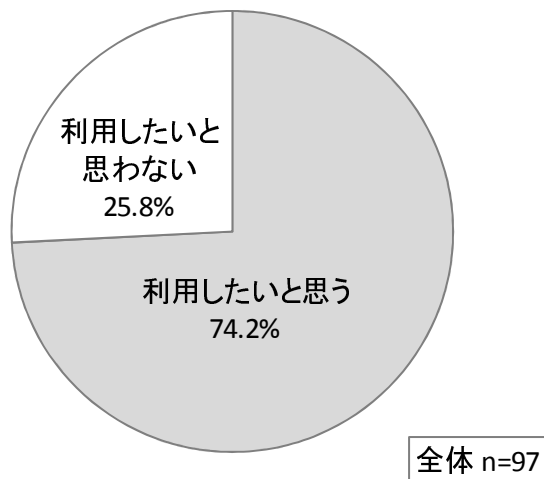
(問1で「1. 知っていた(利用したことがある)」と回答した方)

○全体では、「利用したいと思う」と回答した方が74.2%となっており、7割以上を占めている。

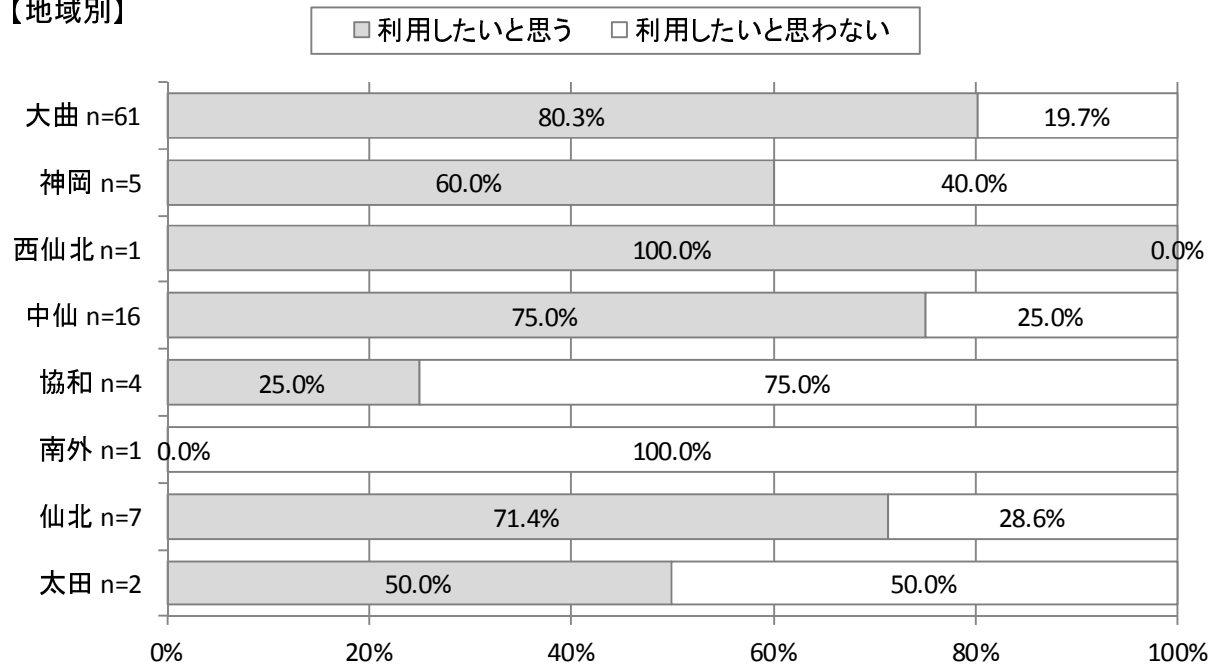
○地域別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は大曲、西仙北、中仙、仙北地域で7割以上となっており、子育て支援拠点施設の所在地域や近隣地域で割合が大きくなっている。協和、南外地域では「利用したいと思わない」と回答した方の割合が他の地域よりも大きく、7割以上となっている。

○保護者別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は、母親では67.5%であるのに対し、父親では100.0%となっている。

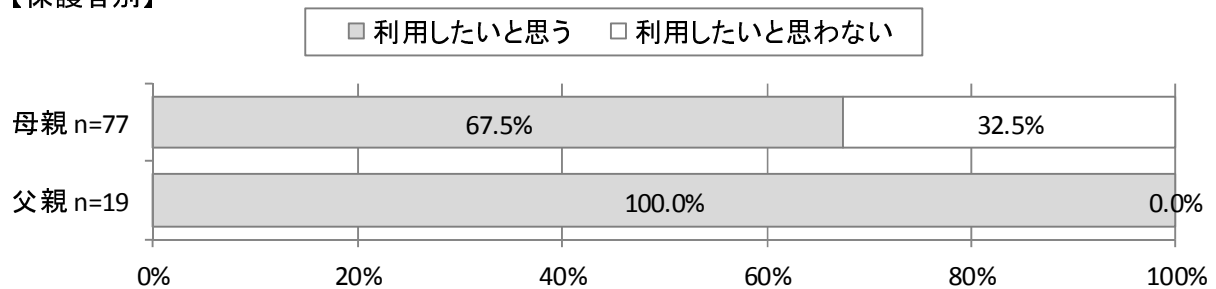
【全体】



【地域別】



【保護者別】



■ 「利用したいと思わない」の理由

- スポ少があり、土日忙しい。子供が大きくなって遊ぶには狭い。(大曲/母親)
- 雰囲気がとても暗かった。人も暗かった。横手のY2プラザのような遊び用具が少ない。(中仙/母親)
- 色々病気がうつるか心配 (【母親】神岡、仙北)
- 自宅から遠い。ママグループがいて入りづらかった。(協和/母親)
- 子供が大きくなってきたので、遊びや遊具が合わない。(【母親】大曲11名、神岡、中仙、仙北、協和2名)
- 今は就業しているため (中仙/母親)
- 小学校、保育園へ行っているため、行く(利用する)機会がなくなった (【母親】中仙、南外、太田)

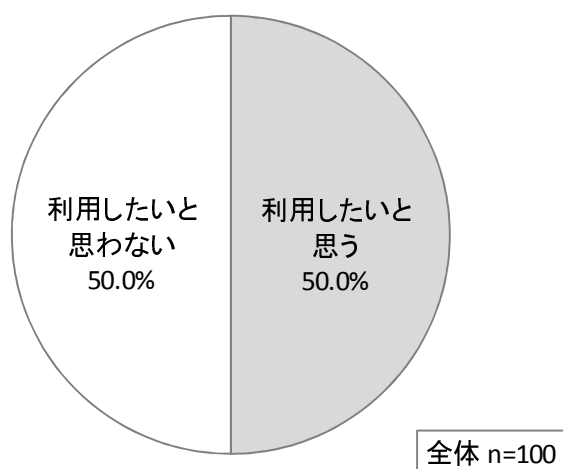
【問3】 今後、利用したいと思いますか。（問1で「2. 知っていた（利用したことがない）」、「3. 知らなかった」と回答した方）

○全体では、「利用したいと思う」と回答した方と「利用したいと思わない」と回答した方はちょうど半数ずつとなっている。

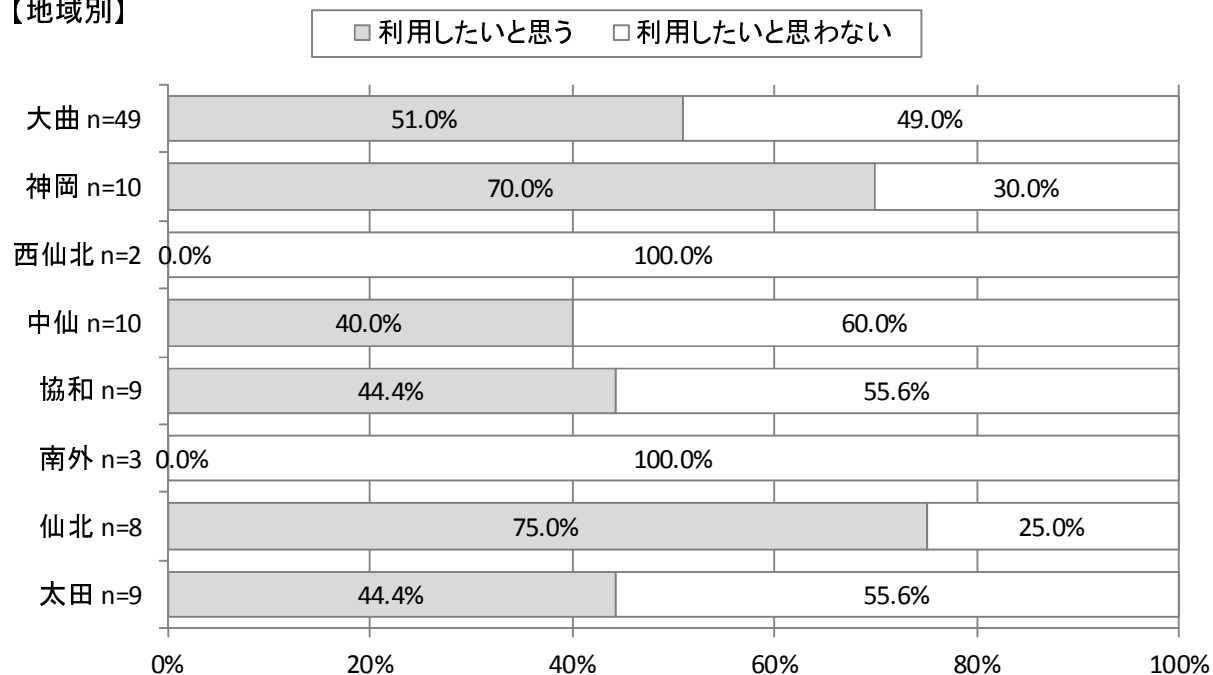
○地域別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方の割合は神岡、仙北地域で大きくなっており、7割以上を占めている。一方、「利用したいと思わない」と回答した方は西仙北、南外地域でいずれも100.0%となっている。

○保護者別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は、母親では53.0%で半数以上となっているのに対し、父親では35.3%と少なくなっている。

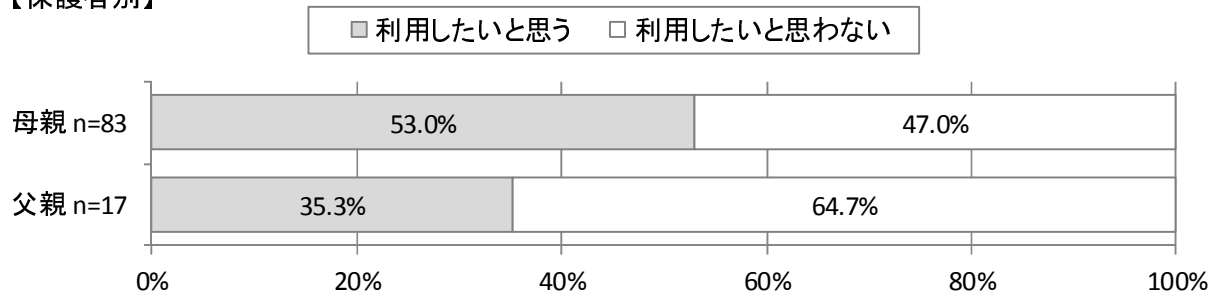
【全体】



【地域別】



【保護者別】



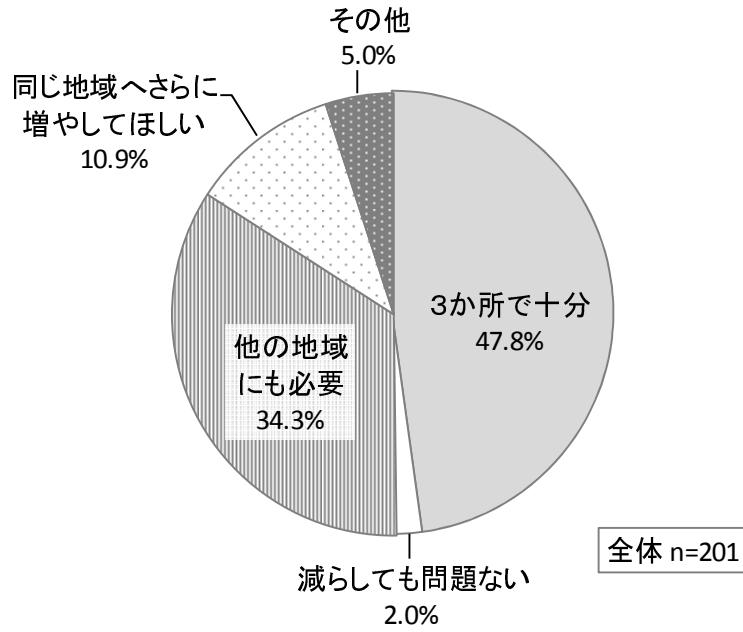
■「利用したいと思わない」の理由

- 入りづらい。外から見たときママさん達グループに分かれていて入って行きづらい。(【母親】大曲、神岡)
- 必要ない(【母親】大曲2名、西仙北2名、南外2名、【父親】大曲3名)
- 小学校、保育園へ行っているのもう必要ない(【母親】大曲3名、神岡、中仙、仙北、太田、【父親】大曲、仙北)
- よくわからない(どんな事ができるのか)(【母親】大曲3名、協和、【父親】大曲、太田)
- 時間がない(【母親】大曲、協和2名、【父親】中仙)
- 自宅で十分だから(【母親】大曲、協和)
- コロナ(神岡/父親)
- 情報が少ないため(大曲/母親)
- 行ける日と利用日が合わない(【母親】仙北、中仙、太田、【父親】中仙)
- なんとなく(南外/母親)
- 知的障がいがあるため、迷惑がかかるから(大曲/母親)
- 遠い。見てくれる人がいる。(【母親】大曲、協和)

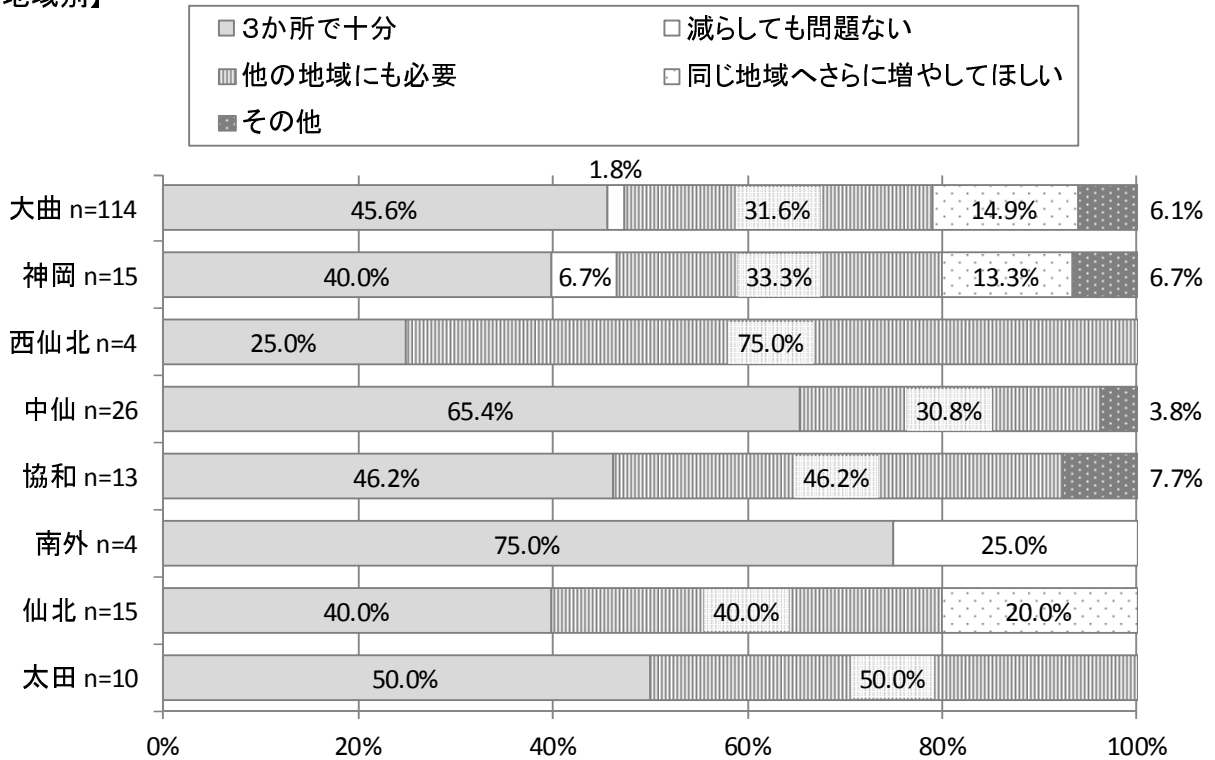
【問4】現在、子育て支援拠点施設は市内3か所で開所していますが、施設の数や地域についてどのように思われますか。

- 全体では、「3か所で十分」と回答した方が47.8%で最も多く、次いで「他の地域にも必要」が34.3%、「同じ地域へさらに増やしてほしい」が10.9%となっている。
- 地域別で見ると、大曲、神岡、中仙、南外地域では「3か所で十分」と回答した方が最も多く、西仙北地域では「他の地域にも必要」と回答した方が最も多くなっている。それ以外の地域では「3か所で十分」と「他の地域にも必要」が同じ割合で最も多くなっている。また、南外地域では、「減らしても問題ない」の割合が他の地域に比べて大きくなっている。
- 保護者別で見ると、「3か所で十分」と回答した方の割合は母親の方が大きくなっており、「他の地域にも必要」と回答した方の割合は父親の方が大きくなっている。

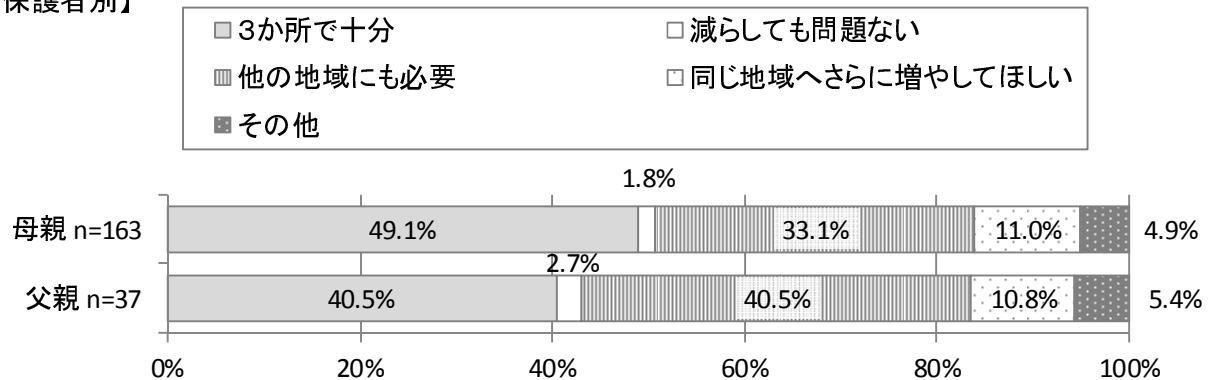
【全体】



【地域別】



【保護者別】



■その他の回答

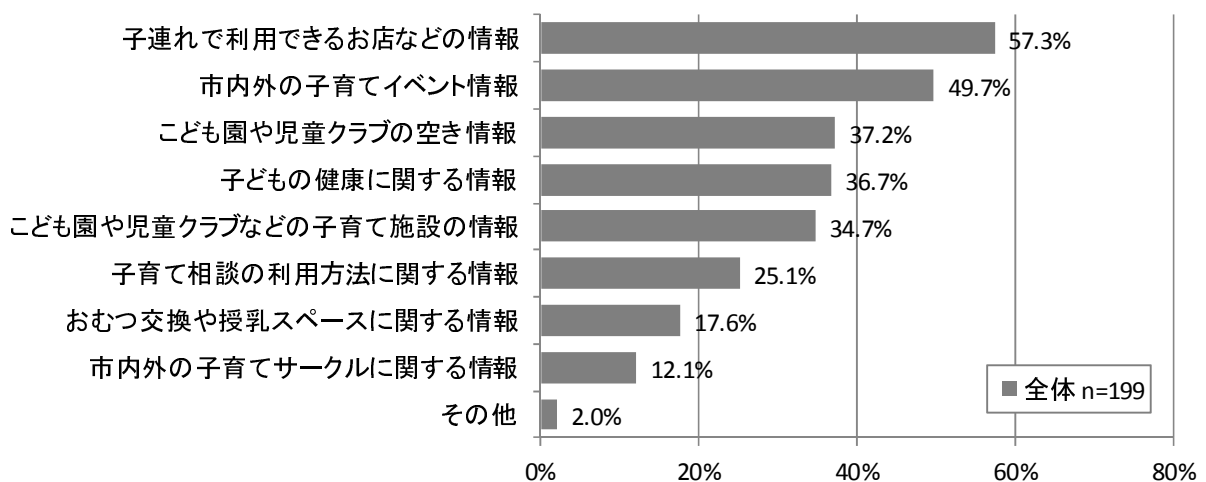
- 1か所に大きな所をつくって遊べるようにしてほしい。(中仙/母親)
- よく分からない(大曲/母親3名)
- ニーズに応じて対応してほしい(大曲/父親)
- わからない。必要なら増やせばよい(大曲/母親)
- 具体的な活動内容がわからないため、必要性がわからない。(協和/母親)
- 全地域にあるのが望ましく、人口の多い地域には複数あってよい(大曲/父親)
- 小学校低学年も一緒に遊べる大型の遊具のある施設があるとよい。兄弟一緒だと、まるこには小学生は連れていけないし、児童館だと赤ちゃんは厳しい。(大曲/母親)
- 利用したことがないので、増減に関してはわからないが、必要な施設だと思う(神岡/母親)

【問5】子育て支援拠点施設などで、どのような子育てに関する情報がほしいですか。
(複数回答可)

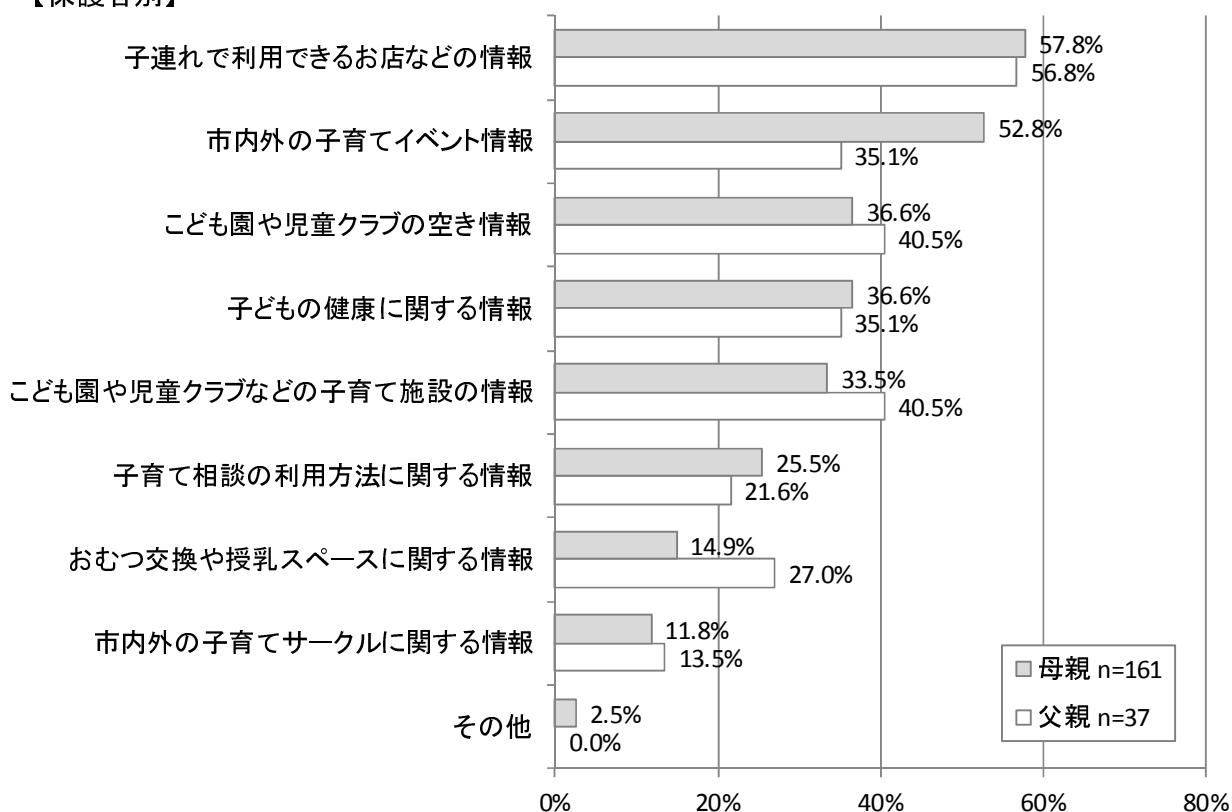
○全体では、「子連れで利用できるお店などの情報」と回答した方が57.3%で最も多く、次いで「市内外の子育てイベント情報」が49.7%、「こども園や児童クラブの空き情報」が37.2%となっている。

○保護者別で見ると、「市内外の子育てイベント情報」は母親の方が、「こども園や児童クラブなどの子育て施設の情報」や「おむつ交換や授乳スペースに関する情報」は父親の方の割合が大きく、他と比べて差が大きくなっている。

【全体】



【保護者別】



■その他の回答

- スポーツクラブ（子供も可）の情報やその他（習字、ピアノ、水泳など）個人で教えている習い事の詳しい情報をわかりやすく簡単に知りたい（太田／母親）
- なし（西仙北／母親）
- 発達障がいや巡回相談などの情報（仙北／母親）
- マッサージやエステ（太田／母親）

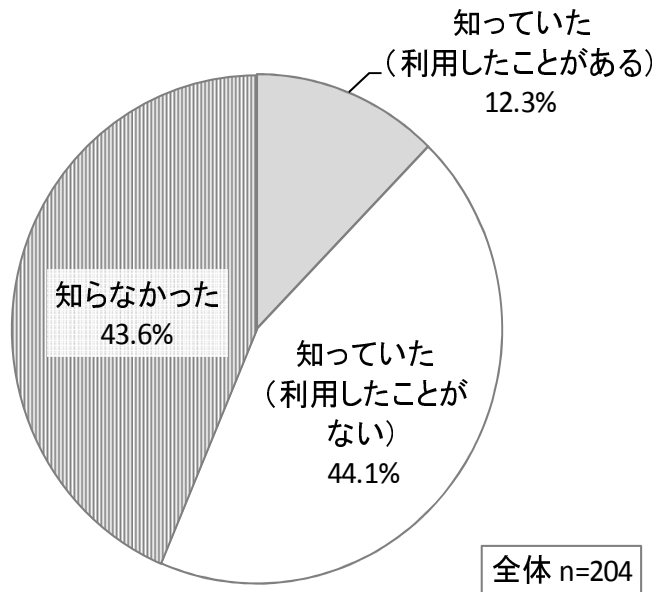
【問 6】 子育て中の親子に対して、遊び場を提供する園開放や子育て相談の機能を持つ「子育て支援センター」が各地域の認定こども園等にあることを知っていましたか。

○全体では、「知っていた（利用したことがある）」または「知っていた（利用したことがない）」と回答した方の割合を合わせると 56.4%となっており、半数以上の方が「知っていた」と回答している。また、「知っていた（利用したことがある）」と回答した方は 12.3%となっており、実際に利用したことがある方は 1 割程度となっている。

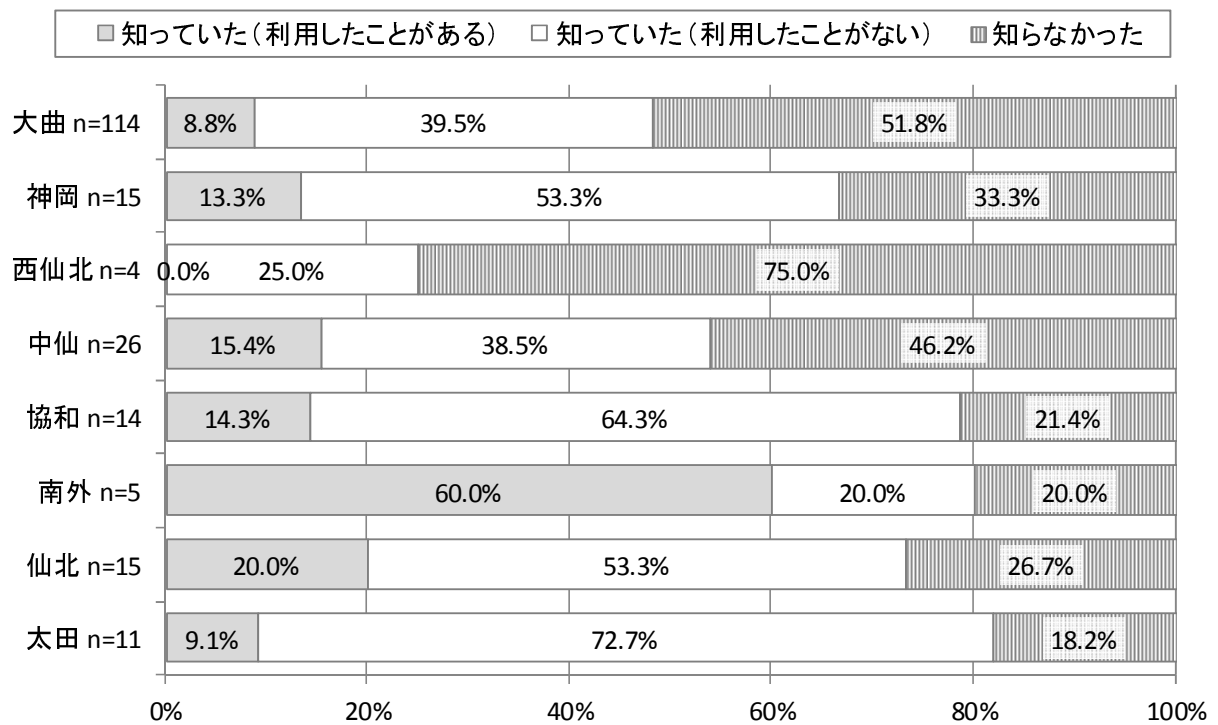
○地域別で見ると、大曲、西仙北、中仙地域では「知らなかった」と回答した方の割合が大きくなっており、南外地域では「知っていた（利用したことがある）」と回答した方の割合が大きくなっている。

○保護者別で見ると、「知らなかった」と回答した方の割合は父親の方が大きくなっており、「知っていた（利用したことがある）」または「知っていた（利用したことがない）」と回答した方の割合はどちらも母親の方が大きくなっている。

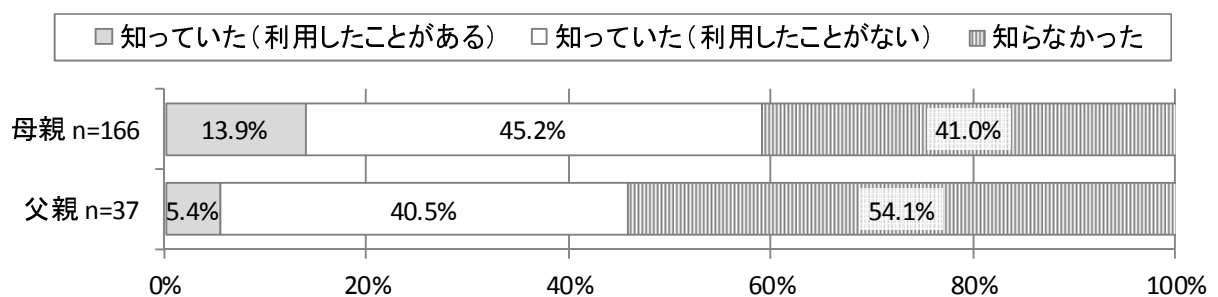
【全体】



【地域別】



【保護者別】



【問7】また利用したいと思いますか。

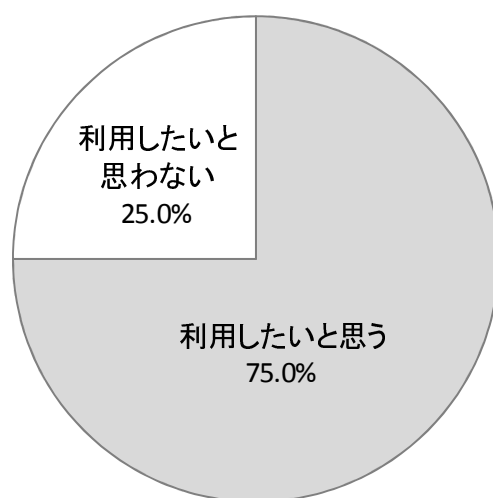
(問6で「1. 知っていた(利用したことがある)」と回答した方)

○全体では、「利用したいと思う」と回答した方が75.0%となっており、7割以上を占めている。

○地域別で見ると、回答数が少ないが、神岡、南外、仙北地域では「利用したいと思う」と回答した方が100.0%となっている。

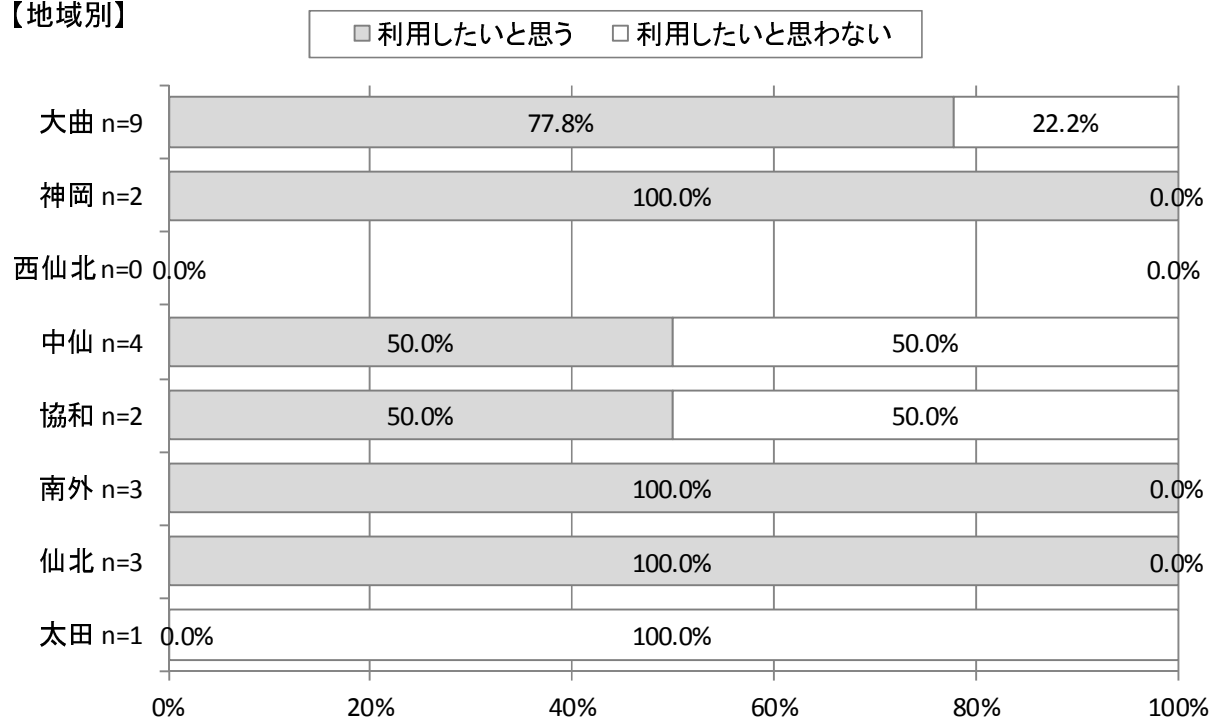
○保護者別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は、母親では77.3%であるのに対し、父親はちょうど半数となっている。

【全体】

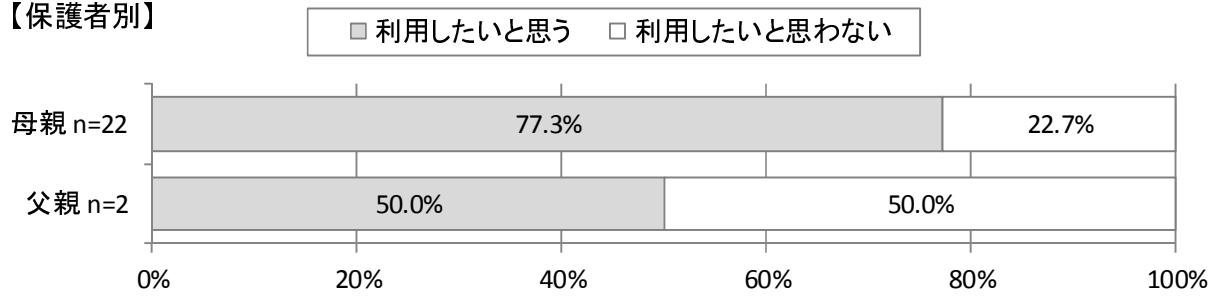


全体 n=24

【地域別】



【保護者別】



■「利用したいと思わない」の理由

- 参加者が少ない日にたまたまあたってしまいあまり楽しめなかった。取り組みはよいと思う。(大曲/母親)
- 小学生になったため(太田/母親)
- すでに園を利用している。園に入る前は月1回利用していた。(中仙/母親)
- もうあまり必要ない(大曲/母親)
- すでに園を利用している。(協和/母親)

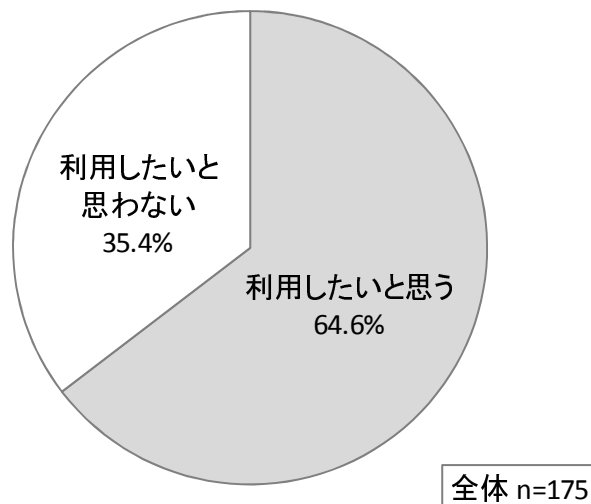
【問8】今後、利用したいと思いますか。(問6で「2. 知っていた(利用したことがない)」、「3. 知らなかった」と回答した方)

○全体では、「利用したいと思う」と回答した方が64.6%となっており、6割以上を占めている。

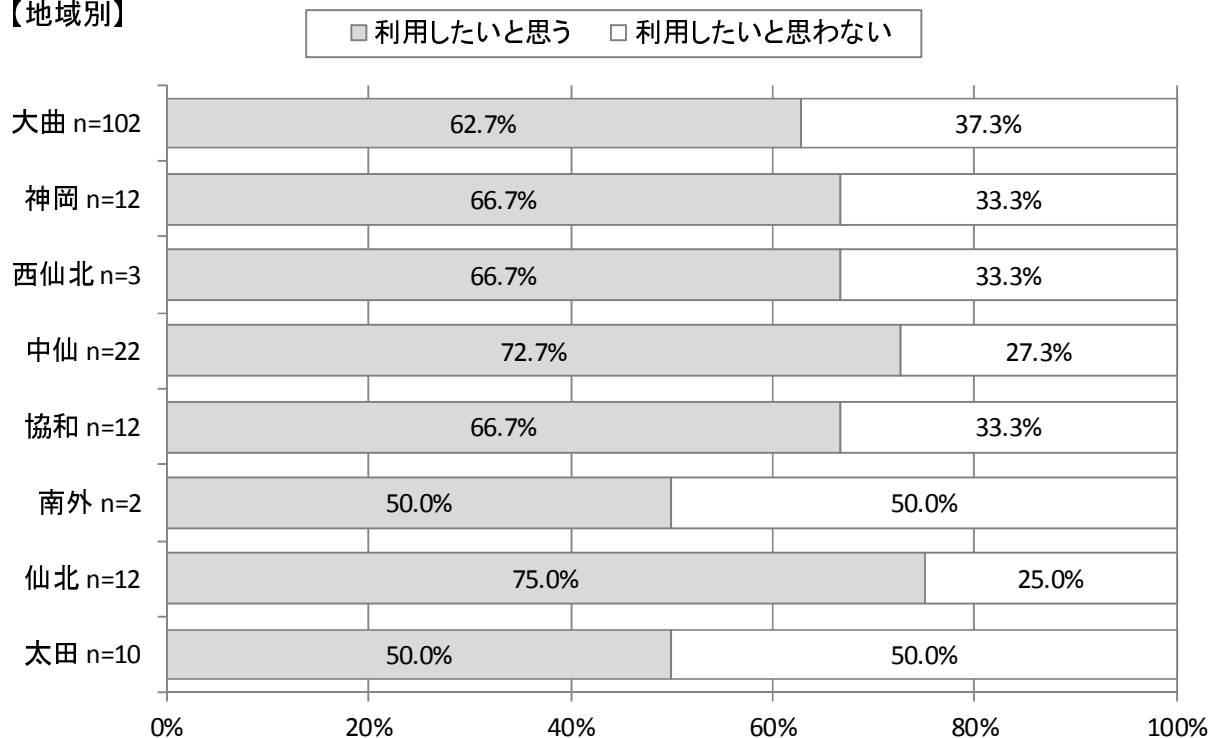
○地域別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は、全ての地域で半数以上となっており、南外、太田地域以外では6割以上、中仙、仙北地域では7割以上となっている。

○保護者別で見ると、「利用したいと思う」と回答した方は、どちらも6割以上となっており、父親の方の割合が大きくなっている。

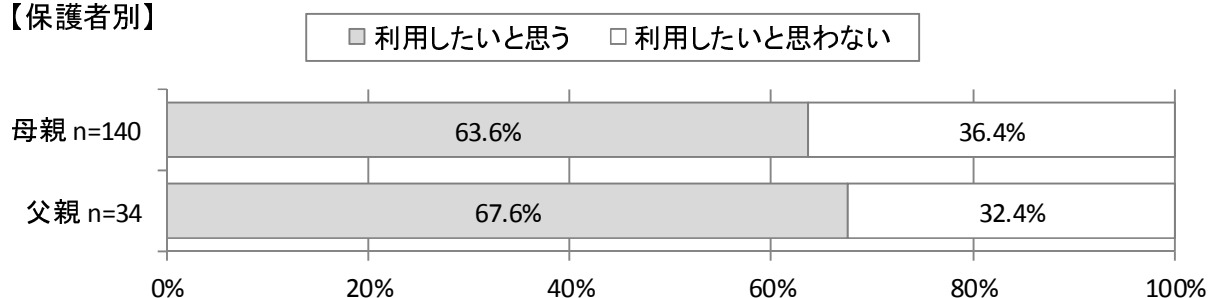
【全体】



【地域別】



【保護者別】



■ 「利用したいと思わない」の理由

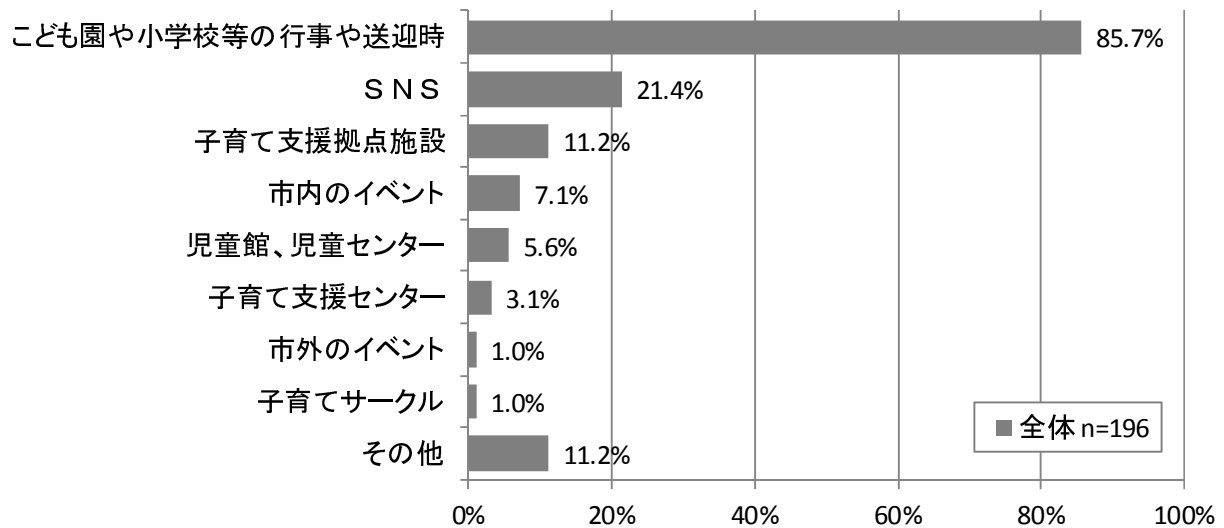
- 子どもが大きくなったため。（【母親】大曲8名、協和、太田）
- 時間等が合わない（【母親】大曲、神岡、協和2名、【父親】大曲）
- 保育園、子ども園に行っているため。（【母親】大曲4名、神岡2名、中仙4名、仙北、南外、太田、【父親】大曲、中仙）
- 必要ない（【母親】大曲4名、西仙北、中仙、【父親】大曲4名）
- 行きづらい（大曲／母親3名、大曲／父親）
- 利用の仕方がわからない（【母親】大曲、仙北）
- 会場や場所の内容による（大曲／父親）
- ほかに利用する人はいるのか、何人ぐらいいるのかわからないので（大曲／母親）

【問9】同じ年頃の子どもをもつ保護者との交流を主にどのような方法、場所で図っていますか。（3つまで）

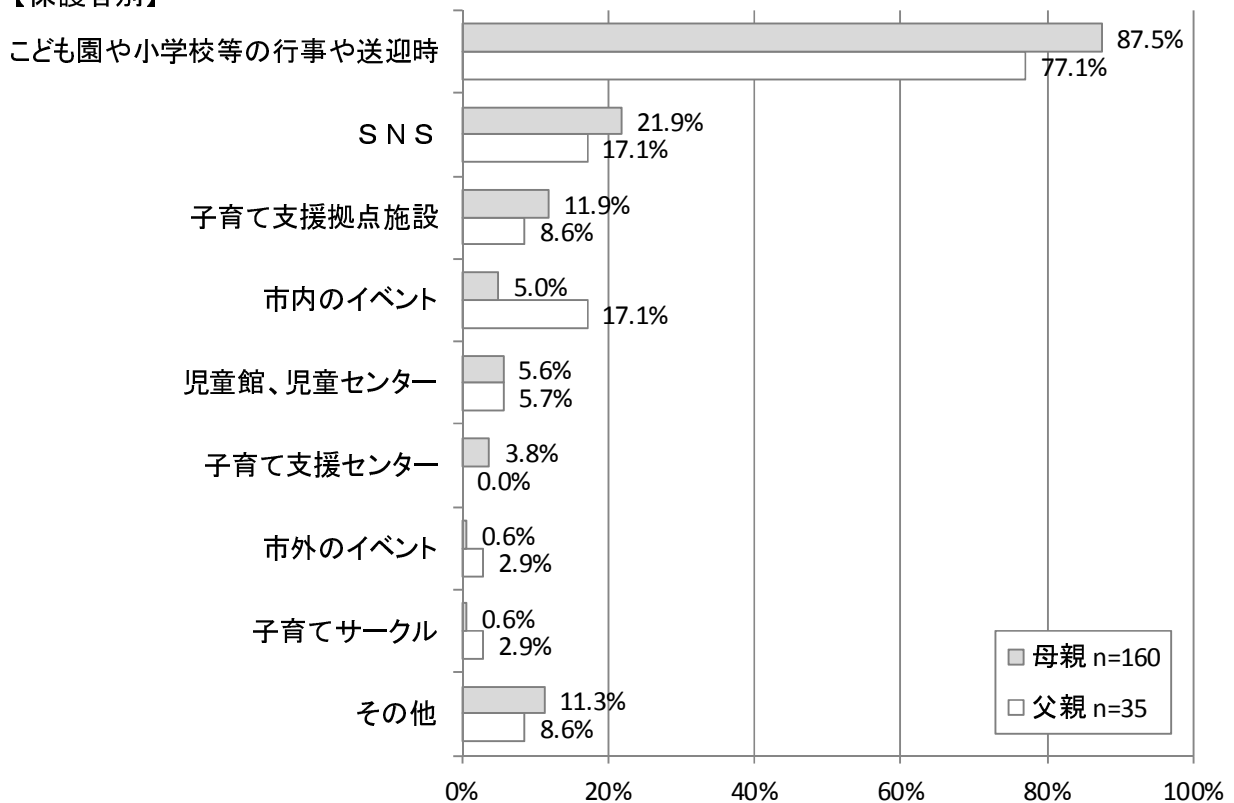
○全体では、「こども園や小学校等の行事や送迎時」と回答した方が85.7%で突出して最も多くなっており、次いで「SNS」が21.4%、「子育て支援拠点施設」が11.2%となっている。

○保護者別で見ると、どちらも「こども園や小学校等の行事や送迎時」が突出して最も多くなっており、母親の方の割合が大きくなっている。父親では「市内のイベント」と回答した方が「SNS」に並んで2番目に多く、母親との差が大きくなっている。

【全体】



【保護者別】



■その他の回答

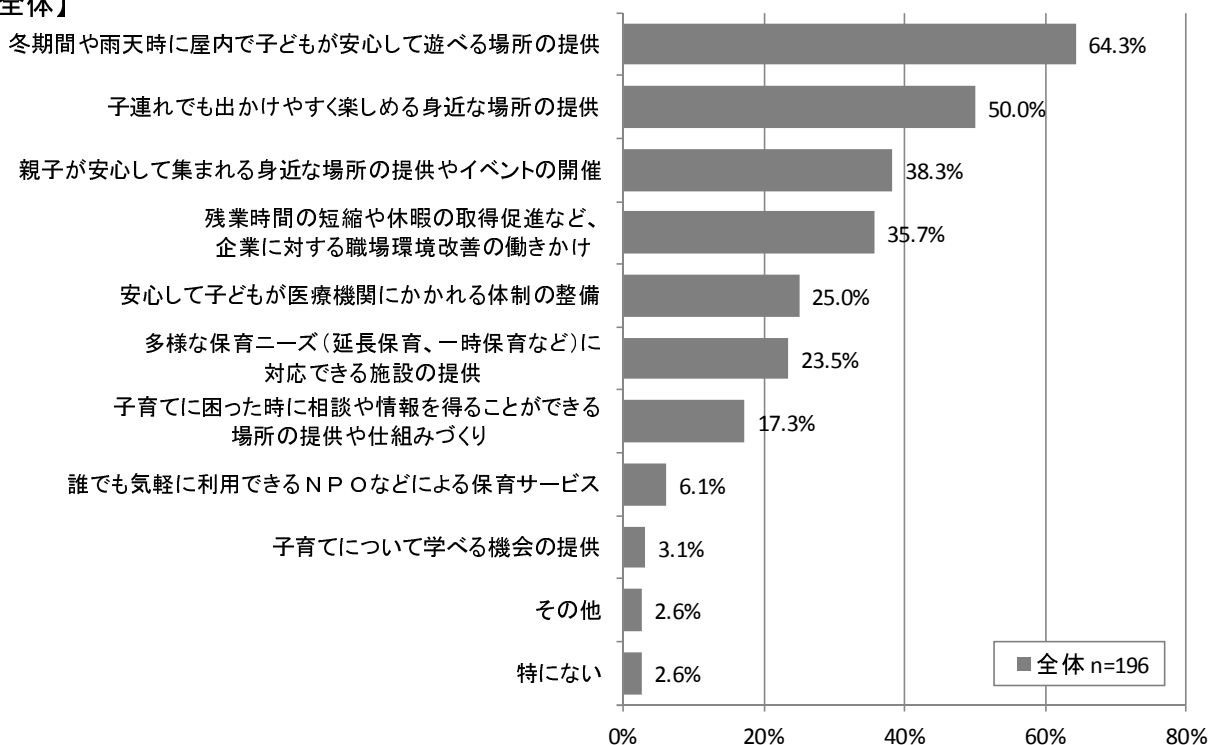
- スポ少（大曲／母親）
- 職場（大曲／母親、大曲／父親2名）
- 友人（【母親】大曲2名、神岡2名、西仙北、中仙、協和）
- 子どもの友達（中仙／母親）
- 特に交流はしていない（【母親】大曲4名、協和）
- 家（中仙／父親）
- LIVE 公共施設内のキッズ広場（大曲／母親）
- 情報があまりない（太田／母親）

【問10】子育て支援環境の充実のためには、どのような支援策が必要だと思いますか。
(3つまで)

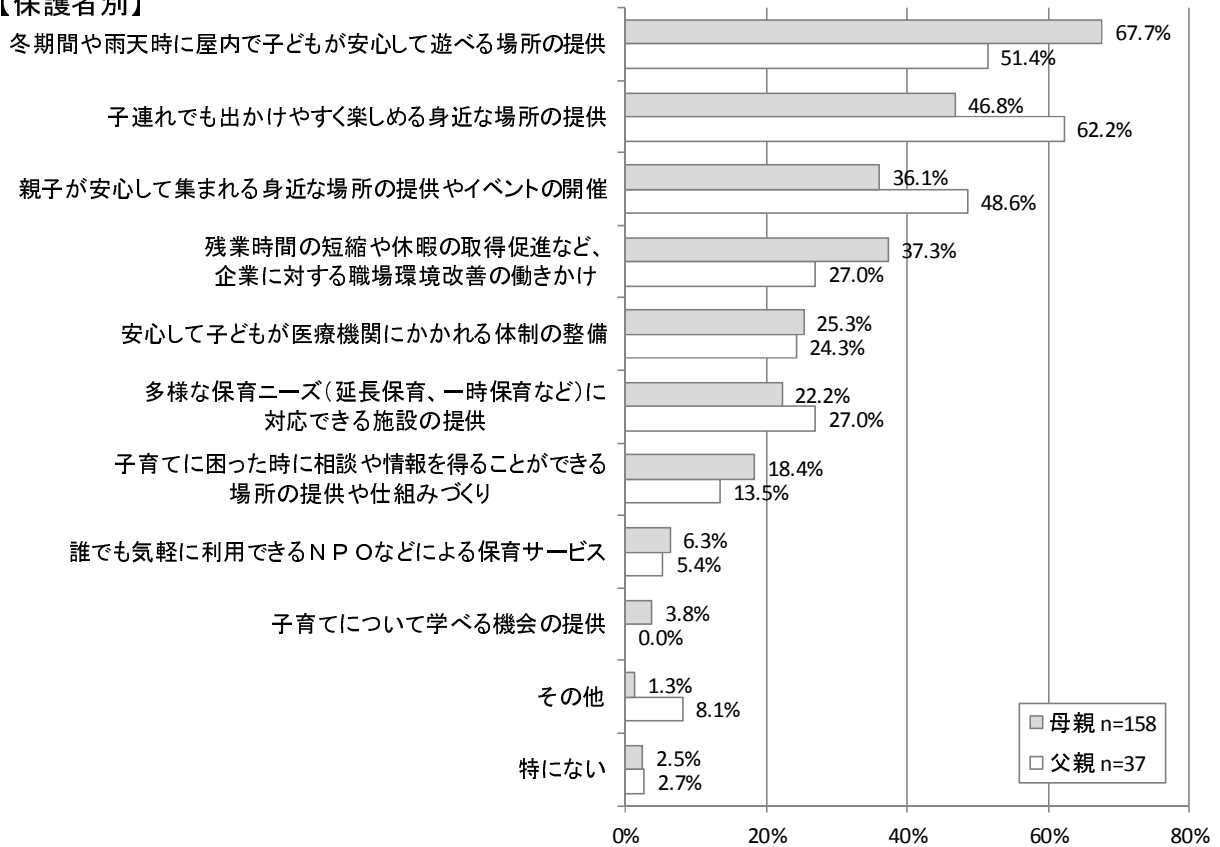
○全体では、「冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所の提供」と回答した方が64.3%で最も多く、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる身近な場所の提供」が50.0%、「親子が安心して集まれる身近な場所の提供やイベントの開催」が38.3%となっている。

○保護者別で見ると、母親では「冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所の提供」と回答した方が最も多く、父親では「子連れでも出かけやすく楽しめる身近な場所の提供」と回答した方が最も多くなっており、それぞれ父親や母親との割合の差が比較的大きくなっている。また、「親子が安心して集まれる身近な場所の提供やイベントの開催」と回答した方の割合は父親の方が、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境改善の働きかけ」と回答した方の割合は母親の方が大きくなっており、こちらもそれぞれ父親や母親との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【保護者別】



■その他の回答

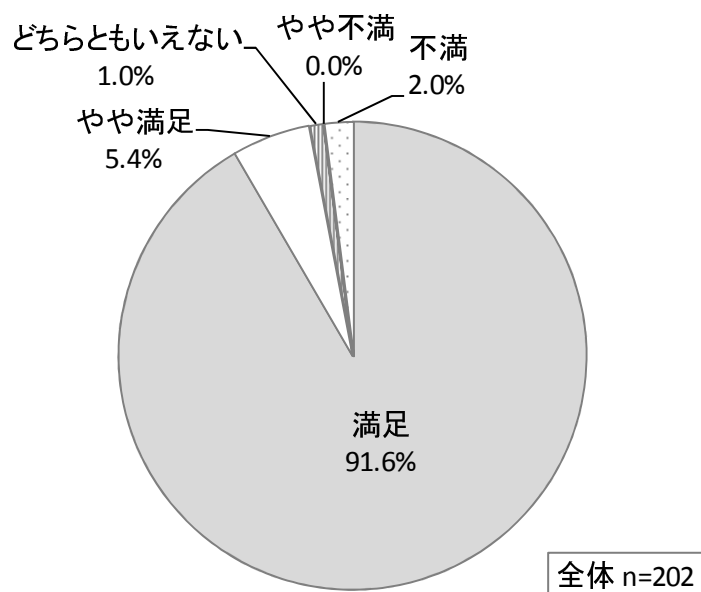
- 本当に必要な支援が必要な人に行き渡っていると思えない (大曲/父親)
- 大仙市移住者交流の会などは、とても嬉しかったです (大曲/母親)
- 新しく花火以外での大曲の魅力を作る。他から仕事を取り入れ雇用の場を増やす。(大曲/父親)
- 親だけではなく、その他親族にも社会資源を積極的に活用する意義や価値の普及・啓発が必要。家族で何とかしようとしがちなので、もっと子育てを社会化し、地域支援の意識醸成してけるとよい。(大曲/父親)
- まず保育園の先生を増やす(賃金や働く環境を整える) 4歳児30人に対して1人の先生では確実に足りない (仙北/母親)

【問11】あなたは、福祉医療費助成事業(マル福)に満足していますか。

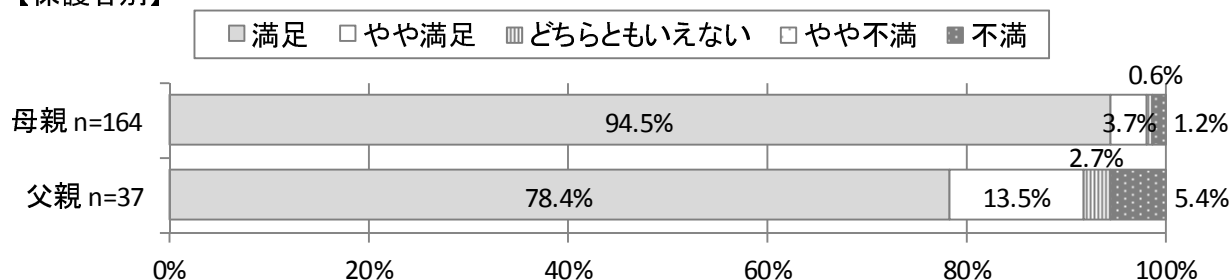
○全体では、「満足」と回答した方が91.6%で最も多く、「やや満足」と回答した方と合わせると97.0%となっている。

○保護者別で見ると、「満足」と回答した方は、母親では94.5%となっているが、父親では78.4%と少なくなっている。しかし、「やや満足」と合わせた割合はどちらも9割以上となっている。

【全体】



【保護者別】



【問12】市が行っている子育て支援事業へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

(自由記述形式)

※主要な回答を抜粋しています

□児童手当について

- ・ 児童手当の細分化をしてほしい。働き手が多い家庭の児童手当の減額や働き手が少ない核家族や住宅ローンのある家庭への増額等、米中貿易戦争、コロナウイルスの影響もあり、収入が減り、経済的にも苦しい家庭が増えている。(大曲/父親)
- ・ 18歳年度末まで拡充及び所得制限撤廃に加えて、児童手当の見直しをご検討いただきたい。市独自の支援を設ける。例えば、10,000~15,000円ではなく、50,000円など全国的に見ても突出した支援制度を設ける事で少子高齢化や他地域からの移住促進を図る、人がいなければ何も良くはならない。(大曲/父親)

□保育料について

- ・ 保育料の算定は、同一施設入園に限らないでほしい(多子軽減対策) 第一子の上限を付けなくてほしい。年齢の離れた兄弟も多い。(仙北/母親)
- ・ 3歳未満児の保育料無料を希望します。マル福18歳までの拡充はとてもありがたいです。(神岡/母親)

□入所関係について

- ・ 本当に預かってほしいと思っている人を、しっかりと見極めて選定した方がいいと思う。ほとんどは違うと思いますが、送迎時に井戸端会議しているような人達が保育所に預ける必要がありますか？（大曲／父親）
- ・ 今年から子育て支援に対して、改善をたくさんしていただけてよかったです。保育所の途中入所が絶対に無理だと言われたことは悲しく思いました。改善して頂きたいと思います。（大曲／母親）

□施設運営等について

- ・ 現在通わせている保育園の開園時間を7時にしてほしいです。送迎が父母であり、大曲地区に通勤すると7時30分では間に合わず、仕事を選ばざるを得ません。大曲以外の保育施設こそ早く開園して、仕事の出来る環境づくりをしてもらいたいです。（南外／母親）
- ・ 児童館をときどき利用するが、様々な学年、男女が利用するので同じ時間帯に利用すると危険な場面があったりする（ボール遊び等）。小さな児童館の改修等が望ましい。（大曲／母親）
- ・ 学童保育における昼ご飯の用意。出来ないものでしょうか。たまにでも良いので。少し負担がラクになるような。（大曲／母親）
- ・ 学童保育でも長期休み中、給食的なものを出してほしい。（大曲／母親）
- ・ 児童クラブを利用しておりますが、戸外遊びや実験遊び、クッキングなどのイベントも定期的に行っていただけると、もっと楽しく過ごせるなど思っています。（神岡／母親）

□遊び場、公園等について

- ・ 施設があっても楽しくなければ、また次回以降来たいとは思いません。親子で遊ぶ場所、食事する場所、ゆっくり会話できる場所、屋内・屋外で過ごす場所があるとありがたいです。すべて大曲イオンモールに集中するのではなく、もっと街中の空いているスペースを活用して子育て世代ではなく、様々な方が集まれる取り組みをしてもらいたいです。（大曲／父親）
- ・ イベントが少ない。公園が少ない。（協和／母親）
- ・ 利用した事はありませんが、保育園時代、まるこのひろばに遊びに行けるから助かるという周りの声が良くありました。（大曲／母親）
- ・ 公園が少ない。公園に駐車場がない。公園の遊具の充実。（大曲／母親）
- ・ 子育てしやすい環境づくりを行っていただき、ありがとうございます。外で遊ぶことが好きなので、公園の遊具が充実している所を探していますが大曲にも神岡中央公園のような公園が欲しいです。（大曲／母親）
- ・ 屋内でたくさん体を動かして、遊べる場所があるといいと思います。（太田／母親）
- ・ 今まで見た中では、横手市Yプラザ、秋田市の北須賀の子育て広場がよかった。（大曲／父親）
- ・ 遊具の整った公園や雨天時でも安心して遊べる無料の施設を作してほしいです。（大曲／母親）

□PR関係について

- ・ 現在、紙により情報を得ている親は少ないので、市のHPやSNSの利用など、今の子育て世代が情報にアクセスしやすいようにしてほしい。小さい子供がいる家庭では、提出する書類を手書きする時間も取りにくいのでプレ印字できる部分はしていただけると助かります。（大曲／母親）
- ・ どのような支援事業があるのか、わかり易く教えてほしい。（大曲／母親）
- ・ 子育てイベントなど、もう少しわかり易く宣伝してほしい。（中仙／母親）
- ・ あまり、情報が入ってこないのでアピールしてほしい。（大曲／母親）
- ・ 子育て支援事業を知る機会が少ない、と感じることがありました。（大曲／母親）
- ・ 県外から移住した身としては、大仙市は子育て環境が整っていると思います。もっと市内外にPRした方がいいのではないかと、思います。（大曲／父親）

□マル福について

- ・ 子供が食物アレルギー、アトピー、低身長の為、毎月受診しています。中学を卒業してからも受診をしなくては行けないといわれて、18歳までマル福が拡大されて、ありがたいと思います。（太田／母親）
- ・ マル福は助かります。自分の子供もそうですが医療関係で働いていて高校生になると受診が必要なのに来なくなる方もいます。18歳年度末だと助かる方もいると思います。（大曲／母親）
- ・ 医療費、全額助成が18歳までになるのは、本当に助かる。（中仙／母親）
- ・ マル福には、大変助けてられている。ありがたい。（協和／母親）
- ・ ひとり親や収入に応じて、子育て中の親にも、マル福を支給してほしい。（太田／母親）
- ・ 高校生になると児童手当も支給されなくなり、経済的に不安な家庭もあると思います。スマホ代やお小遣い、お弁当等。マル福の拡充は大変助かります。医療費以外の部分でも、助成があるととてもありがたいです。月5千円くらいの助成があればお弁当代を賄う事も出来ます。皆がアルバイト等できれば良いと思いますが、色々な事情でできない子もいると思うので。少数の小中学校の子供に対して、修学旅行や卒業アルバム代の何%かでも、補助が出たら嬉しいです。大人数の学校と比べて、かなり高額になると聞き不安です。（仙北／母親）
- ・ マル福は大変ありがたく思っています。（大曲／母親）
- ・ 上記のマル福は本当に重要な事業です。拡充はととてもありがたいです。マル福がなかったら、子供は産み育てる事は不可能でした。親自身も医療費は大きな負担だと感じます。子供の成長とともにお金が掛かり、それでも親の給与が上がる事はないです。例えば、小学校・中学校への入学時に市から「お祝い金」が出る事業があれば良いのではないかと考えます。（神岡／母親）
- ・ 基本的にマル福は有難い制度ではありますが。ただ、別居していて満足な生活費ももらえていないが籍は入っている状態だったので、マル福を却下されてしまいました。仕方ないとは思っているのですが、どちらともいえないにさせていただきました。すみません。マル福がなくなってから病院にかかることがものすごく増えました。自分の間の悪さにも驚いています。余談でした。（神岡／母親）
- ・ とてもありがたく思っています。ひとり親の親の医療費の助成もあれば助かります。（大曲／母親）

□その他

- ・ 先日実施した4か月健診では、コロナウイルス対策を十分配慮した流れでの健診をしていただき、安心して受診する事が出来ました。丁寧なご対応ありがとうございました。（大曲／母親）
- ・ 特にないが、病後児保育場所を増やしてほしい。（中仙／父親）
- ・ 母子家庭への手厚い支援には、ありがたく思っています。（南外／母親）
- ・ ワンストップ的なサービスがあってほしい。（大曲／父親）
- ・ 他地域で行っている生まれた子供に無料で印鑑をくれる事業を行ってほしい。母子手帳のデザインを選べるようにしてほしい。（中仙／母親）
- ・ 保育園児への支援は手厚く行われており、とてもありがたいです、小学校に入り園でかかった費用の倍以上の負担がある。義務教育中の支援もあると助かります。（中仙／母親）
- ・ 仕事を充実したいと思えば、育児に負担がかかり、育児を頑張れば仕事の充実を諦めなければいけない。子育てをしっかりとやりたいと思うとパート等の仕事を選んでしまうが、収入が少なくなる。仕事・育児の両立はととても難しい社会だと思います。子育て支援事業の更なる充実を期待しています。（大曲／母親）
- ・ 受動喫煙防止をもっと強く訴えてほしい。（大曲／父親）

- ・ 子育て世代と言われている家庭へのゴミ袋配布ですが、1年に1度ではなく、もう少し機会を増やしてもらえると嬉しいです。また、市内のショッピングセンター、スーパー等のトイレに赤ちゃん用のおむつ台やミルクスペース等を設けてもらいたいので、大元に掛け合ってもらいたい。（大曲／父親）
- ・ 子供に対する支援をもっと充実させてほしい。例としてにかほ市は、保育料が年齢を問わず無料化になっていたり、予防接種が助成になったりしているので、大仙市ももっとこども支援を多く取り入れてほしい。（大曲／母親）
- ・ 新しく市で始まる祝い金等とてもいいと思いました。しかし、子供だけが増えても保育園の先生がどんどん辞めていっては結局困るのは子育て世代だと思います。子供をこれから産む人だけ増えればいいと思う問題ではないと思うので、まず保育園の先生の負担を少なくする取り組みも一緒に行っていかなければいけないと思いました。まず、30人に対して1人しか担任の先生がいないのは、国で決まっているかもしれないけれど、どう考えても足りない。一人ひとりに丁寧に関われる訳がない。お便り、連絡帳等、今これだけ電子機器が発達して安くなっているのにまだ手書きが主流。市が先立って導入する補助をしてほしい。保育園だけではなく、小中学校にも。秋田県＝田舎だから便利なモノ、新しいモノを使わない、ではなく、田舎だからこそ新しい物を取り入れて、そこを上手くアピールしていければ、子育て世代が増えると思う。（仙北／母親）
- ・ 助成事業、助成金で大変助かっています。（大曲／母親）
- ・ 子供用品のフリーマーケットや無料交換会を開催してほしい。ベビーベットや自転車など大型のモノは保存場所にも困るし、使用するのも一時的であるため。（神岡／母親）
- ・ 他県に住んでいた時期もあるが、秋田県は医療・教育について、子育て支援の体制が整っている方だと思う。今後もよろしくお願ひしたい。（大曲／父親）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○子育て支援拠点施設については、属性に関係なく認知度が高いことが伺える。「まるこのひろば」の開設を皮切りにスタートしてから約10年が経過し、親子で遊べる広場の利用、子育てに関する情報収集の場としての利用、また毎月開催されるイベント等も定着していることが要因と考える。さらに市で実施している母子手帳交付時の「子育て応援ハンドブック」の配布や各種健診時の利用の呼びかけ、また市ホームページや毎月の広報、母子手帳アプリによるイベント情報の提供を行い、新規・継続の利用を促している。

○問1の子育て支援拠点施設を知っていたかについては地域差が見られ、施設の所在地である大曲、西仙北、中仙地域以外の地域では施設を知ってはいるものの利用していない方が多くいる結果となっている。また、問2-3の「また利用したいか」については、約4分の1の方が「利用したいと思わない」と回答しており、問4の施設数については、「他の地域にも必要」、「同じ地域にさらに増やしてほしい」との回答が半数近くを占めているが、「3か所で十分」が最も多くなっている。

今後は、母子保健事業を実施する「子育て世代包括支援室」との連携を強化し、まずは既存の3か所で子育て相談や情報収集の場としてより利便性を高めるなど、内容の充実を図り、「他地域からでも遊びに行きたい」、「また利用したい」と思っていただけのような工夫を重ねる必要がある。

○問9の「同じ年頃の子供をもつ保護者との交流を主にどのような方法、場所で図っているか」については、実際に保護者同士が集まる機会として「こども園や小学校等の行事や送迎時」が圧倒的に多く、さらにSNSによる交流も今や主流とも言える。その次の機会として、子育て支援拠点施設や子育て支援センター、児童館等の公共施設の利用を促進することで、保護者同士の交流の場を確保することが現実的と考える。

○まとめとして、子育て支援拠点施設、子育て支援センターについては、時代の変化を敏感に捉えつつ、今後も親子で気兼ねなく遊べる場所、子育てに関する相談や情報収集がしやすい場所として充実を図っていく必要がある。

また、問10で回答が多かった「冬期間や雨天時に屋内で子どもが安心して遊べる場所」、「子連れでも出かけやすく楽しめる身近な場所」、「親子が安心して集まれる身近な場所」などの提供については、今後利用需要を見極め、検討していく必要がある。

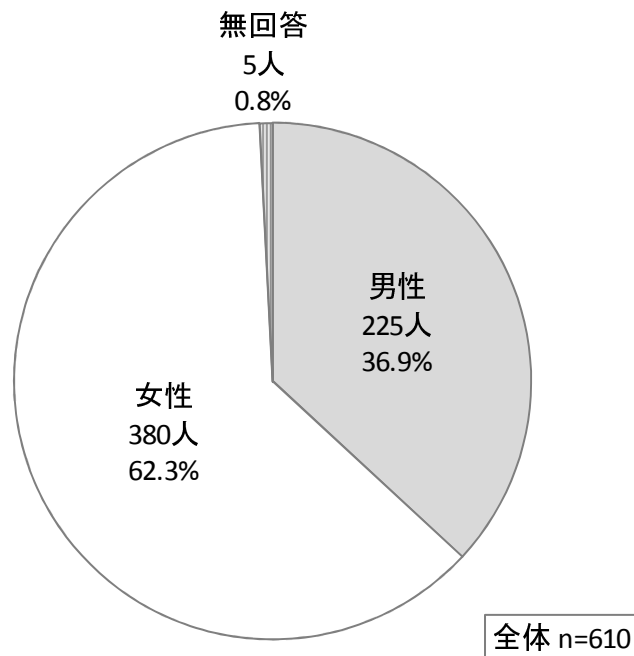
3. 2. 2 結婚・出産・子育てについて

(企画部総合政策課)

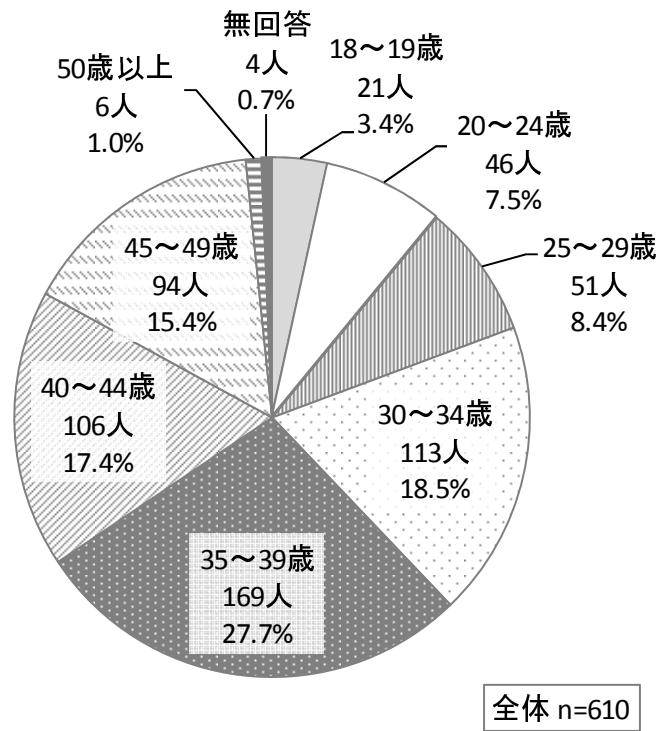
- ◆ 調査目的：平成 27 年度に行った結婚・出産・子育てに関する意識の追跡調査を行い、第 2 期総合戦略の推進や、子育て等支援制度の設計、見直しを図るための参考とする。
- ◆ 調査対象：次の（１）～（３）を合わせた 1,049 人。
 - （１）市内在住で 18 歳以上 49 歳以下の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）に抽出した市民 300 人。
 - （２）「市民による市政評価」で抽出された方の中で、18 歳以上 49 歳以下の方 449 人。
 - （３）「3. 2. 1 地域子育て支援拠点事業」の対象者 300 人。
- ◆ 回収数：610 人
- ◆ 回収率：58.2%

回答者の属性

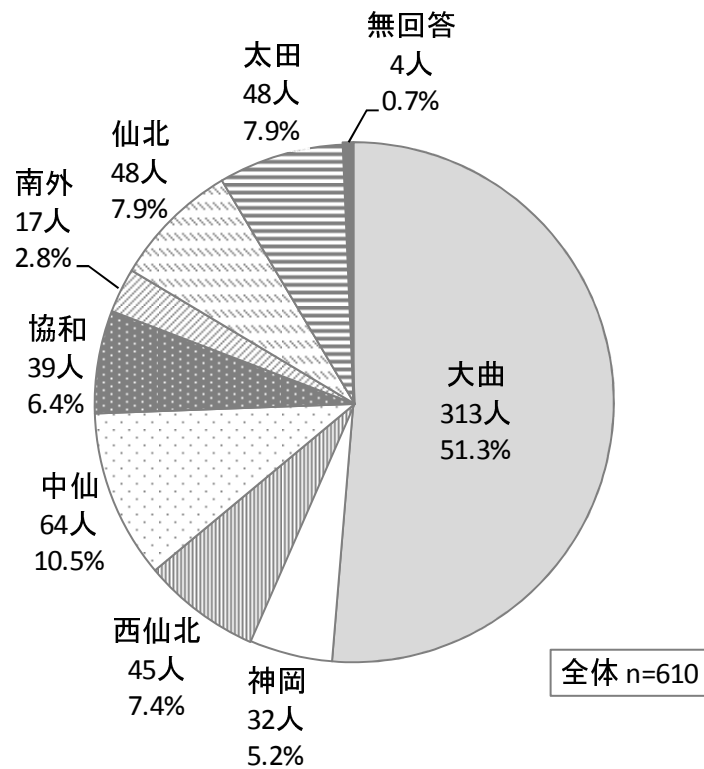
【性別】



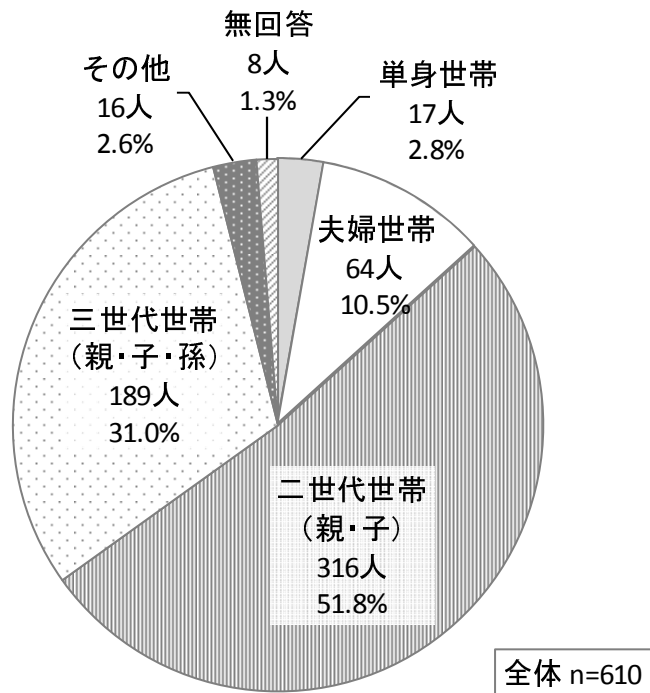
【年齢層】



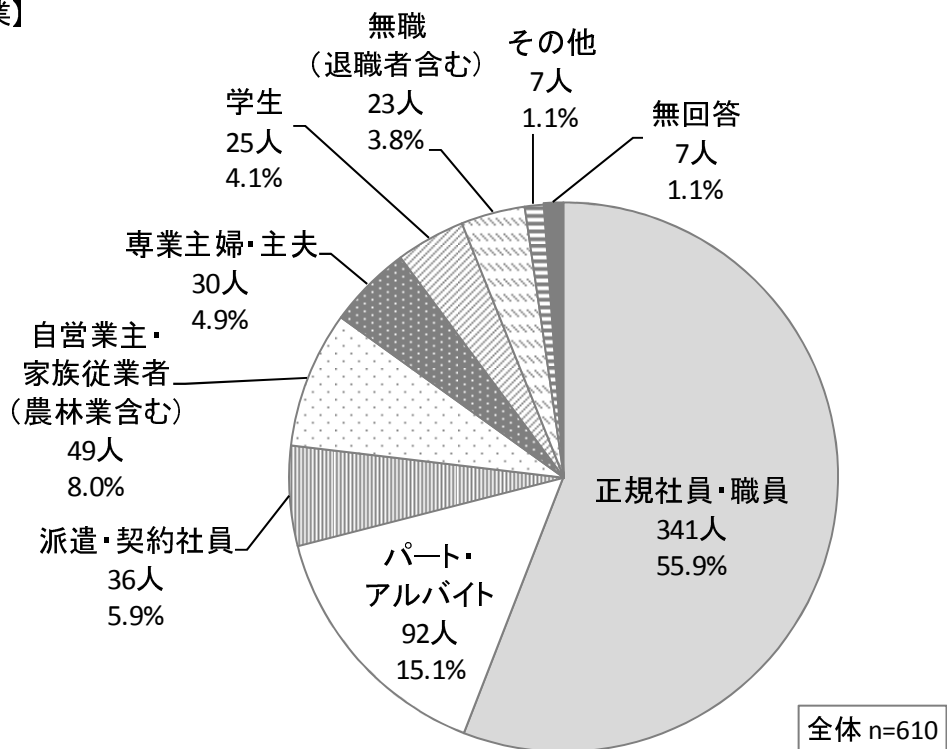
【地域】



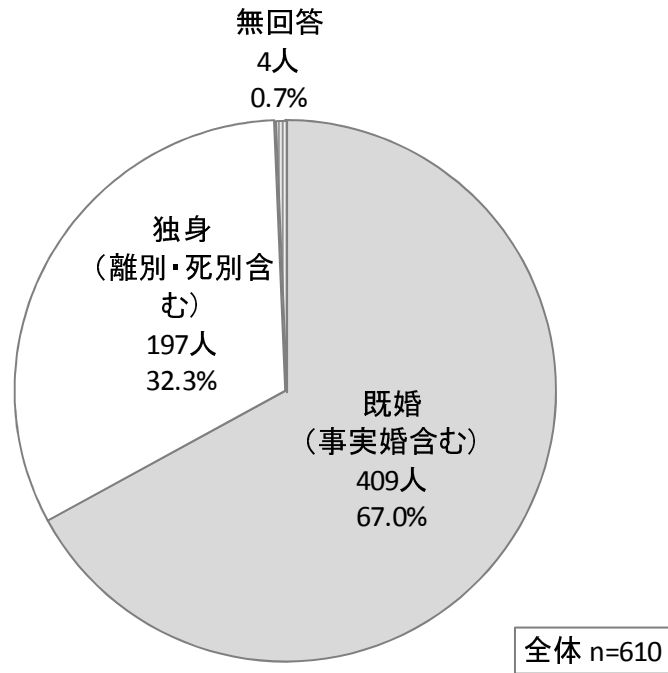
【家族構成】



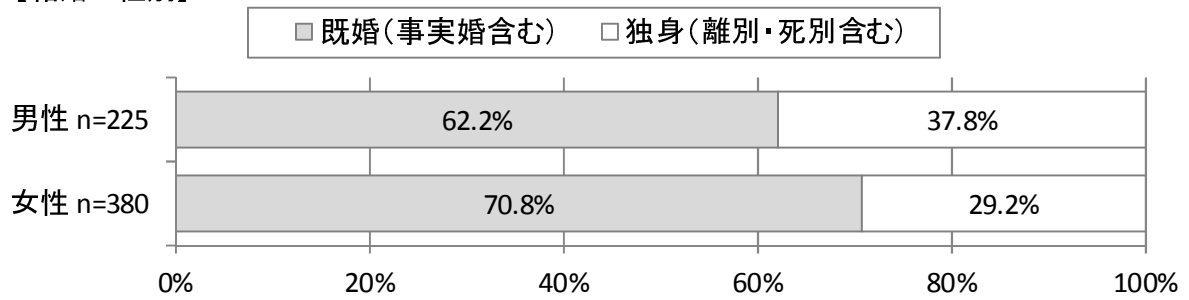
【職業】



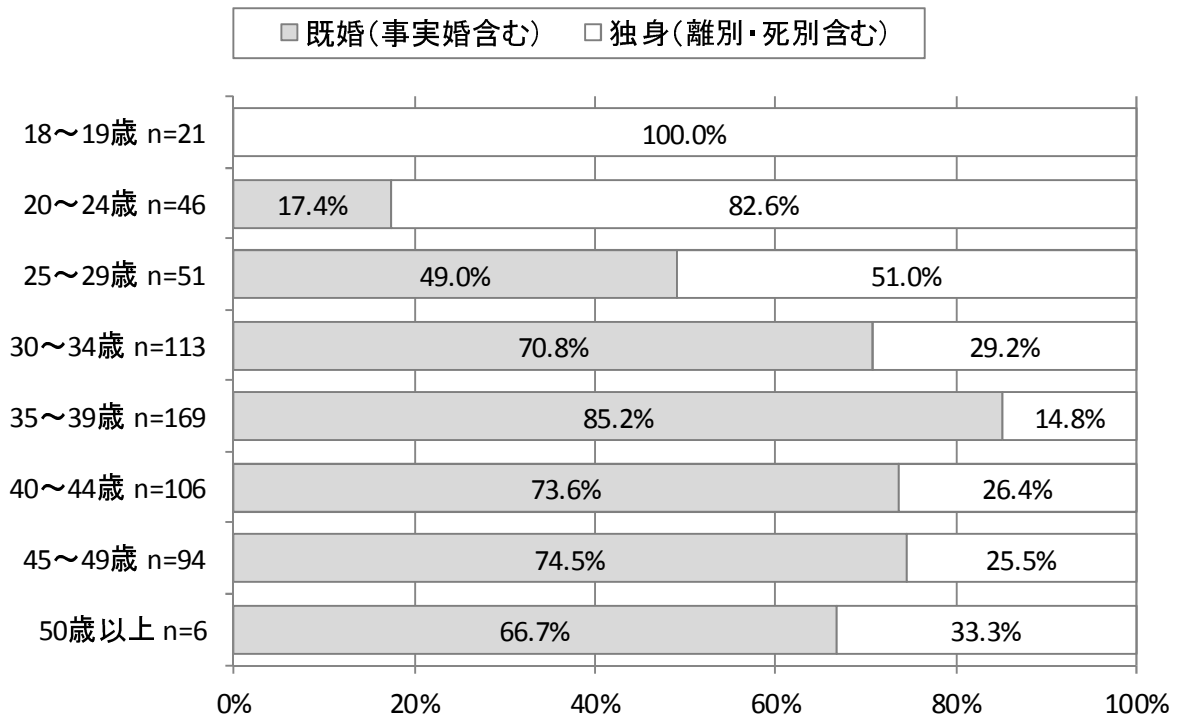
【結婚】



【結婚・性別】



【結婚・年齢層別】

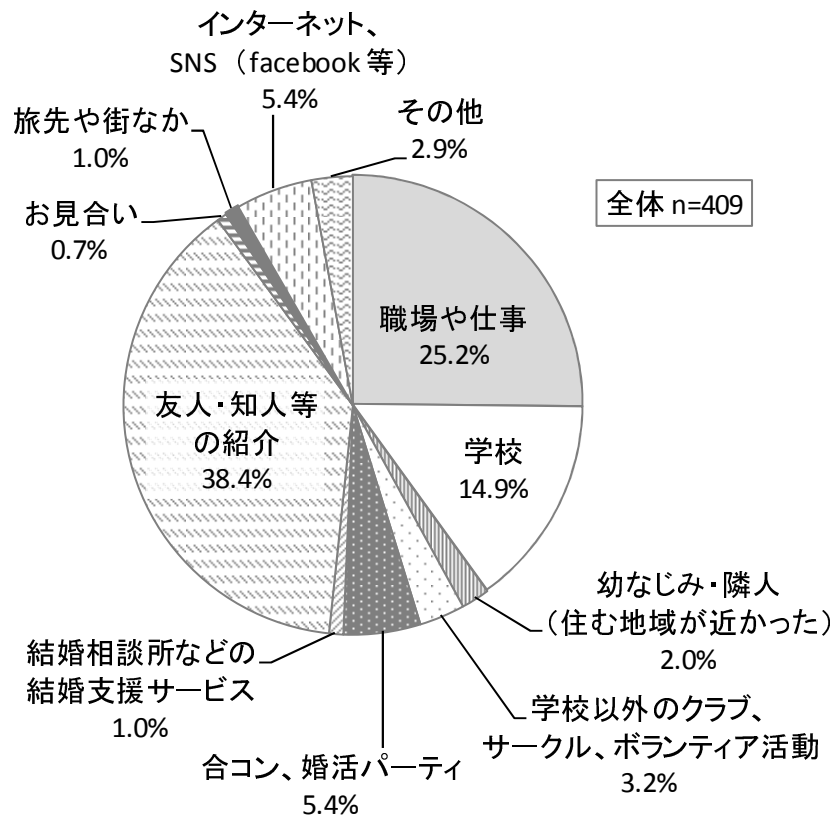


問7、8は問6で「1. 結婚している（事実婚含む）」と回答した方のみ

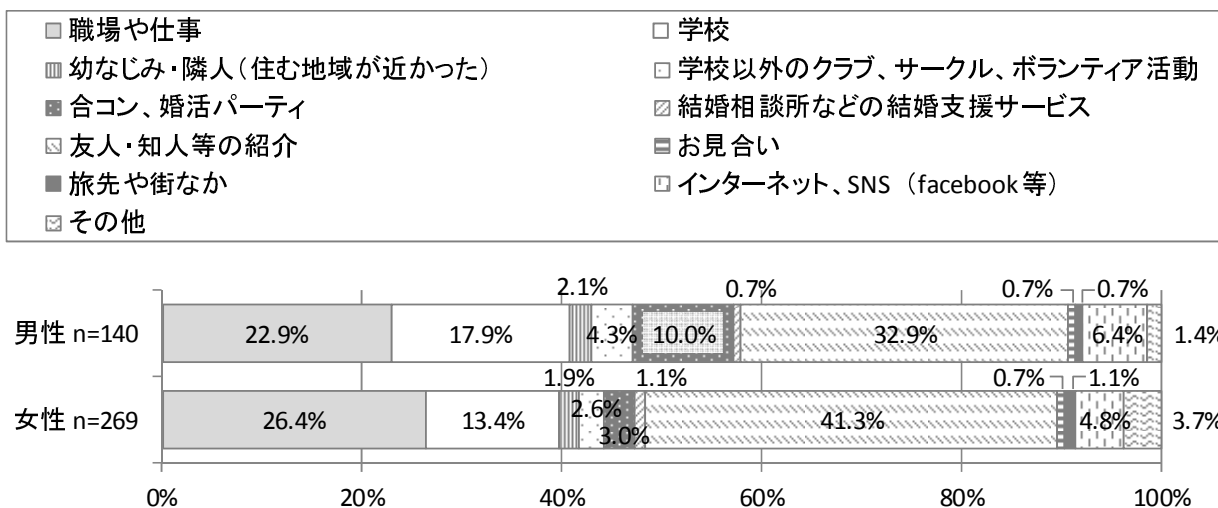
【問7】結婚相手の方との出会いのきっかけは何でしたか。

- 全体では、「友人・知人等の紹介」と回答した方が38.4%で最も多く、次いで「職場や仕事」が25.2%、「学校」が14.9%となっている。
- 性別で見ると、男女とも「友人・知人等の紹介」と回答した方が最も多くなっている。また、「合コン、婚活パーティ」は男性、「友人・知人等の紹介」は女性の方の割合が大きく、それぞれ男女の差が比較的大きくなっている。
- 年齢層別で見ると、全ての年齢層で「友人・知人等の紹介」が最も多くなっている。年齢層が上がるにつれて「職場や仕事」の割合は大きくなり、「学校」の割合は小さくなる傾向となっている。また、20～24歳では「旅先や街なか」の割合が比較的大きく、「インターネット、SNS（facebook等）」は若い年齢層で大きくなっている。

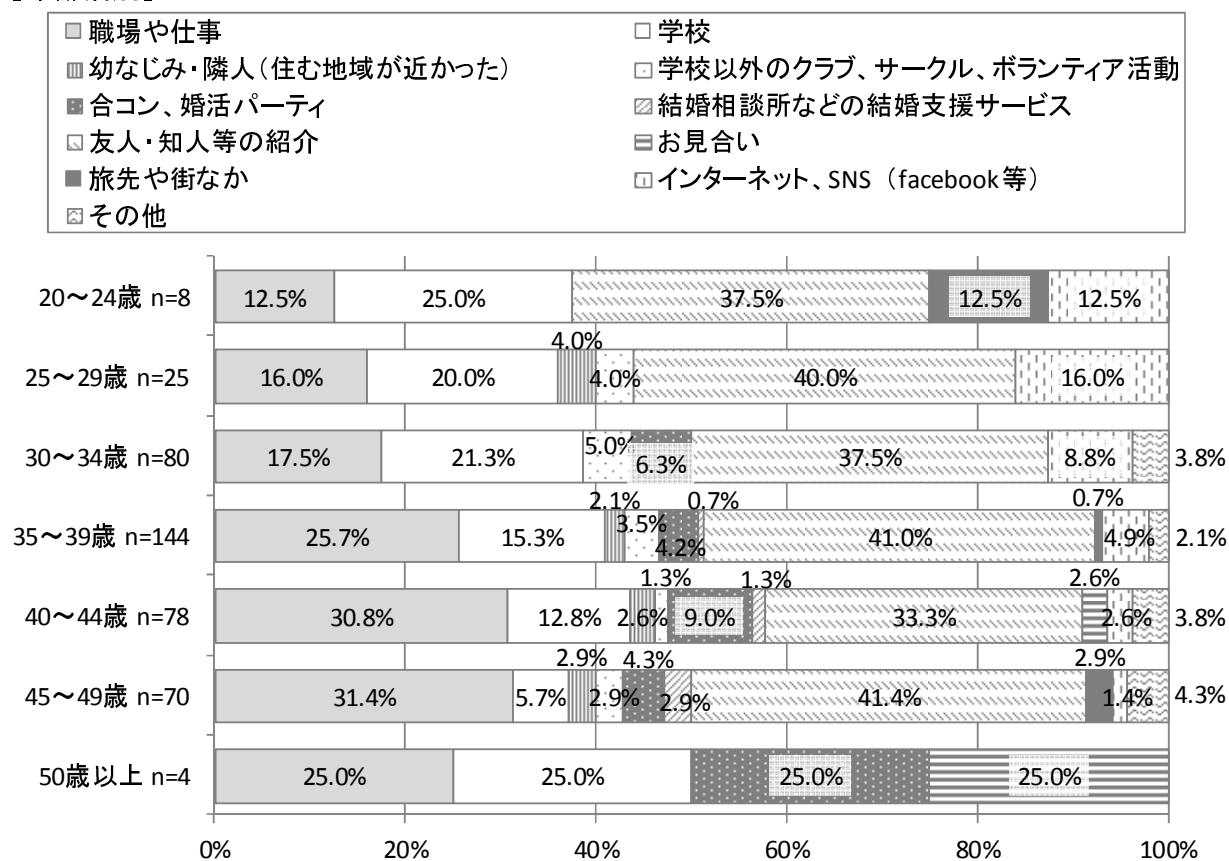
【全体】



【性別】



【年齢層別】



■ その他の回答

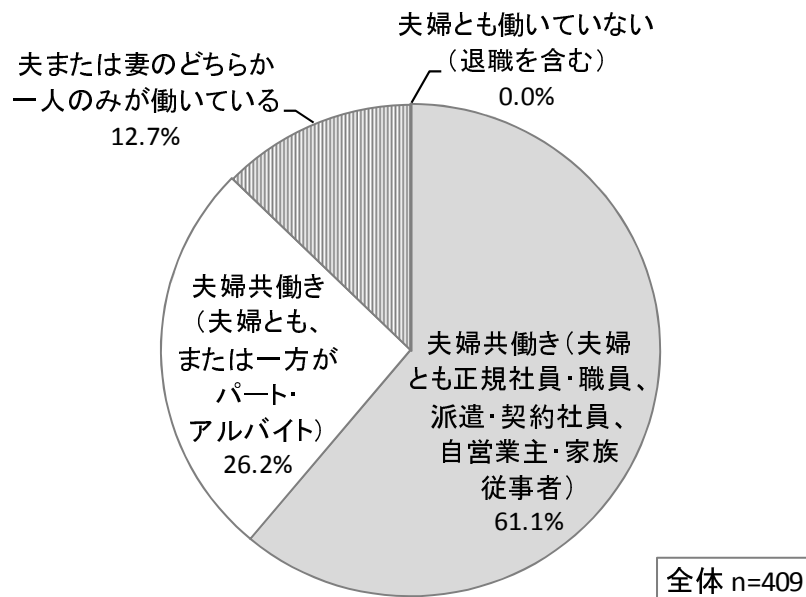
- 趣味 (女性/40～44歳/大曲)
- スキー場 (女性/30～34歳/神岡)
- たまたま (女性/30～34歳/大曲)
- 買い物 (男性/40～44歳/大曲)
- 友人の結婚式 (女性/35～39歳/神岡)
- 学生時代のバイト先 (男性/35～39歳/大曲)

【問8】夫婦の就業状況について。

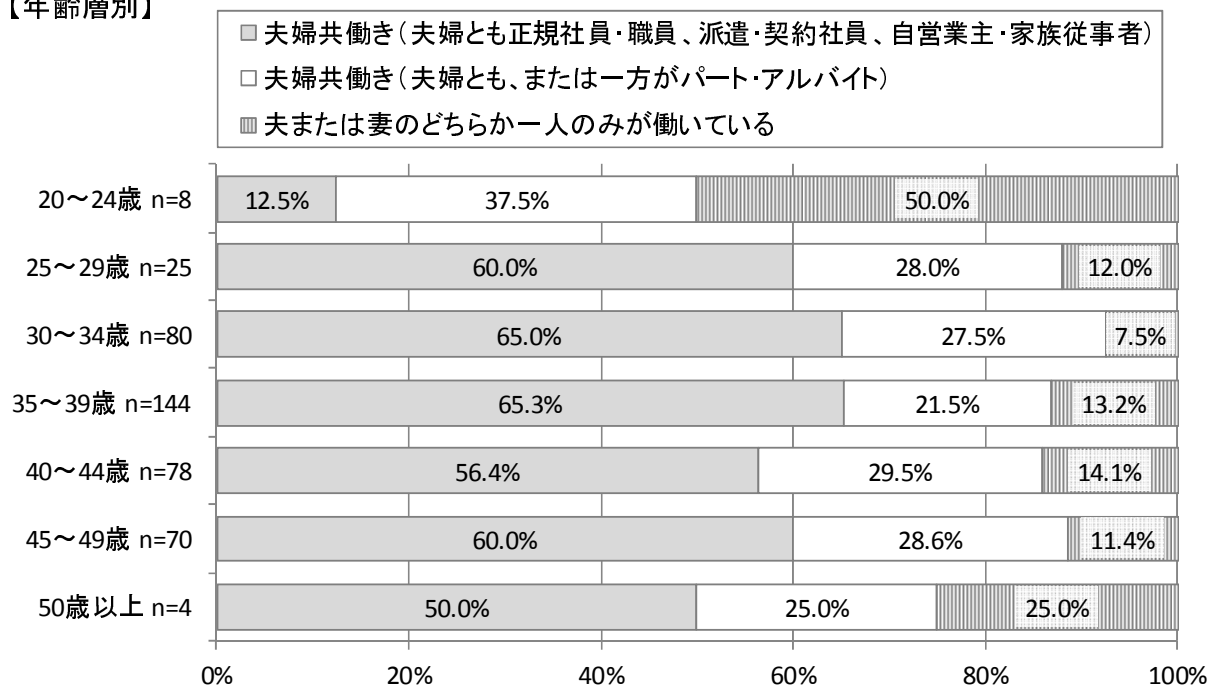
○全体では、「夫婦共働き（夫婦とも正規社員・職員等）」と回答した方が61.1%で最も多く、次いで「夫婦共働き（夫婦とも、または一方がパート、アルバイト）」が26.2%、「夫または妻のどちらか一人のみが働いている」が12.7%となっている。

○年齢層別で見ると、20～24歳は「夫または妻のどちらか一人のみが働いている」の割合が最も大きくなっているが、それ以外は全て「夫婦共働き（夫婦とも正規社員・職員等）」の割合が最も大きくなっている。

【全体】



【年齢層別】



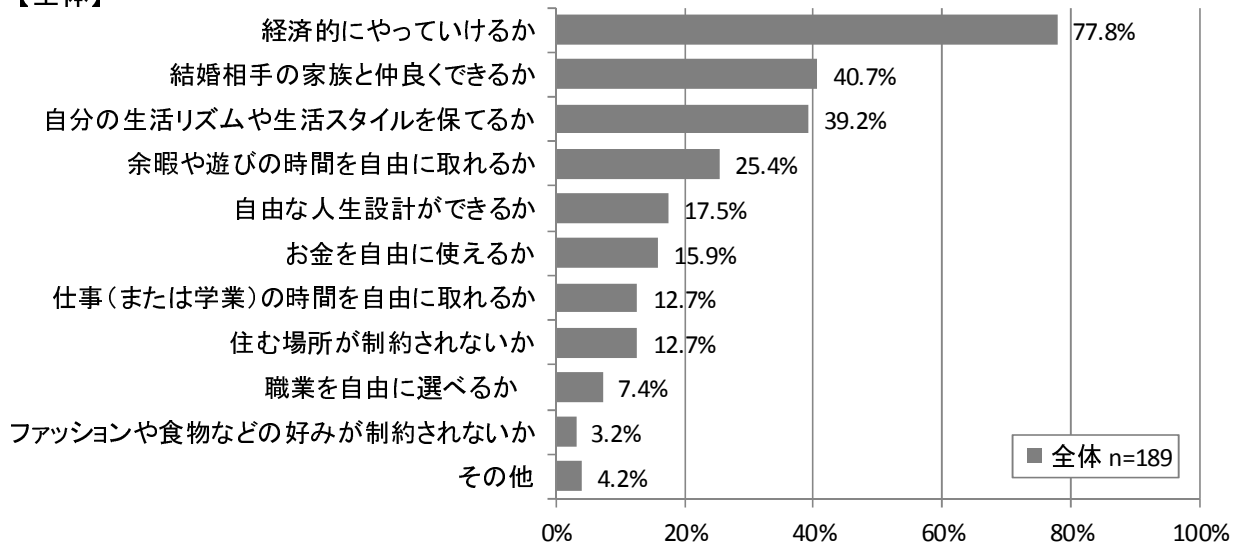
問9から13までは、問6で「2. 独身（離別・死別含む）」と回答した方のみ

【問9】あなたが、結婚することを考えたとき、どのようなことが気になりますか。（3つまで）

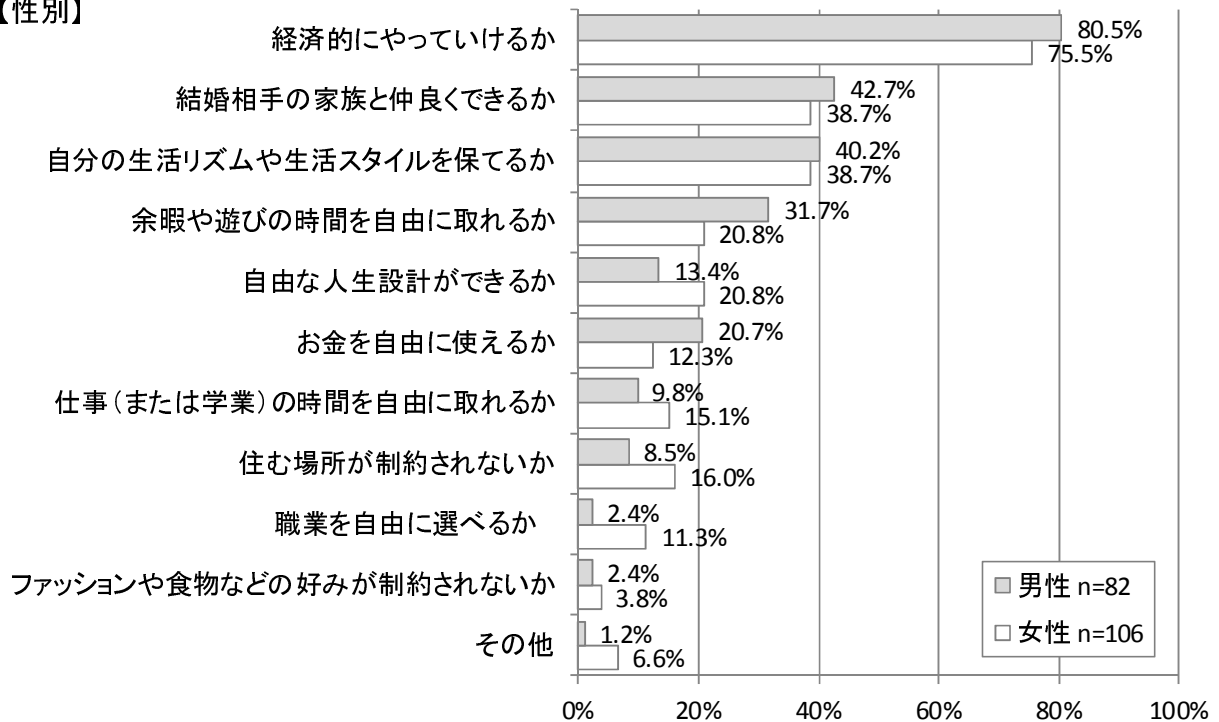
○全体では、「経済的にやっていけるか」と回答した方が77.8%で最も多く、次いで「結婚相手の家族と仲良くできるか」が40.7%、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が39.2%となっている。

○性別で見ると、概ね同様の傾向となっているが、「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」や「お金を自由に使えるか」は男性、「住む場所が制約されないか」や「職業を自由に選べるか」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

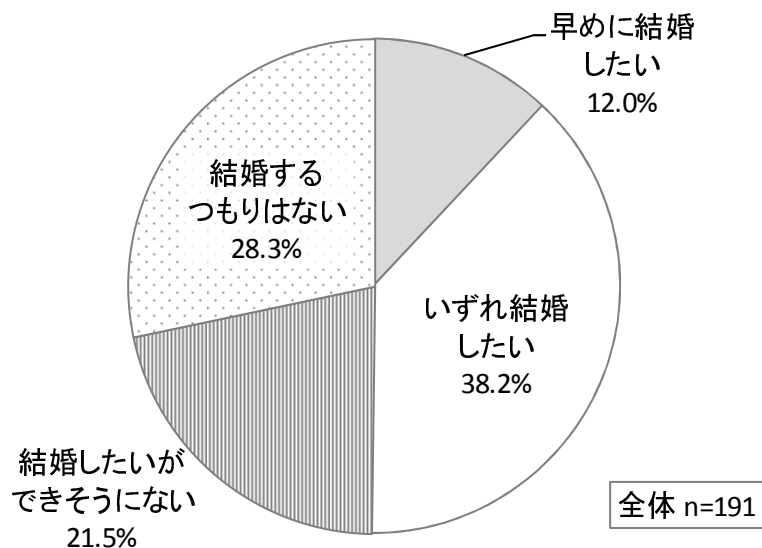
- 結婚することをそもそも考えない（女性／30～34歳／南外）
- 現在病気のため考えられない（女性／30～34歳／太田）
- 親の世話を誰が見るのか（女性／40～44歳／太田）
- 子供を大事にしてくれるか（女性／30～34歳／大曲）
- 子供と相手が仲良くできるか（女性／40～44歳／大曲）
- 子供と相手がうまくやっけていけるか（女性／25～29歳／大曲）
- 自分の寿命（男性／30～34歳／大曲）
- 相手が自立しているかどうか（女性／45～49歳／西仙北）

【問10】結婚に関するあなたの考えに近いものはどれですか。

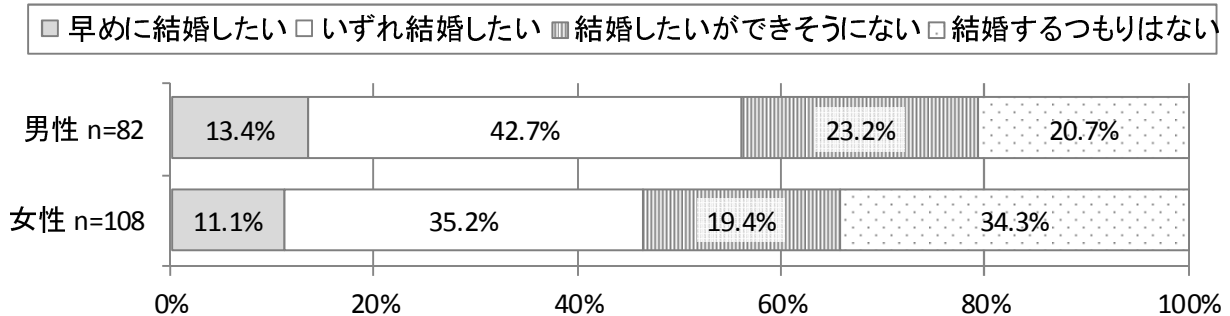
○全体では、「いずれ結婚したい」と回答した方が38.2%で最も多く、「早めに結婚したい」と回答した方と合わせると約半数となっている。また、「結婚したいができそうにない」を含め、「結婚したい」と回答した方については7割を超えている。

○性別で見ると、「いずれ結婚したい」は男性、「結婚するつもりはない」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



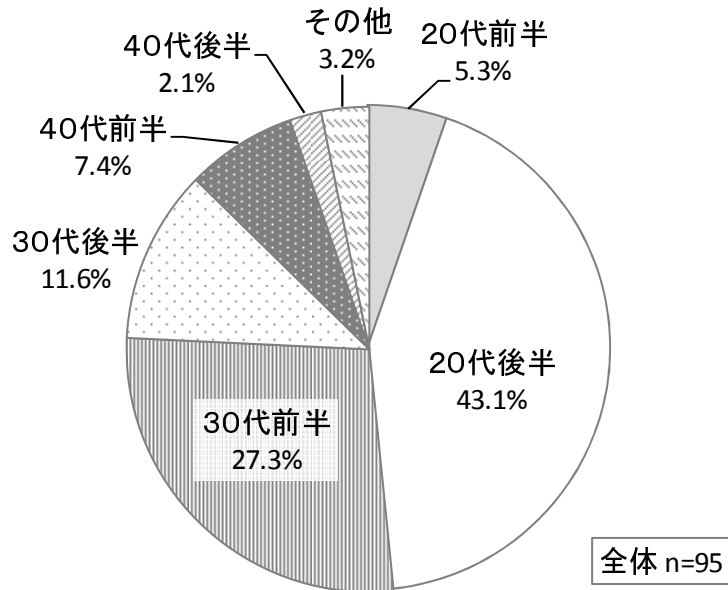
【問11】あなたが結婚したいと考える年齢は何歳くらいですか。

(問10で「1. 早めに結婚したい」、「2. いずれ結婚したい」と回答した方)

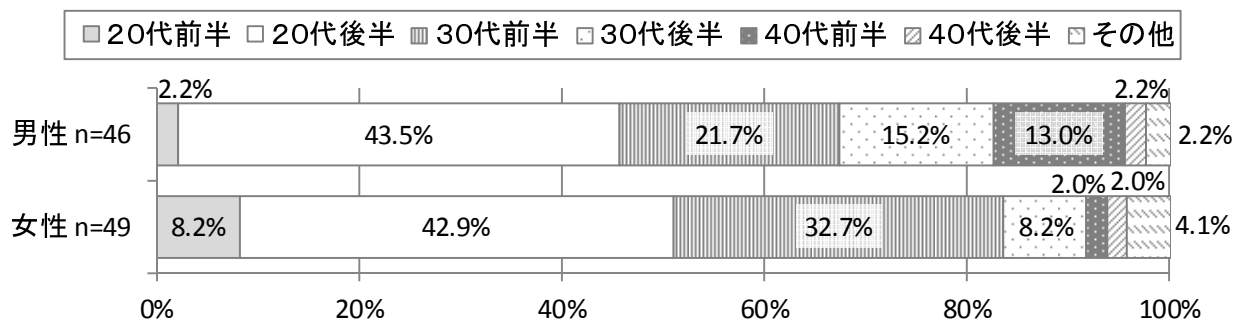
○全体では、「20代後半」と回答した方が43.1%で最も多く、「20代前半」と回答した方と合わせると半数近くとなっている。

○性別で見ると、「30代後半」や「40代前半」は男性、「20代前半」や「30代前半」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

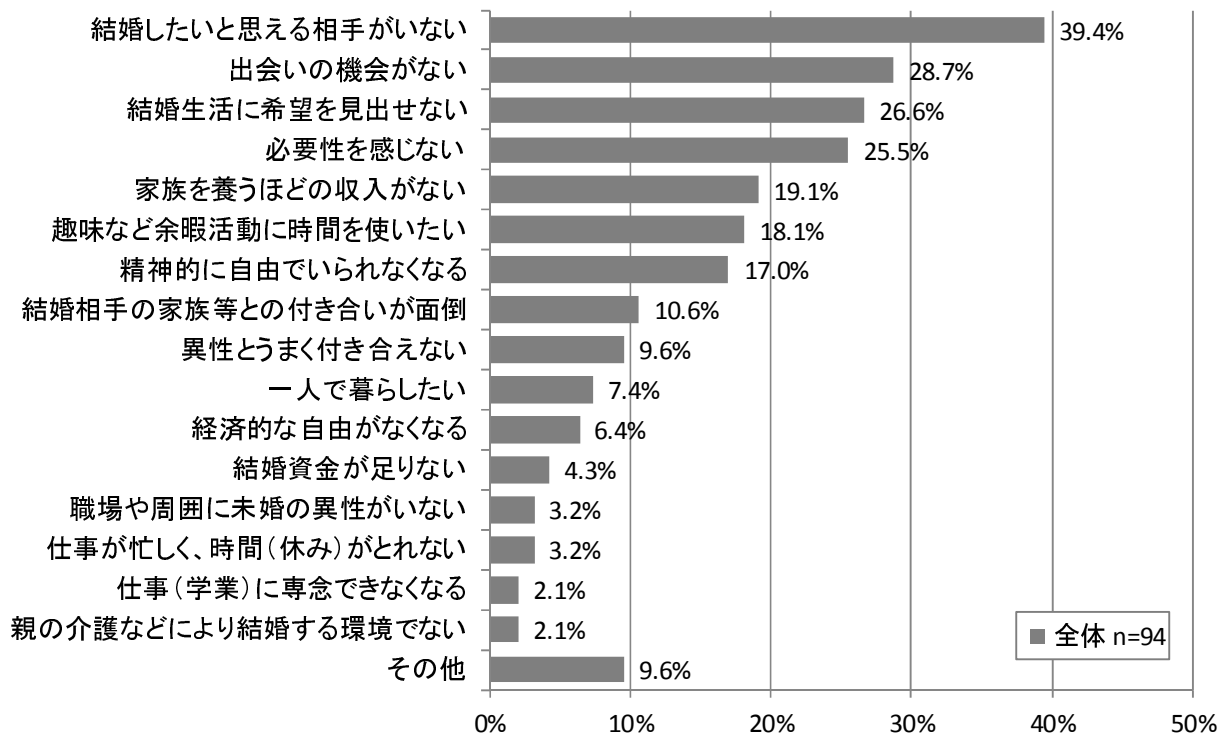
- 時期はわからない (女性/25~29歳/大曲)
- 50代 (男性/45~49歳/太田)
- タイミングが合えば (女性/30~34歳/大曲)

【問12】結婚できそうにない、または結婚するつもりはない理由は何ですか。（3つまで）
 （問10で「3. 結婚したいができそうにない」、「4. 結婚するつもりはない」と回答した方）

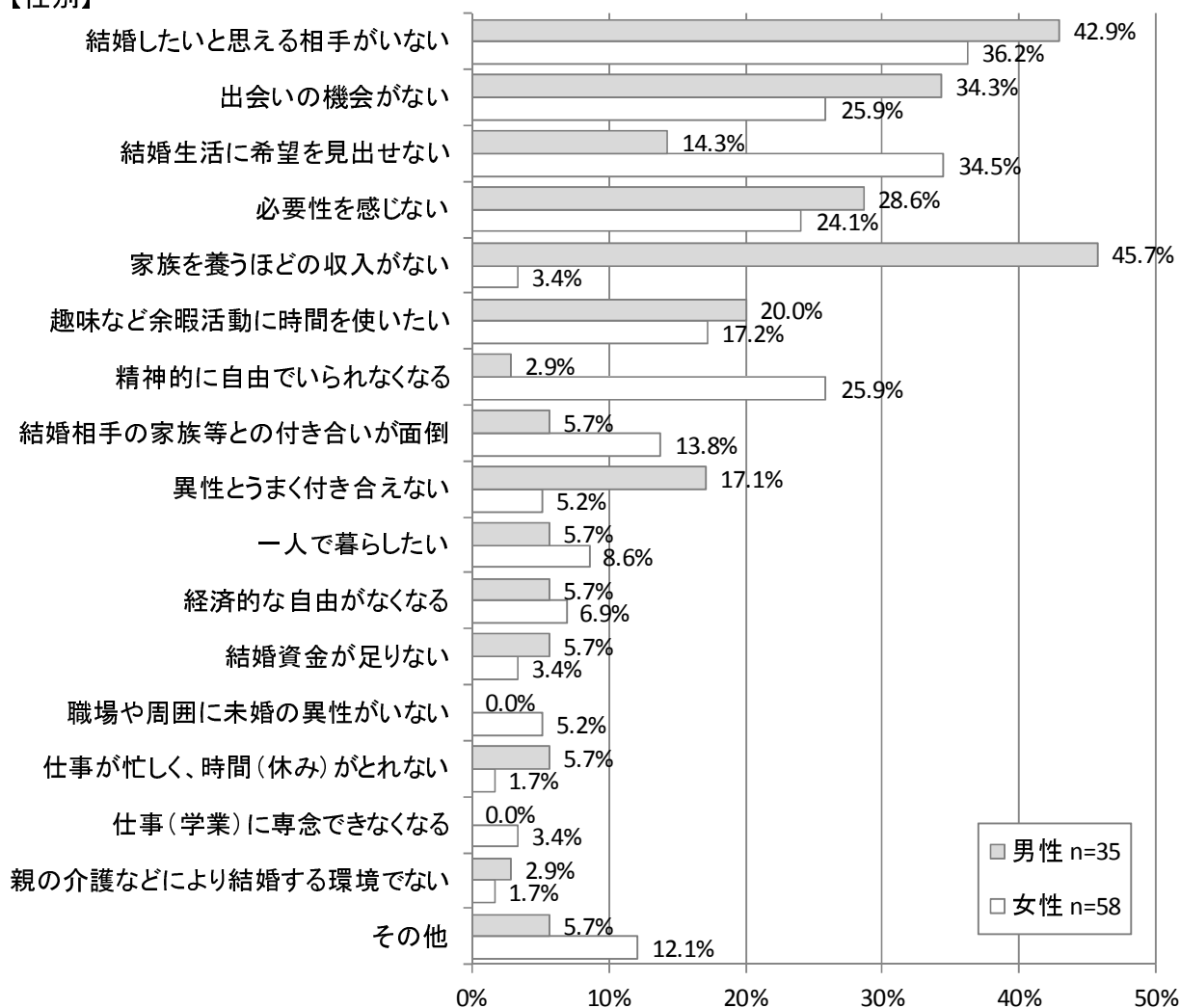
○全体では、「結婚したいと思える相手がない」と回答した方が39.4%で最も多く、次いで「出会いの機会がない」が28.7%、「結婚生活に希望を見出せない」が26.6%となっている。

○性別で見ると、男性では「家族を養うほどの収入がない」と回答した方が最も多く、女性は全体同様「結婚したいと思える相手がない」が最も多くなっている。また、「家族を養うほどの収入がない」や「異性とうまく付き合えない」は男性、「結婚生活に希望を見出せない」や「精神的に自由でいられなくなる」、「結婚相手の家族等との付き合いが面倒」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- バツイチで子供あり (女性/30～34歳/大曲)
- 結婚したい相手が結婚を希望していない (女性/35～39歳/大曲)
- 子育てを優先させたい (女性/45～49歳/太田)
- 障がいがあるため、結婚ということはハードルが高く、周囲のサポートや理解がないと到底無理だと思われる。(男性/20～24歳/大曲)
- 子供との時間が楽しいから (女性/40～44歳/大曲)
- 子供がいるので (女性/45～49歳/太田)
- 病気のため収入がない (男性/45～49歳/協和)
- 体調に自信がない (女性/30～34歳/西仙北)

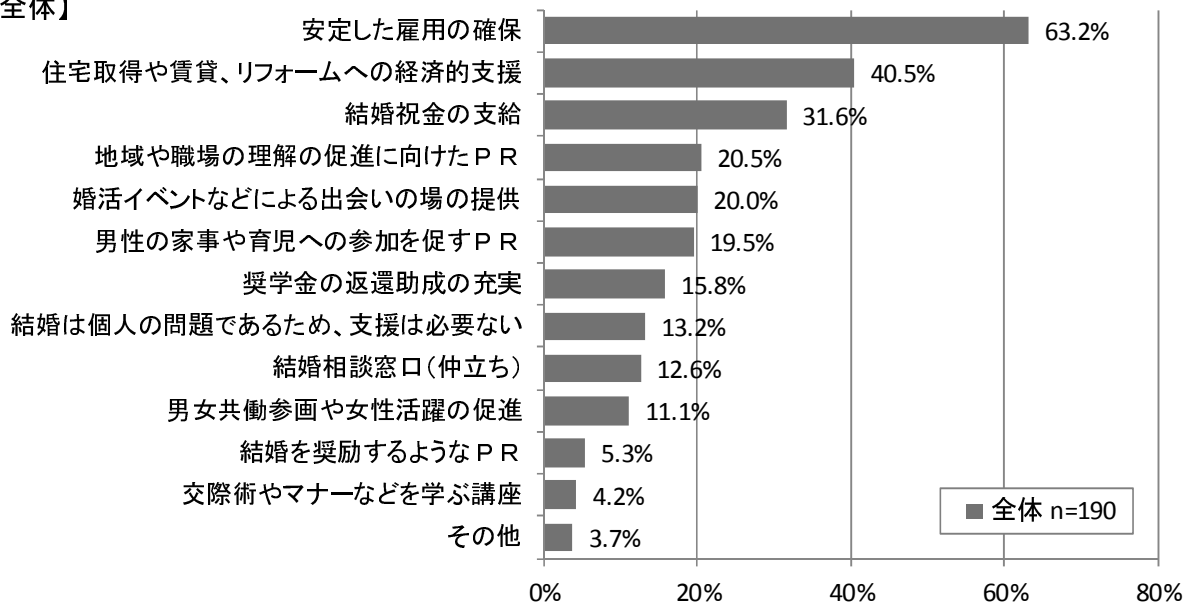
【問 1 3】結婚に関する支援策として、どのような取り組みが重要だと思いますか。

(3 つまで選び、最も重要だと思う番号には◎、2、3 番目に重要だと思う番号には○)

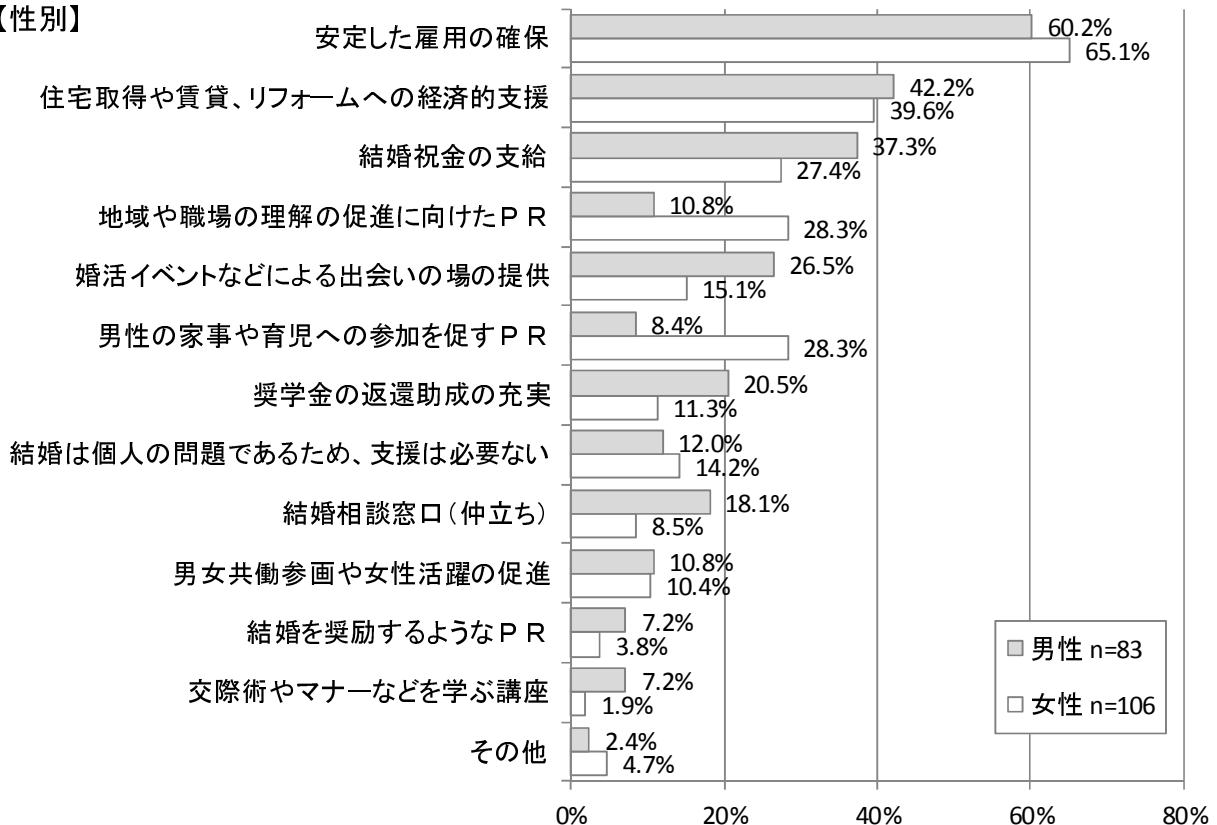
○全体では、「安定した雇用の確保」と回答した方が 63.2%で最も多く、次いで「住宅取得や賃貸、リフォームへの経済的支援」が 40.5%、「結婚祝金の支給」が 31.6%となっている。

○性別で見ると、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」や「奨学金の返還助成の充実」、「結婚相談窓口（仲立ち）」などは男性、「地域や職場の理解の促進に向けたPR」や「男性の家事や育児への参加を促すPR」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- とにかくお金が必要です（男性／45～49歳／太田）
- 親が自分達で生活できるようになれば、子供が犠牲にならずに済むと思う。（女性／40～44歳／太田）
- 秋田県は給料が安すぎる。結婚しても生活できない。給料UPが必要。（女性／40～44歳／大曲）
- 10年後20年後の安定や安心（女性／35～39歳／大曲）

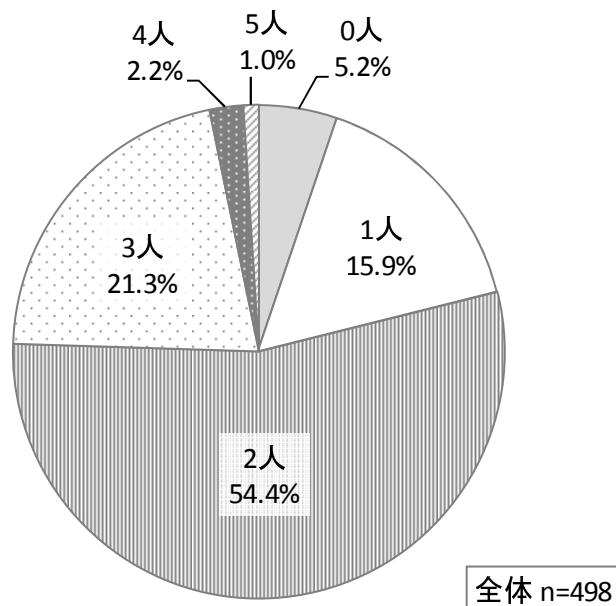
問14から18までは、「現在お子さんがいらっしゃる方」と「今後子どもを持ちたいと考えている方（独身の方も含む）」のみ

【問14】あなたの「現在の子どもの人数（A）」、「今後の子どもの予定人数（B）」、「理想的な子どもの人数（C）」は何人ですか。

〔現在のお子さんの人数と今後の予定人数を合わせた現実的なお子さんの人数について〕

○全体では、「2人」と回答した方が54.4%で最も多く、次いで「3人」が21.3%、「1人」が15.9%となっている。

【全体】



〔理想のお子さんの人数について〕

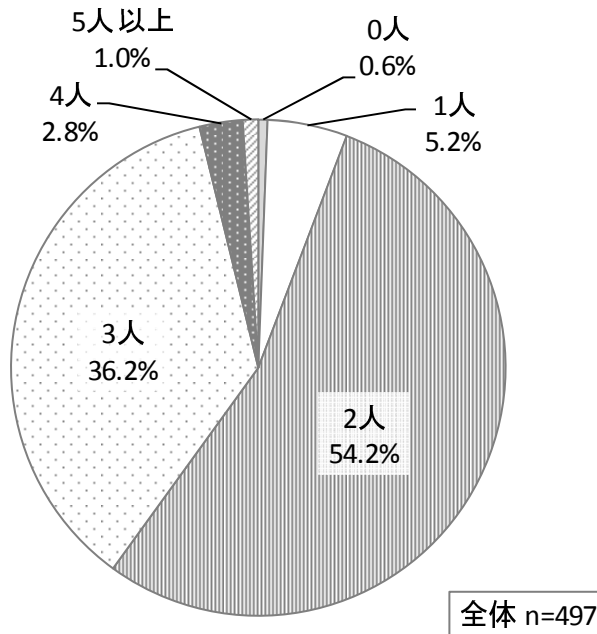
○全体では、「2人」と回答した方が54.2%で最も多く、次いで「3人」が36.2%、「1人」が5.2%となっている。現実的なお子さんの人数と比べると「2人」の割合はほぼ同じであるが、「3人」の割合が大きく、「1人」の割合が小さくなっている。

○性別で見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。女性の方が「3人」の割合が大きくなっている。

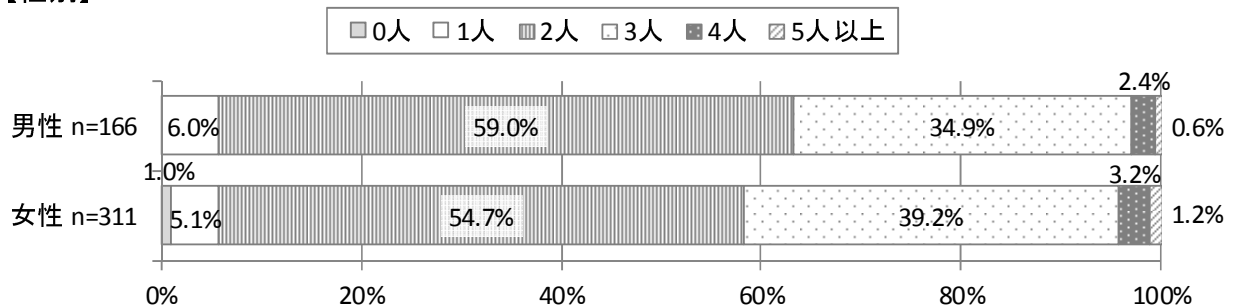
○年齢層別で見ると、概ね全体と同様の傾向となっているが、「18～19歳」では「1人」の割合が、「20～24歳」及び「45～49歳」では「2人」の割合が他の年齢層よりも比較的大きくなっている。

○問6の結婚の有無別で見ると「独身」の方は「1人」及び「2人」の割合が大きく、「3人」の割合が小さくなっている。

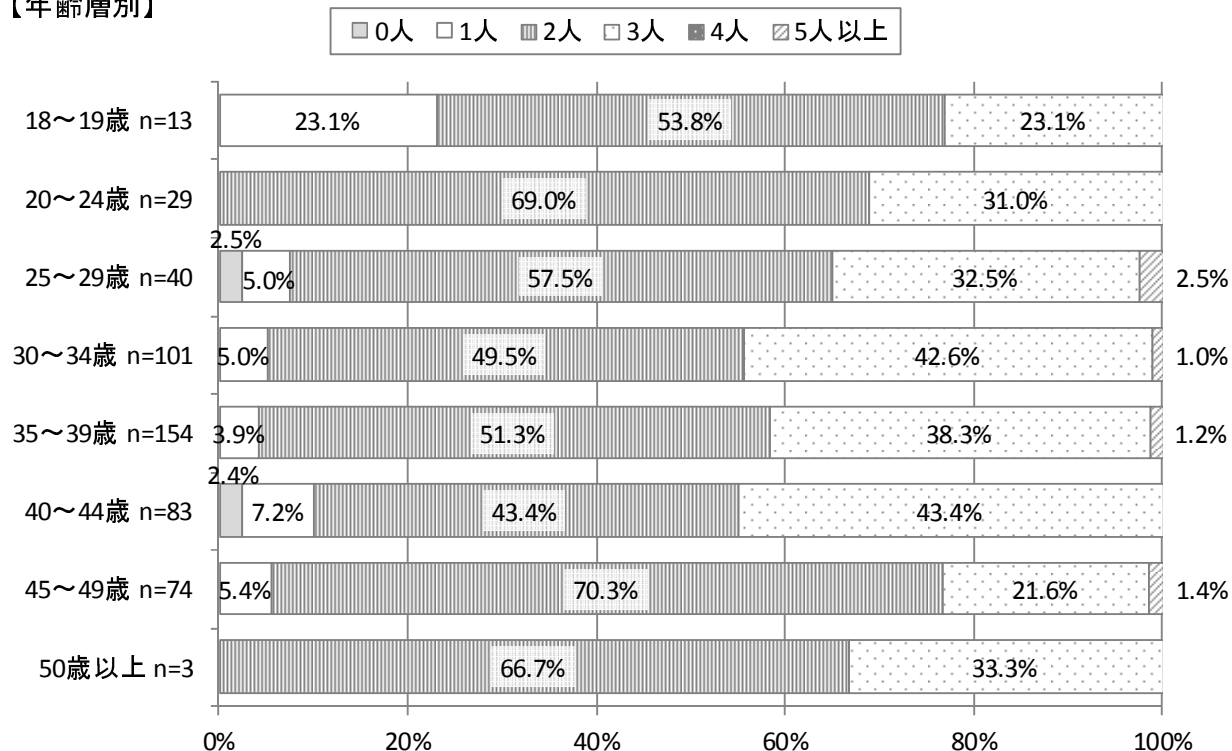
【全体】



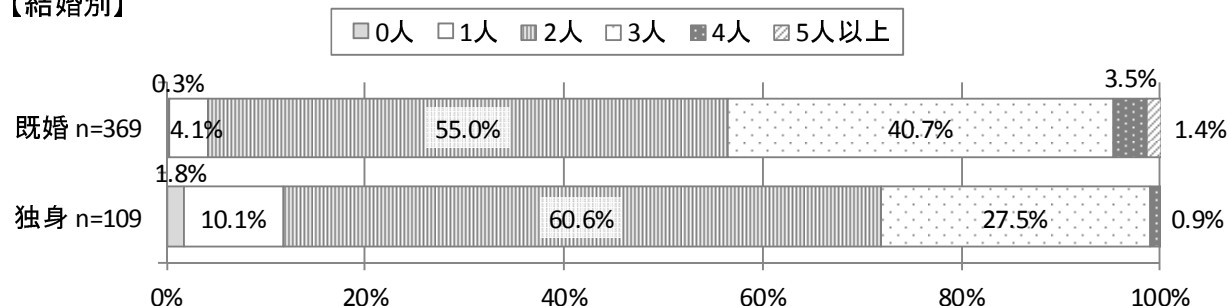
【性別】



【年齢層別】



【結婚別】

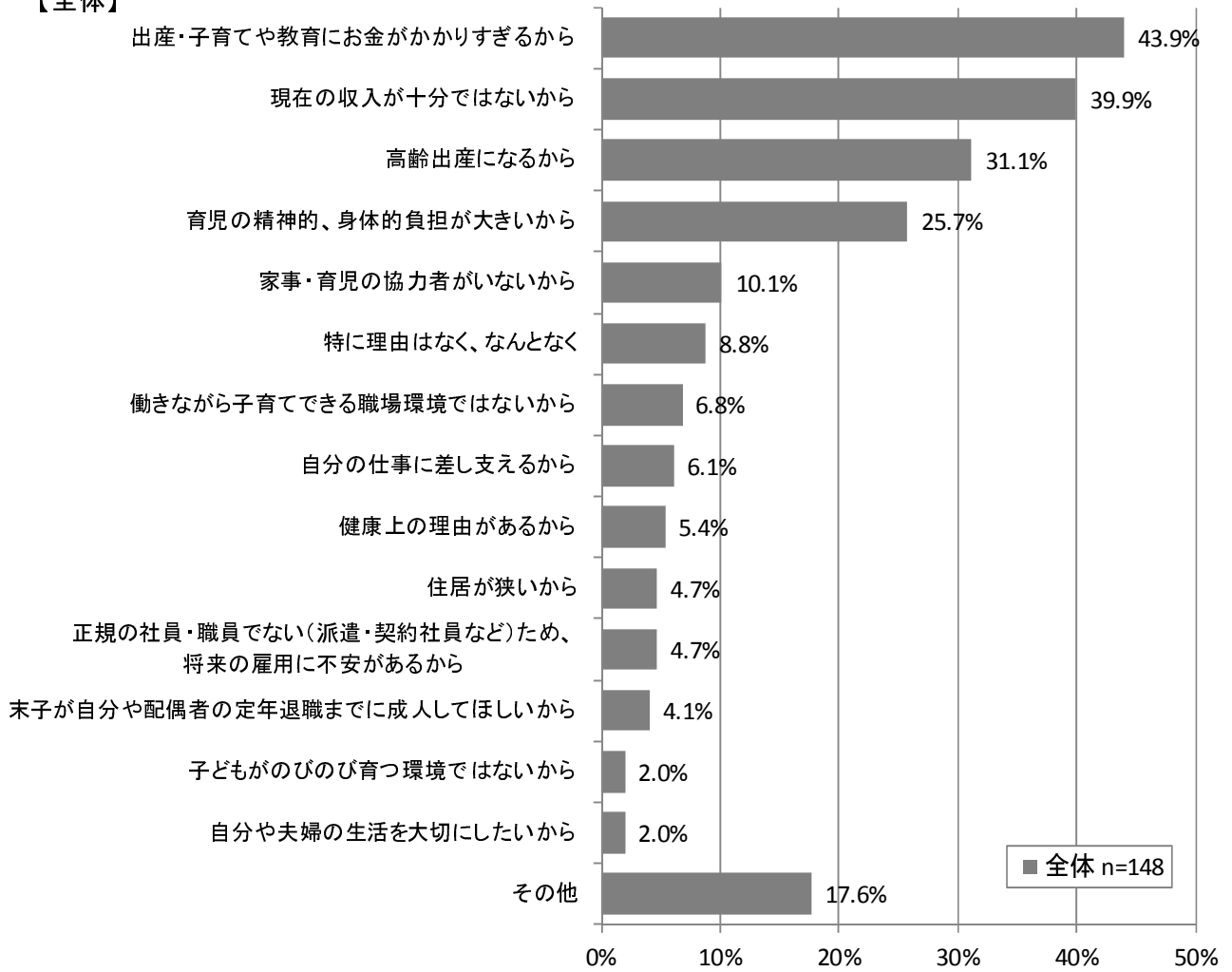


【問15】「現在の子どもの人数（A）」と「今後の子どもの予定人数（B）」を足した人数が、「理想的な子どもの人数（C）」より少ない理由は何ですか。（3つまで）
（問14で（A）+（B）が（C）より少ない方）

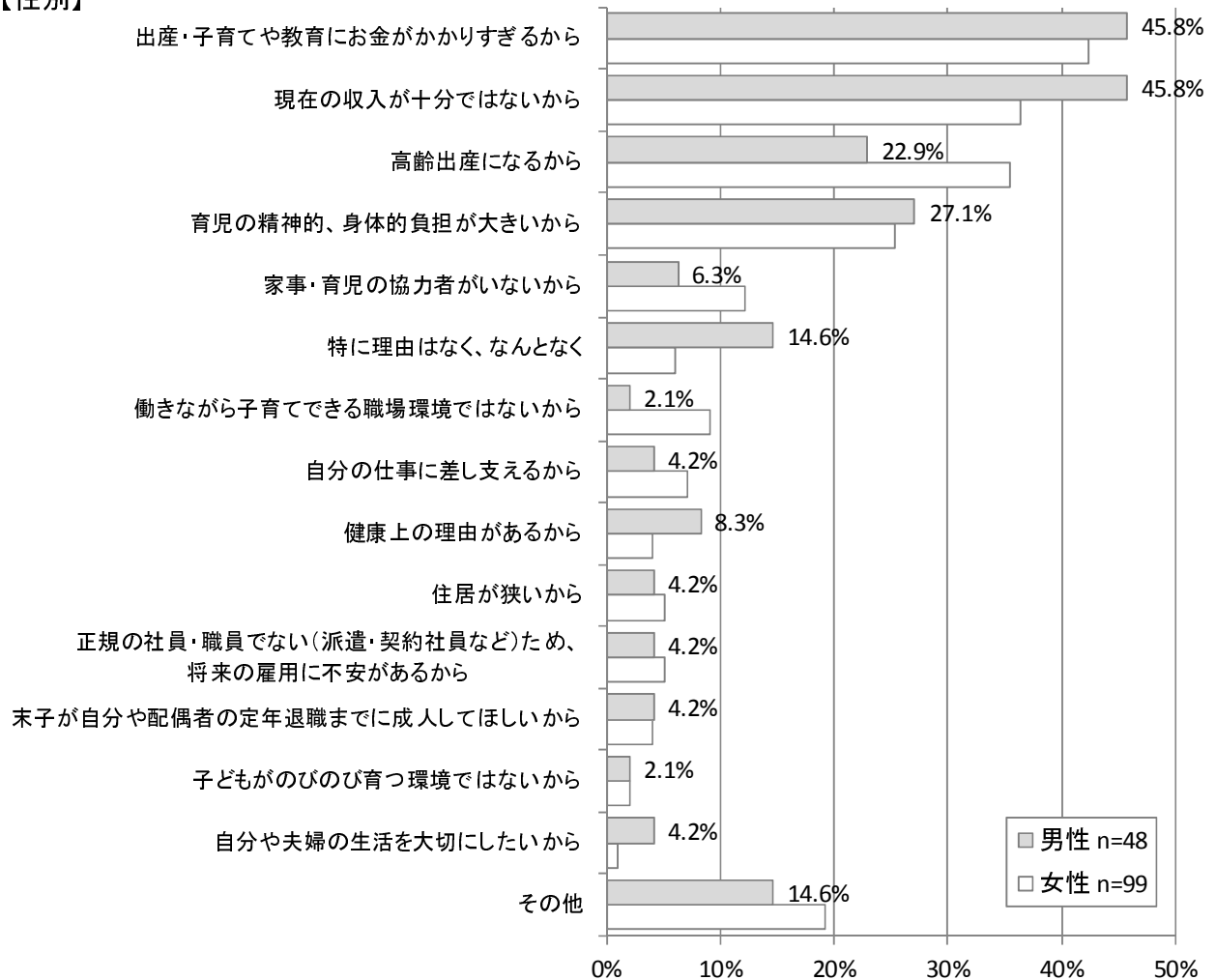
○全体では、「出産・子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した方が43.9%で最も多く、次いで「現在の収入が十分ではないから」が39.9%、「高齢出産になるから」が31.1%となっている。

○性別で見ると、男性では「出産・子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と「現在の収入が十分ではないから」が同率で最も多くなっており、女性では全体同様「出産・子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多くなっている。また、「現在の収入が十分ではないから」や「健康上の理由があるから」は男性、「高齢出産になるから」や「家事・育児の協力者がいないから」、「働きながら子育てできる職場環境ではないから」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- 独身だから (【男性】 30～34 歳／協和、40～44 歳／西仙北、【女性】 18～19 歳／大曲、18～19 歳／太田 2名、30～34 歳／大曲 2名、35～39 歳／大曲 2名)
- 1人目の時、子供が手術したから (男性／45～49 歳／西仙北／既婚)
- 4月から働き始め、育休を得るには1年働く必要があるから (女性／30～34 歳／大曲／既婚)
- 子供を産んでも子供の未来が心配 (女性／40～44 歳／仙北／独身)
- 子供に発達遅れあり、二人目もだったらという不安があるため。(女性／30～34 歳／西仙北／既婚)
- 高校を卒業したばかりで予定がないから (男性／18～19 歳／大曲／独身)
- シングルマザーで結婚する気がないから (女性／30～34 歳／協和／独身)
- 不妊治療中であるが、助成金もすべて使いきり、今後は実費になるため、金銭的に負担が多いので (女性／35～39 歳／中仙／既婚)
- 流産したので (女性／45～49 歳／中仙／既婚)
- 単身赴任が長かった。14年目。(男性／40～44 歳／大曲／既婚)
- 転勤や家族の問題などあり、タイミングを逃し、年齢もあり、諦めた (女性／45～49 歳／大曲／既婚)
- 不妊症のため、長らく子供を授からなかったから (女性／45～49 歳／神岡／既婚)

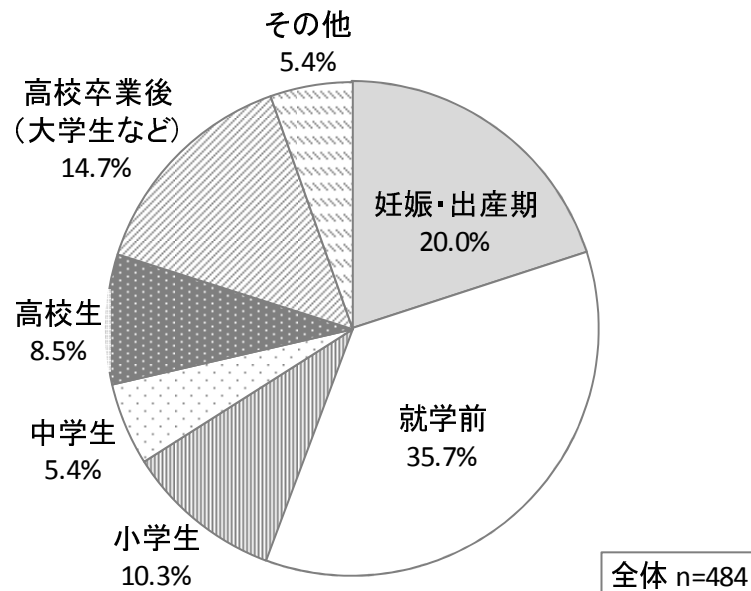
- 子供を産めない体になったため（女性／35～39歳／大曲／独身）
- 子供がなかなかできない（男性／40～44歳／大曲／既婚）
- 学生だから（男性／18～19歳／太田／独身）
- 別居中であり、離婚→再婚することも定かではなく、年齢も上がってしまう不安のため（女性／35～39歳／神岡／既婚）
- パートナー・家族の同意を得られなかったから（女性／35～39歳／大曲／既婚）

【問16】あなたは、子育てにおいてどの時期の支援が最も重要だと思いますか。

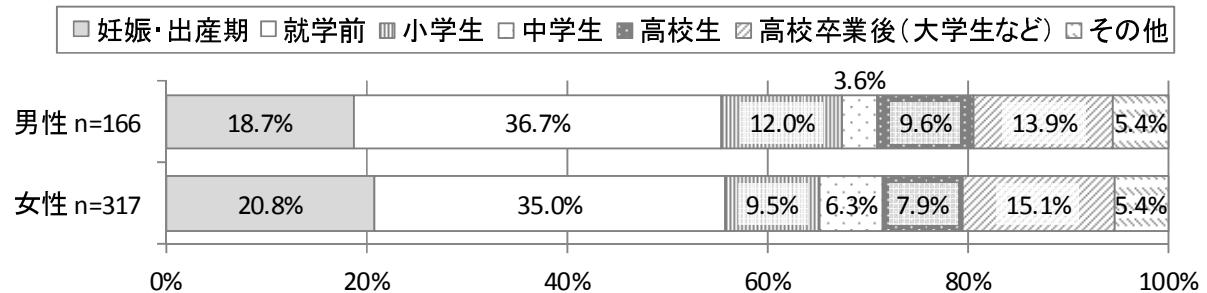
○全体では、「就学前」と回答した方が35.7%で最も多く、次いで「妊娠・出産期」が20.0%、「高校卒業後（大学生など）」が14.7%となっている。

○性別で見ると、男女とも全体とほぼ同様の傾向となっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

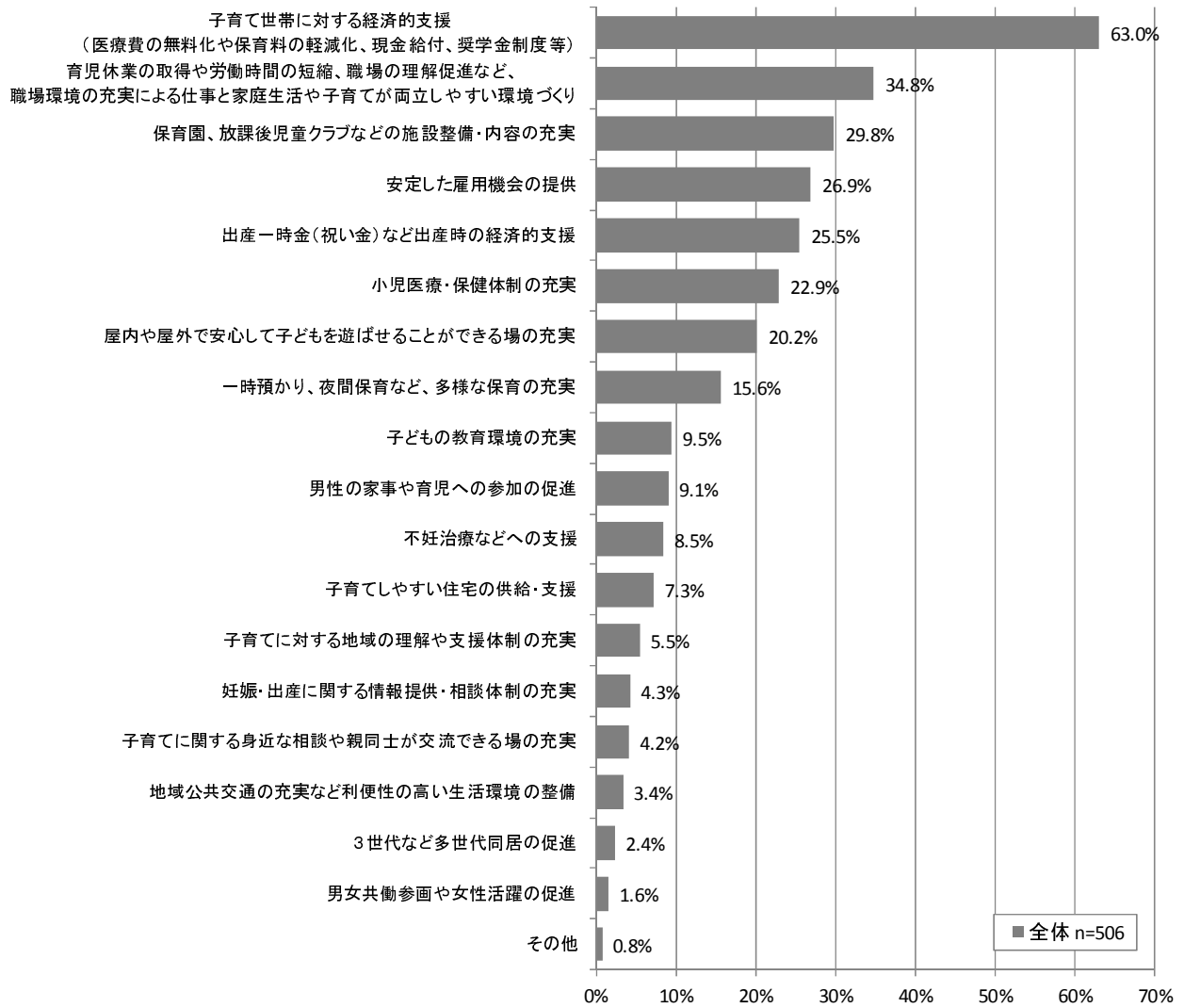
- 全ての時期（【男性／大曲】25～29歳／独身、30～34歳／既婚、40～44歳／既婚、【女性／独身】18～19歳／大曲、【女性／既婚】25～29歳／仙北、35～39歳／大曲 2名、40～44歳／大曲）
- 成人するまで（【男性】35～39歳／中仙／既婚、【女性／独身】30～34歳／仙北、35～39歳／大曲、【女性／既婚】35～39歳／大曲）
- 妊娠～高校卒業まで（【女性／既婚】30～34歳／大曲、35～39歳／中仙、35～39歳／太田）
- 妊娠～就学前（【女性／既婚】25～29歳／協和、30～34歳／大曲）
- 小学生～高校生まで（【男性／既婚】40～44歳／西仙北 2名、35～39歳／太田）
- 妊娠・出産期と就学前（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- 妊活中（女性／35～39歳／協和／既婚）
- 中～高校生（女性／30～34歳／協和／独身）
- スポ少や部活動（男性／45～49歳／仙北／独身）
- 義務教育終了まで（男性／35～39歳／大曲／既婚）
- どの時期も支援が必要だと思うので選べない。（女性／30～34歳／大曲／独身）

【問17】あなたは、出産・子育て支援において、どのような取り組みが重要だと思いますか。
（3つまで選び、最も重要だと思う番号には◎、2，3番目に重要だと思う番号には○）

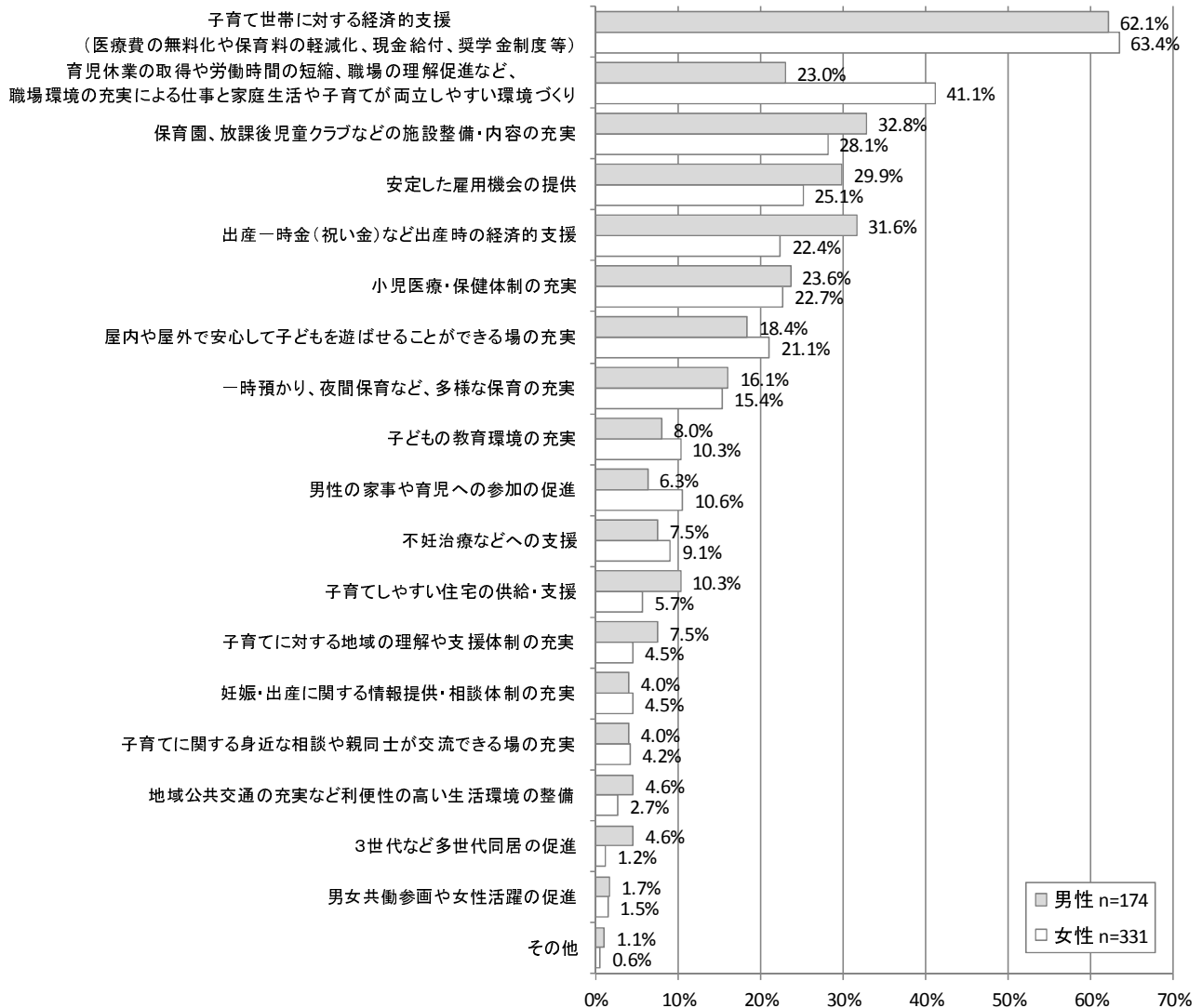
○全体では、「子育て世帯に対する経済的支援」と回答した方が63.0%で最も多く、次いで「育児休業の取得や労働時間の短縮、職場の理解促進など、職場環境の充実による仕事と家庭生活や子育てが両立しやすい環境づくり」が34.8%、「保育園、放課後児童クラブなどの施設整備・内容の充実」が29.8%となっている。

○性別で見ると、「出産一時金（祝い金）など出産時の経済的支援」や「子育てしやすい住宅の供給・支援」は男性、「育児休業の取得や労働時間の短縮、職場の理解促進など、職場環境の充実による仕事と家庭生活や子育てが両立しやすい環境づくり」や「男性の家事や育児への参加の促進」は女性の方の割合が大きく、それぞれ異性との差が比較的大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- 高校卒業までの一貫した支援 (男性/35~39歳/太田/独身)
- 高所得者に対する所得制限の撤廃 (男性/45~49歳/中仙/既婚)
- 私は3番目の子が大曲支援学校に通っています。子供が少ないのであればもう少し大人が住みやすい、働きやすい環境を作ってあげてほしいです。(無理だと思いますが...) 大仙市でがんばってほしいです。お願いします。(女性/45~49歳/大曲/既婚)
- 出産後から仕事復帰するまでの経済的支援(任意の予防接種などの援助)(女性/30~34歳/大曲/既婚)

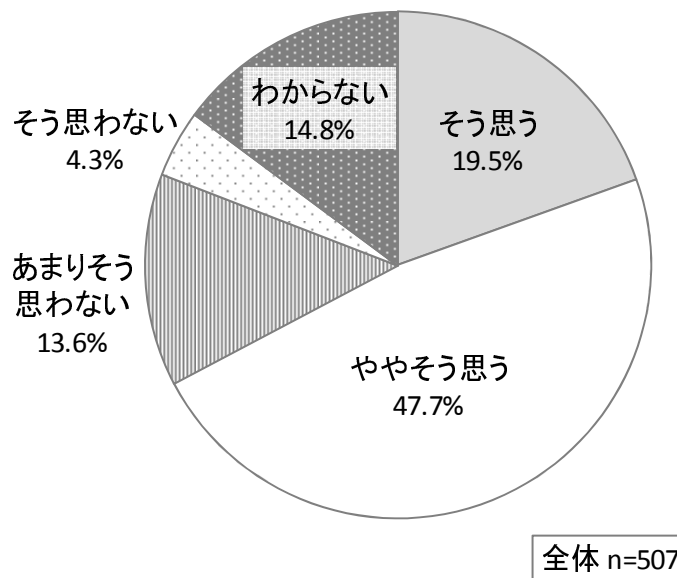
【問18】大仙市は子育てしやすい環境だと思いますか。

○全体では、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が67.2%となっており、7割近くの方が子育てしやすいと回答している。

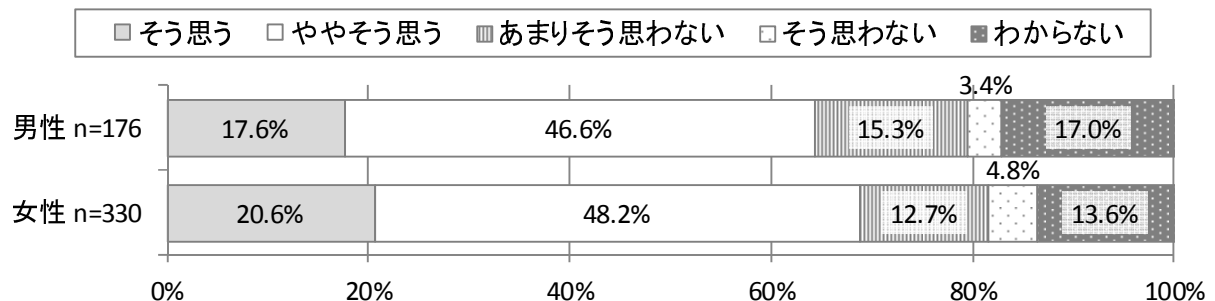
○性別で見ると、男女とも全体とほぼ同様の傾向となっている。

○地域別で見ると、神岡、協和地域では、他の地域に比べ「そう思う」と回答した方の割合が小さく、「ややそう思う」と回答した方の割合が大きくなっている。また、南外地域では「あまりそう思わない」と回答した方の割合が42.9%となっており、他の地域に比べ大きくなっている。

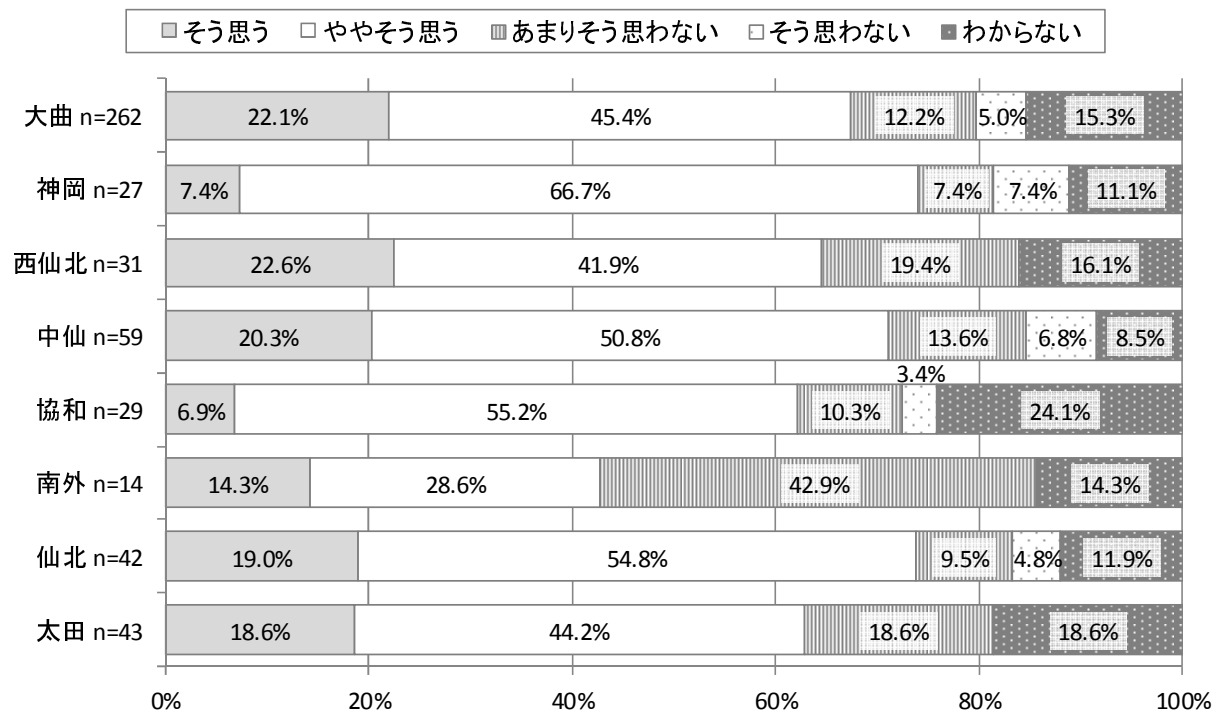
【全体】



【性別】



【地域別】

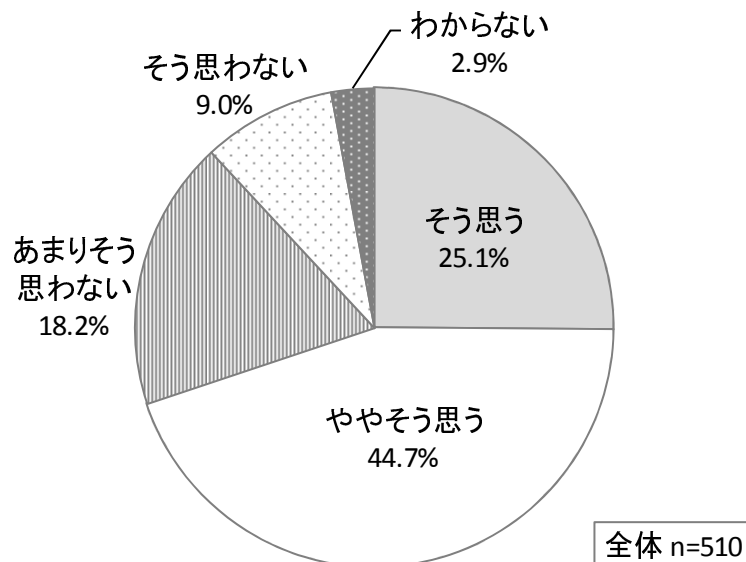


問19、20は「現在お仕事をされている方」のみ

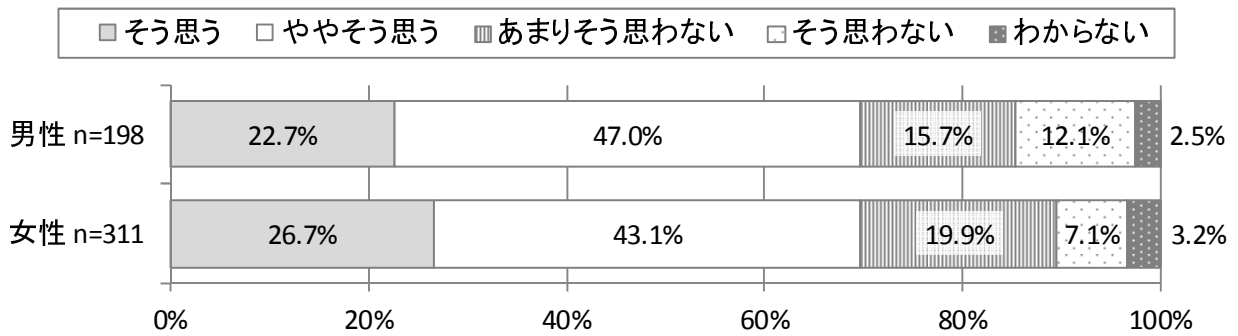
【問19】あなたの職場は、仕事と家庭などの生活が両立しやすい環境（ワーク・ライフ・バランスがとりやすい環境）ですか。

- 全体では、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が69.8%となっており、約7割の方がワーク・ライフ・バランスがとりやすい環境であると回答している。
- 性別で見ると、男性の方が「そう思う」と回答した方の割合が小さく、「そう思わない」と回答した方の割合が大きくなっている。

【全体】



【性別】

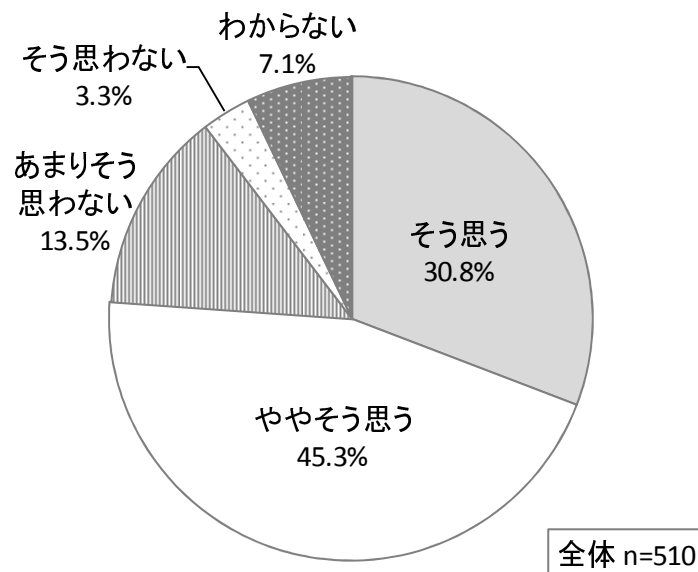


【問20】あなたの職場は、結婚や子育てに理解があると思いますか。

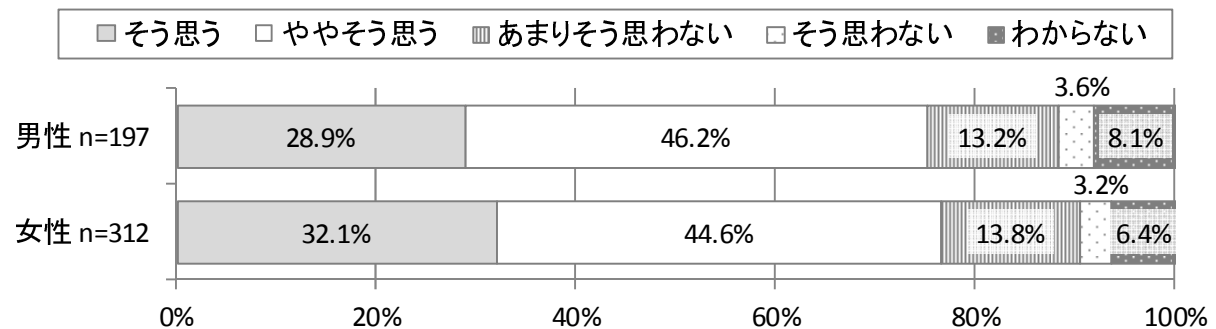
○全体では、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合が76.1%となっており、7割以上の方が理解があると回答している。

○性別で見ると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合は女性の方が大きくなっている。

【全体】



【性別】



【問 2 1】あなたは、家庭での育児の関わり方について、どうあるべきだと思いますか。

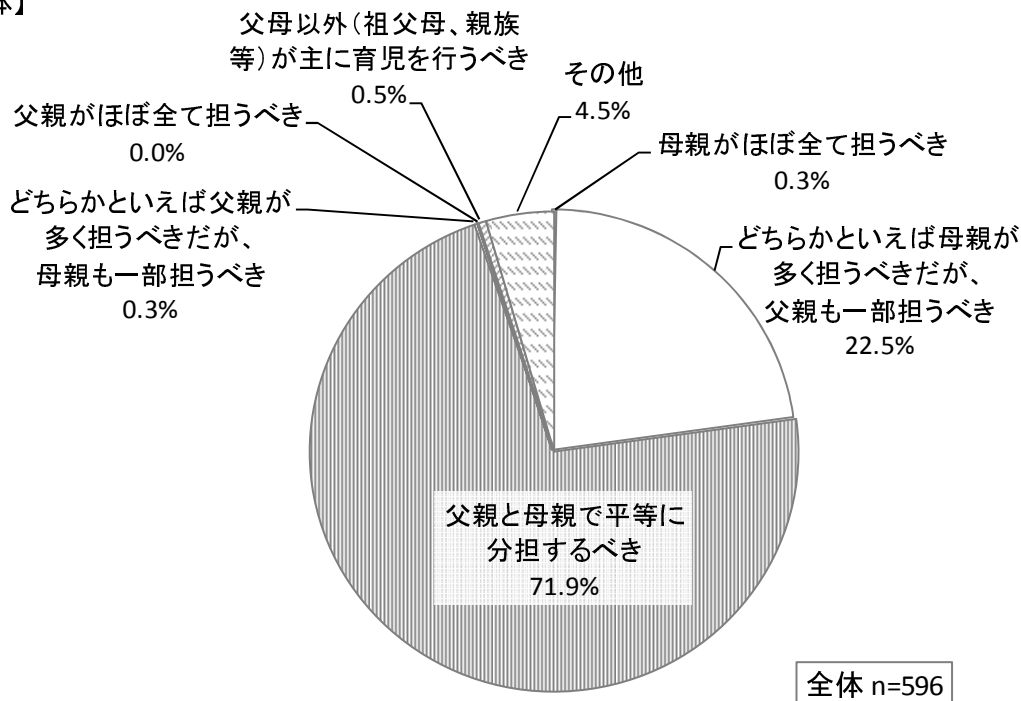
また、現在お子さんがいる方は、お子さんの育児に対して主に関わっている方はどなたですか。

〔理想の関わり方〕

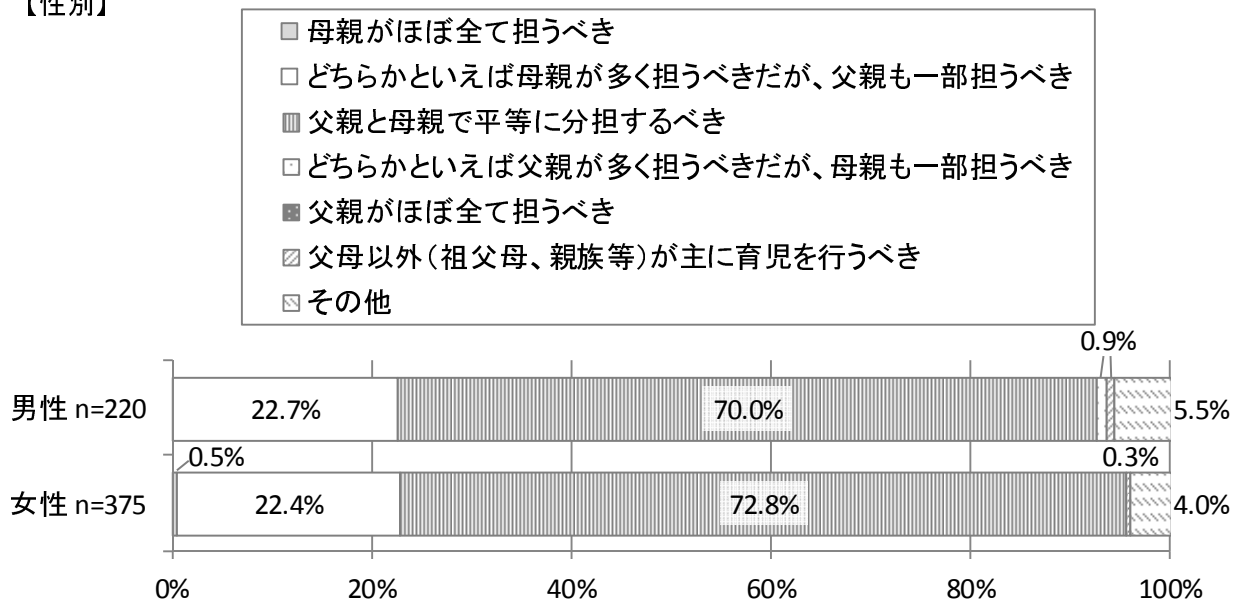
○全体では、「父親と母親で平等に分担するべき」と回答した方が71.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば母親が多く担うべきだが、父親も一部担うべき」が22.5%となっている。

○性別で見ると、男女とも全体とほぼ同様の傾向となっているが、女性の方が「父親と母親で平等に分担するべき」と回答した方の割合がわずかに大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

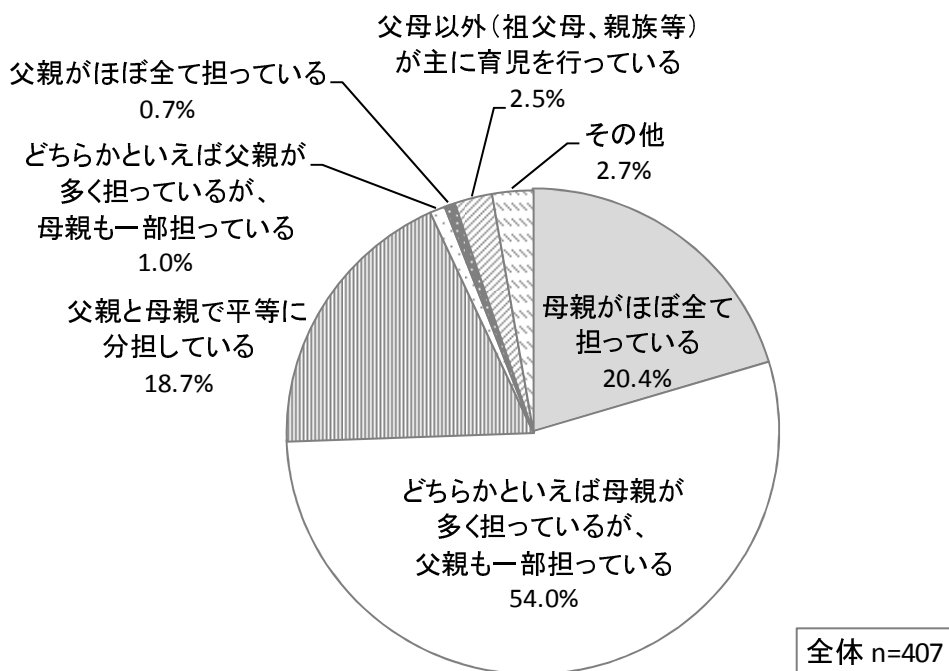
- 家族全員で協力すべき（【男性／既婚】30～34歳 2名、35～39歳 2名、40～44歳 3名、45～49歳、【女性／独身】30～34歳、35～39歳 2名、40～44歳、50歳以上、【女性／既婚】30～34歳 2名、35～39歳 2名、40～44歳、45～49歳）
- その家庭環境で調整すべき（男性／35～39歳／太田／独身）
- ケースバイケース（女性／30～34歳／大曲／独身）
- それぞれで良いと思う。関わり方を問うべきではない。（女性／40～44歳／協和／独身）
- やれる人と時間の取り方による（男性／30～34歳／大曲／独身）
- どちらかといえば選択肢2の「どちらかといえば母親が多く担うべきだが、父親も一部担うべき」ですが、共働きなら選択肢3の「父親と母親で平等に分担すべき」にするべき（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- わからない（男性／35～39歳／仙北／既婚、女性／30～34歳／太田／独身）

〔実際の関わり方〕

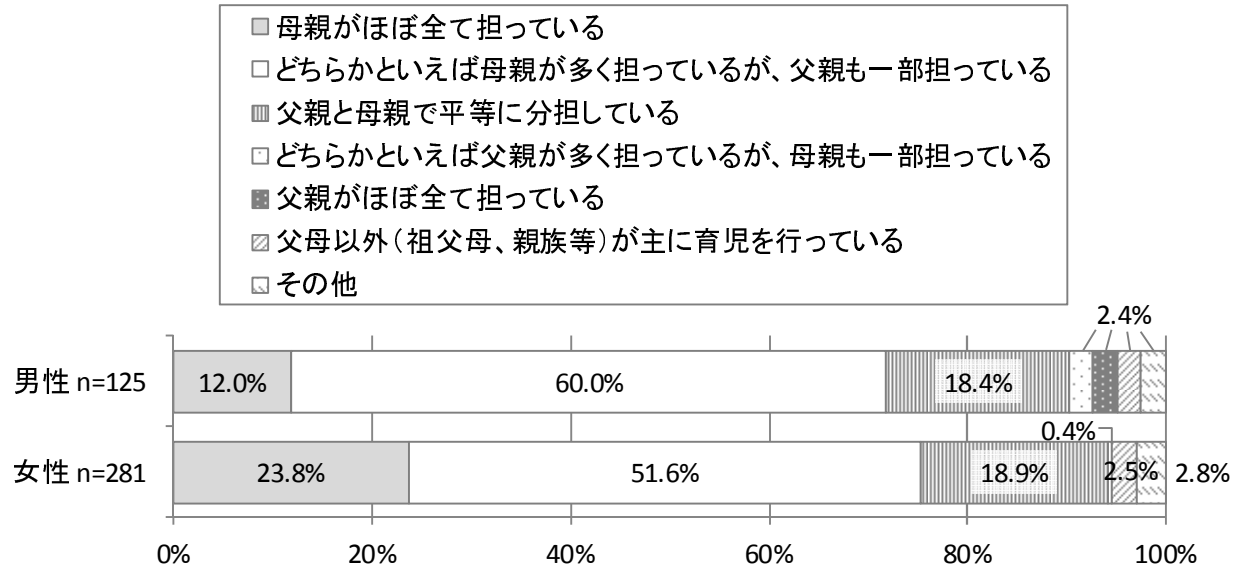
○全体では、「どちらかといえば母親が多く担っているが、父親も一部担っている」と回答した方が54.0%で最も多く、次いで「母親がほぼ全て担っている」が20.4%、「父親と母親で平等に分担している」が18.7%となっている。

○性別で見ると、「どちらかといえば母親が多く担っているが、父親も一部担っている」は男性、「母親がほぼ全て担っている」は女性の方の割合が大きくなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

- 家族全員で分担している。(【男性/既婚】30～34歳/西仙北、40～44歳/西仙北、45～49歳/中仙、【女性】30～34歳/仙北/既婚)
- 母と祖父母が平等に分担している (【女性/独身】25～29歳/協和、30～34歳/南外)
- 母、祖母が担っている (【女性/独身】35～39歳/大曲、【女性/既婚】30～34歳/中仙、35～39歳/太田)
- ほぼ母、時々姉 (女性/40～44歳/大曲/既婚)
- 平日は主に母親が育児しているが、休みの日は同じくらい父親も育児している (女性/35～39歳/大曲/既婚)

【問22】市が行っている結婚、出産、子育て支援事業へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。(自由記述形式)

※主要な回答を抜粋しています

□結婚について

○婚活イベントについて

- ・ 中高年の独身者が周辺に多くいるのを見て、市など婚活イベントによる出会いの場を提供し独身者に向けチラシなど配布した方がよいのではと思う。(女性/45～49歳/中仙/独身)
- ・ 市内で街コン等やDMでの案内等が少なく、そのような機会が少ないと思う。もし、街コンを行うとしても、会費等があるので自分では行きたくなかったため、会費は無料がいい。(男性/30～34歳/大曲/既婚)

- ・ 街コンなどの婚活イベントをもっとやってほしい。（男性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 婚活のイベントをもっと増やしてもいいと思います。（女性／35～39歳／中仙／既婚）
- ・ 以前、秋田県が主催する結婚支援センターに登録していて、イベントにも参加していましたが、「女性側」と「男性側」との思いが違うなど感じていました。女性は結婚相手を求めているも、男性は恋人を探しているような感じで、本当に結婚する気があるのか疑問だった。なので、「お見合い」のように結婚を前提にする方が婚活が進むと思う。（女性／40～44歳／太田／独身）
- ・ 結婚をチラつかせたサポートサービスのお金が高すぎます。母子家庭だと無理だし、時間が夜とか絶対無理。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 他の地域では、婚活パーティーへの参加に対し、助成金があるが大仙市にはそのような取り組みが見られない。また、毎年同じような街コンシステムで独身一人での参加には抵抗があるため、出会いの場として、検討が必要ではないか。（女性／30～34歳／大曲／独身）
- ・ 子育て支援は充実していると思う。結婚については、周りに30～40代の独身者が意外と多くいると感じます。結婚したいという意欲はあるが、出会いの場がない、という話を聞くので、もっと積極的に参加しやすいイベントがあればいいのではないかなと思う。（女性／35～39歳／協和／既婚）
- ・ 良く分かりませんが、出会いを求めている独身の方が気軽に出会える機会、場所があったらいいと思います。広報にも出ているようですが。（女性／40～44歳／仙北／既婚）
- ・ 婚活している方が、市開催のイベントに出席したら既婚者がいたとの事でした。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 婚活イベントについて、居酒屋などで行うのではなく自然体験やカフェなど日中に参加できるイベントがあれば、子育てしながらも再婚を考えている女性にとって助かります。（女性／25～29歳／協和／独身）
- ・ 情報発信の活用。結婚イベントの周知を若い世代に伝えてほしい。Twitter等。LINEでもよいのでは。災害時にTwitter情報が役に立ったので、公式情報で発信されると心強い。（男性／35～39歳／太田／既婚）
- ・ 若い人たちが県外等へ行かないように、就職の場がもっと増えるといいと思います。また、出会いのチャンスを増やすために街コンの開催等積極的に市が取り組んでくれると良いと思います。（女性／45～49歳／大曲／既婚）
- ・ 年齢の関係ない出会いの場があるイベントがあれば、いいのではないかなと思う。（男性／35～39歳／西仙北／既婚）

○その他

- ・ 一般的な「結婚適齢期」を過ぎても独身でいるのには、それなりの理由やトラウマがある。結婚している人たちにはより厚い支援を。けれど、そうでない人達を「結婚しろ、産めよ、増やせよ。」と追い詰めるのはやめてほしい。本当に。（女性／30～34歳／大曲／独身）
- ・ なかなか独身の人は、市がどのような支援事業をしているか、知る機会や環境が少なく、友人や知人から実際に体験して聞く事が多いと思います。それも1つの情報だと思います。皆が同じ生活環境ではないので、聞いた話が自分もそうなるとは限りませんが、身近な人から聞くので聞きやすいし、より自分の先を考えるのではないかなと思います。結婚までは考えると思うが、「出産や子育て、今後の生活」などの不安があり、人によってはできないという人も多いと思います。（女性／30～34歳／中仙／独身）

□出産について

○出産に関する経済的支援について

- ・ 出産祝い金があると嬉しい。やはり、タダでは子育てを出来ないのだから祝い金があると産後の生活にもゆとりが出来て、夫婦間の心のゆとりも出来るから助かります。(出産準備等、沢山出費もあるので) (女性/30~34歳/大曲/既婚)
- ・ 出産手当金などは数か月経ってからの支給なので、産休中~出産後の事を考えると、少しでも何かしらの経済的支援がないと、子供を産む気になれない。(女性/30~34歳/大曲/既婚)
- ・ 出産後に支援金等があれば良い環境になると思う。(男性/18~19歳/太田/独身)
- ・ 妊婦検診にも自己負担でお金がかかってしまう場合があるので、完全に無料となるのが理想です。出産、子育て支援は早急に進めていかないと産み育てる側が年齢的に遅くなってしまいます。先延ばしにせず今すぐにでも進めてほしいと思います。このアンケートが無駄にならないよう行動し、実現させてください。出産、子育て支援が充実するよう予算を設けてください。(女性/35~39歳/神岡/既婚)

○不妊に関する支援について

- ・ 不妊治療への支援が足りない。私は不妊治療を何年も続け、子供を授かりました。病院受診代や薬代、どれだけお金がかかったか。子供ができるのは当たり前ではありませんよ。不妊への周りの理解も必要。相談体制や支援について、もっと早めに沢山、そういった場所を設けるべきだと思う。(女性/35~39歳/大曲/既婚)
- ・ 私たち夫婦は不妊症の為、2週間に一度秋田市の病院へ通院しています。市の「不妊診療等助成事業」の対象要件は、夫婦の所得合計が730万円未満であり、私たちの所得はこれを若干上回ります。しかし、一度に負担する診療費は4~8千円と少なくありません。これに交通費等を勘案すると、手取りの給与では厳しいものがあります。助成を受けられる所得の要件を引き上げてほしいです。(男性/30~34歳/大曲/既婚)
- ・ 以前、不妊治療への理解がされていないと感じる事があった。(自分の周りで)不妊の事、気持ちなど、自分が身近なことにならなければ考えないだろうし、感じないだろうが、理解が広がってほしいと少し思います。(女性/30~34歳/中仙/既婚)
- ・ 結婚の支援も大切とは思いますが、それ以上に不妊に悩む女性が増えているので、そちらの支援をお願いしたいです。年齢の壁に悩んでいる人たちも多いです。ぜひ、そんな方たちの力になってください。(女性/35~39歳/神岡/既婚)

○産前、産後ケア関係

- ・ 里帰り先の自治体では産後2週間検診を行っていたので、大仙市でも実施、受診券の補助等があればよいと思いました。特に第一子だと授乳がうまくできているか、新生児黄疸の経過は問題ないか等、不安が多いので母乳相談とは別に産院で相談する場が欲しいです。(女性/25~29歳/大曲/既婚)
- ・ 里帰り出産している時は、すごく手厚くしてもらっていたが、大仙市に戻ると、乳腺炎になってマッサージをしてくれるところがなくて、本当につらかった。私の通っていた産婦人科はそこで産まないとだめだと言われた。じゃあ、どうすればいいのかを色々な病院に聞いたが、快く引き受けてくれるところはなかった。(女性/40~44歳/大曲/既婚)
- ・ 私は出産前、出産後にうつ状態になり、ひどい精神状態でした。周りにだいぶ救われましたが、第三者に話をしたり、聞いてもらおうとかなり救われました。こういった人を救う手を伸べてくれる支援があると今後そういう状態になった方が救われると思います。(女性/40~44歳/大曲/独身)

□子育てについて

○保育施設関係（入所、施設運営など）

- ・ 保育園に入れないと仕事に戻れないので、充実させてほしい。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 保育園の更新の手続きに関して、毎回書かなければならないことが多すぎて大変です。（子供の数が多いほど、同じことを書く回数が増える）変更点のみを訂正するような手続きにしてほしいです。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 保育園の開園の時間をもっと早めてほしい。（男性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 市は市民のみで成り立っているのではなく、他市町村もその経済活動の一端を担っております。秋田県は全国的に少子化といわれる中、子育てに市の区別をつけるべきではないのではと思います。特に、保育園は親が住んでいる市とは別の市町村へ預けていることは秋田では珍しくないのに、他市の保育所に預けたくてもその垣根が高すぎます。どの保育園に子供を預けるかはとても大きな問題で、大仙市にはその選択肢が少なすぎます。保育園に縛られ、親の就業形態が変わってしまうことは本末転倒です。ぜひ、市町村の垣根をなくして預けられるようにしていただきたい。（女性／35～39歳／協和／既婚）
- ・ 日曜日も保育園を開園してほしい。シフト次第で土日もあるため。（女性／35～39歳／仙北／既婚）
- ・ 夜間保育・幼稚の施設も設置するのはどうか？（日中だけではなく、夜間働いている人もいるため）お見合いパーティーも積極的に行ったら、どうだろうか？（男性／20～24歳／大曲／独身）
- ・ 自分の子供が保育園の時、3人目は保育園無料という制度が「3人保育園にいと無料」だった。上の子が卒園しても無料にしてほしかった。（今は変わったかもしれないが）子育てをするには、兄弟姉妹がいる家庭をもっと手厚くしてほしい。（男性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 今年から子育て支援に対して改善して頂きよかったです。保育所の途中入所が絶対に無理と言われたことは悲しく思いました。保育所入所について改善してほしいです。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 学童保育について、もうちょっと保育内容を充実させていただきたい。（月額5000円だが、ただ預かっているだけの印象です。ゲーム機持ち込み可というのもあまり賛成できません。）（男性／35～39歳／協和／既婚）
- ・ 保育園等中々入学できず、仕事復帰が難しい。もう少し保育現場を充実させてほしい。（女性／25～29歳／大曲／既婚）
- ・ 地区によって、3歳未満児の定員にひらきがあり不公平感をかなり感じた。隣の秋田市では、未満児の受け入れが充実しているのにも関わらず大仙市の対応にあまり満足していない。（男性／30～34歳／西仙北／既婚）
- ・ 仕事で帰りが遅い人でも大丈夫のように保育園は預けられる時間を伸ばしてほしい。夜の19時以降。（男性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 小児科が少なく、不安。病後児保育の利用方法が不便で結局利用していない。他市町村のように、保育園併設のところがあると安心。（女性／35～39歳／大曲／既婚）

○予防接種について

- ・ 全ての子供の予防接種の全額助成してほしい（インフルも全額）。給食費の無料化。今回、おたふく助成もありましたが、まだ受けていない子供、2回目の予防接種の子供の助成もしてほしい。横手市、美郷町などでできている事は大仙市でもぜひやってほしいと思う。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 予防接種の無償化。多子世帯（年齢が離れていると対象にならない事がある）第三子等。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 近隣の市より手厚い部分、他の市が良い部分色々ありますが、全体的に子育てしやすい市だと思います。予防接種への助成がもう少し広がるとありがたいです。でも、第二子が保育料無料になって驚きました。（H30.4.2～）（男性／30～34歳／協和／既婚）
- ・ 出産・子育て、いろいろ助成されていてよいと思う。予防接種について、三歳頃～次の接種まで期間があくので、はがき等でお知らせしてほしい。公園など、大曲郊外にもつくってほしい。（女性／35～39歳／中仙／既婚）
- ・ 前のページにも記入しましたが、任意の予防接種の個人の負担額が大きいのので、援助などがあるとありがたいと感じました。（女性／30～34歳／大曲／既婚）

○マル福について

- ・ 子育て支援として、子育て世帯への金銭的支援は有難いと思う反面、過剰な部分もあると思う。高校の授業無料なのも納得していない中、マル福を年齢を引き上げてまで充実させる方針には反対だ。本当に医療が必要な年齢に（未就学児まで、または小学生までだと思うので）して、お金をばら撒けば支援になるという考え方は、やめた方がいいと思う。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 大仙市は中学卒業まで医療費が無料なのは、本当に助かります。小さい時こそ、病院へはよく行くのでとても良いと思います。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 医療費の無料は大変助かっています。今年から？高校生も無料になるような流れなので大変助かりました。（男性／40～44歳／仙北／既婚）
- ・ 医療費の無料化はとっても助かっています。今現在、小学生になり、体も強くなり、あまり病院にかかるということはなくなってきましたが、それでも、歯科や急な体調不良で病院に行くことが多々あるので、やはり今後もこのような取り組みを続けてほしいです。（女性／35～39歳／太田／既婚）
- ・ 医療費の無料化で急な受診の時など祖父母に代わりに行ってもらう時など助かり、続けてもらえるとありがたいと思います。男性の育児休業取得がしやすい環境になれば産後の母親がとても助かるし、男性の家事・育児への参加促進につながると思います。（女性／45～49歳／神岡／既婚）
- ・ 特にありません。医療費無償などありがたいです。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ ひとり親の為、子供の医療費保障とても助かっています。病気をしなくともアレルギーや花粉症があるため、とてもありがたいです。自分の健康は、忙しいしお金が掛かるから、とつい疎かになるので子育て中の親への医療保障もあると更にうれしいです。（女性／30～34歳／大曲／独身）
- ・ マル福はとても助かっています。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ ひとり親にもマル福をお願いしたい。体調が悪く受診したいと思っても、親が病院に行くのは経済的に難しく、我慢せざるを得なく辛い。横手市のような支援があればと思っています。（女性／45～49歳／太田／独身）
- ・ マル福があるのはとてもありがたい。更なる子育て支援を願う。（女性／25～29歳／西仙北／既婚）
- ・ 医療費支援（マル福）が充実していて、とても助かっている。（女性／35～39歳／大曲／既婚）

○遊び場、公園等について

- ・ すくすく広場がなくなったり、まるこのひろばが16時までに短縮されたりと、遊び場が減っている。公園も整備されて遊びやすいが、大型の遊具やジャングルジムがある所、砂場がある所など、多様化すると毎日に変化が生まれるのでうれしい。毎月の乳児健康診断は有難いです。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ まるこのひろばみたいな所を増やし時間を長くしてほしい。児童館も小さい子も行ける用のおもちゃ等充実してほしい。イベント等も増やしてほしい。群馬県太田市は充実していてよかった。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ せっかく公園があるのに整備されていない所が沢山あります。子供たちが遊べるようにしていただけると嬉しいです。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 高校卒業後に進学する子供も増えてきているので、18歳になることに経済的な支援が受けられるようになるというのでは？全員に現金が給付されたり、子育て世代の負担が減るような支援があるといい。雨でも小さな子供が小学生まで、いろいろな年齢の子供が遊べる場がもっと増えてほしい。市内にある公園の遊具の点検・整備をし、使用できないところがないようになって、安心して遊べる場が増えてほしい。（女性／35～39歳／中仙／既婚）
- ・ 育児休業中、家の中で一人で育児をしており息がつかまっていた。まるこのひろばに行くことで息抜きをしていた。まるこのひろばの休日の日は、どこにも行けず苦しかった。まるこのひろばが休日の日に大曲で、別の子育てイベント等があればよかったと思う。一方、周りにはまるこのひろばで働いている方に自分のプライベート（親や仕事の事）な事を聞かれ、もう行きたくないと言っている人もいた。子育て期はナイーブになっている親もいるので関わり方に配慮した方が良いと思う。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 充実した支援ありがたく思っています。希望としては、土日が休みなので、ペアール等のキッズ講座などを、土日にもう少し増やしてほしいです。平日は連れていく時間がないので。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 遊具の点検はされているようですが、砂場も使える状態を保ってほしい。アプリ「すくすく花火」を活用したいと思いダウンロードしましたが、登録してログインしないと使えなかったり、情報もないので改善すべきだと思う。登録しないで地域の子育て情報を見やすく伝えてほしい。（女性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 公園の充実、雨天時の遊ぶ所（横手の駅前施設のような所）。（女性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 子育てアプリがあることで情報が得やすくなった。まるこのひろばの存在がとても大きいです。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 子供が遊べる施設を作してほしい。（男性／45～49歳／中仙／既婚）

○児童手当・児童扶養手当について

- ・ 子供手当を受け取る人を生計を立てている人だけではなく母親（生計を立てていない人）も選べるようにしてほしい。（女性／30～34歳／太田／既婚）
- ・ 子育てにおいて、収入によりお金がなく困るときもある。もう少し、子の多い世帯への住宅手当や児童手当を増やしてほしい。（女性／35～39歳／南外／既婚）
- ・ シングルマザーです。自分の両親と同居しており世帯が一緒なので児童扶養手当が支給されません。（所得制限）家計は分けているので支給してほしいと思います。自分の仕事の関係上、シングルマザーなので家族の協力がなくて仕事を続けていけないので、同居は子供のために必要な事だと思っています。（女性／35～39歳／大曲／独身）
- ・ 児童手当の額は一律で良いと思う。年齢によって変えなくても良いのでは。（男性／35～39歳／大曲／既婚）

- ・ 子育て支援事業等は大変良くやっているといます。児童扶養手当ですが、簡単な聞き取り調査だけではなくしっかりとした調査が必要だと思えます。中には籍を入れず元夫と子供を作っている、一緒に暮らしてはいるが手当の為に籍は入れない等多々いる状態です、今回は大変良い機会を作っていただいたので、ここに記入させていただきました。（女性／45～49歳／西仙北／独身）
- ・ 母子家庭なので手当をいただけてとてもありがたいです。これから子供が大きくなっていくとお金がどんどんかかりますので、更に支援を充実していただけるとありがたいです。（女性／35～39歳／大曲／独身）
- ・ 児童手当は、高校・大学まで支給されるとありがたいと思えます。（女性／40～44歳／神岡／既婚）

○子育て支援について

- ・ 子育てに魅力のある市にしてほしい。0～18歳までの期間制限で、あらゆる面で支援をお願いしたいです。（男性／40～44歳／大曲／既婚）
- ・ 就学援助制度の基準額が厳しめだと感じます。他市や他県では所得で基準額の認定がされている所もあるようですが、大仙市は収入額での認定なので、かなり支援される範囲が狭いと思えます。援助内容の段階をもうける等でも良いので、もう少し広い範囲（世帯）の援助をぜひお願いしたいです。給食費を一部でも良いので助成してほしいです。（女性／35～39歳／仙北／既婚）
- ・ 私は子供が3人います。（自分が子供を3人も授かるとは思っていませんでした）3人目が産まれた時、市の方からもう少し何かあればよかったな、と思いました（贅沢ですが）。いただいたゴミ袋も1人目、2人目と同じだったし。（女性／30～34歳／太田／既婚）
- ・ 子育て支援事業が他の市町村（県外も含む）と比べると大仙市は考え方が弱いと感じる。他と比べると魅力を感じない。（男性／30～34歳／中仙／既婚）
- ・ 子育て支援（金銭面特に）、保育料等支援がもっと充実してほしい。（女性／25～29歳／大曲／既婚）
- ・ 医療費の無料化や保育料の軽減化等、子育て世帯に対する経済的支援を積極的に行っていることに感謝しています。夫婦共働きであり、保育園や放課後児童クラブの整備に対しても、大変助かっています。（女性／35～39歳／大曲／既婚）

□出産・子育てについて

- ・ 現在、子供が2人います。3人目が欲しいと思っているが経済的に無理だと諦めている。周りの同世代も多くが、経済的理由から3人目を諦めている。3人目以降の出産や子育てへの経済的支援が絶対に必要だと思う。公務員の方々には理解し難いかも知れませんが、車や住宅ローンがある核家族は貯金する余裕ありません。コロナの影響で、これから益々収入は減ると思えます。（男性／30～34歳／大曲／既婚）
- ・ 結婚する人が少なくなっているのなら、結婚している世帯に子供を産みやすく、育てやすくする独自の対策を立てるべきだと思う。これでは、産むまでの検診は無料、または少額で助かるが、産んでからお金がかかるので生活するのにいっぱいいっぱいになってしまう。だから、少子化につながるのだと思えます。（女性／30～34歳／中仙／既婚）
- ・ 出産祝い金や、予防接種の助成が増えてとてもうれしいです。小児予防歯科（フッ素塗布）もあるといいなと個人的に思えます。他の自治体では助成があるので。（女性／35～39歳／大曲／既婚）
- ・ 副食費の無償化、ありがとうございます。医療費も自己負担がないため非常に助かります。出産祝い金（商品券）もう少し高額を支給してもらえればありがたい。（男性／30～34歳／大曲／既婚）

- ・ 大仙市の HP を見ましたが、妊娠・出産の項目なども設けられていて、いいなと思いました。一緒に親と住んでいるので、もし子育てするとなったら多少の安心感はありますが、一人だったらと考えるとやはり不安なので、そういった支援や手当等といった情報を提供する媒体がほしいと思いました。（女性／25～29 歳／大曲／独身）
- ・ 子供がいる家庭に対して、1 人なら〇万円、2 人なら年〇万円、3 人以上なら年〇万円というような定額助成金のようなものがあると子育てしやすい。今になって、出産した家庭に一時金を出すような制度を作られたようですが、昨年度以前に生まれた家庭にも助成金や給付金を行っていただきたい。他の市町村よりも遅れを取っています。（男性／35～39 歳／中仙／既婚）
- ・ 秋田市から 26 歳の時に大仙市へ結婚を機に移住。大仙市は秋田市よりも、子育てがしやすい市だと思う。医療費の無償化、保育料（給食費）の軽減等とても助かっている。妊娠から出産まで、どうしたら良いか、迷う事があまりなかった。スムーズであったと思う。妊娠、出産、会社復帰、子供の就学、進学までの手引きみたいなものがあると、生活の目途が立てやすく、安心して暮らせる助けになるのではないのでしょうか。（手当、サポート体制等が書かれたもの）（女性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 令和 2 年度からの子育て支援制度が充実していてすごいと思いました。出産祝い金とか医療費無料の延長等。市が子育てに力を入れているのが、目に見えて分かるので、税金を払っている意味があるなと思いました。（女性／30～34 歳／中仙／既婚）
- ・ 妊娠中、産休中、育休中の母親に経済的支援が欲しい。昨年出産し、育休手当や雇用保険から毎月もらっているが正直、生活が厳しい。（女性／25～29 歳／中仙／既婚）
- ・ 出産や子育てに関してはやはり大きいのが金銭面だと思う。中には、中高年になるにつれて、制服等の部分や細かな部分が負担になるため、子供をつくれぬ人もいないのではないかと。現在もだいぶ助けてもらっているが。（女性／35～39 歳／大曲／既婚）

□結婚・出産・子育てについて

- ・ 婚活パーティー（女性が参加したがるメリット）。出産費用全額免除。高校まで無償化。大学半額、3 分の 2 補助。（男性／35～39 歳／神岡／既婚）
- ・ これから子供を産む人たちにはどんどん支援をしてほしい。そして、今子供を育てている人たちにも支援をしてほしい。仕事しながら子供を育てるのはすごく大変です。子育て＝楽というイメージがなさ過ぎて結婚出産したいという人たちが減っている。今、子育てをしている人が大変とか苦しいイメージしかなく、楽しいイメージを独身の人に与えられなければこれから結婚等を考える人はいなくなると思う。経済的な面も含めて、今子育てしている人達にも手厚く支援してもらえたら助かるし、イメージアップにつながると思う。（女性／25～29 歳／仙北／既婚）
- ・ 全てに対して支援されていないと思う。現金給付やら、物資の支給、全てにおいて他県の自治体よりも遅れすぎている。（女性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 結婚、出産、子育て支援に関して、市が何か事業をしているのですか？知りませんでした。PR が足りないのか。取り組み自体が不十分なのか。（女性／45～49 歳／西仙北／独身）
- ・ 出会いのイベントや子育てしやすい環境づくりなど、今まで以上に良いものにしていただき、人口が増える事を願います。（女性／40～44 歳／太田／既婚）
- ・ 経済的支援を重要視。（男性／20～24 歳／西仙北／独身）

□その他

- ・ 支援しているのは知っている気がしますが、参加する気にはなれ（なり）ませんでした。（男性／20～24 歳／協和／独身）
- ・ これから生まれてくる子供が、夢や希望で満ち溢れる事を考えるような町づくりをしていただきたいと思います。（男性／25～29 歳／仙北／既婚）
- ・ かなり手厚いのではと思うのでありがたいが、新たな祝い金や無償化や助成等、他の自治体よりもやりすぎていて、今後の大仙市の財政面が心配。（女性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 若い世代の県外へ移住を少しでも防ぐため、祝い金の増大や支援をさらに充実させてほしい。（男性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 全国ニュースになる支援制度を期待しています。“人が集まる”、“人が増える”が最優先課題。充実した制度⇒人口増加⇒税収アップの好循環を生み出す。（男性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 人手不足もあり、若い人が多い。子供の事で仕事を抜け出すのも、とても気を遣う。母親が安定した職で働けない。（女性／30～34 歳／中仙／独身）
- ・ 各個人や生活環境、各自治体によって生活の差が違うので、もっと各自治体や、住んでいる方の要望を聞き取る事が必要ではないかと思えます。アンケートや集計のみで今後も何も変わらないのでは意味がないと思えます。各店舗や企業にも協力を促し、地域全体が発展、魅力的になってもらいたいです。（男性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 狭い地域なので、相談しようにも知人や人の繋がり知られてしまうのが恐くて、うまく相談できないと思ひ留まることも多い。県外からの第三者のような派遣や相談受付などがあると話しやすいかも。（プライバシー管理はしっかりやってもらって。）（女性／30～34 歳／大曲／既婚）
- ・ とても良くやってくれていると思ひます。感謝しています。（女性／45～49 歳／大曲／既婚）
- ・ 満足しています。ありがとうございます。（女性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 素晴らしいと思ひます。「大仙教育メソッド」地域を巻き込んで地域の方々との繋がりはとても良いと思ひます。まさしく、ワンチーム！（女性／45～49 歳／神岡／既婚）
- ・ 今でも充実しているが、もっと良くなしてほしい。（男性／30～34 歳／大曲／既婚）
- ・ 市の広報で散発的に目にするが、支援内容をまとめたリーフレット等があると分かりやすい。もっと PR した方が良いと思ひます。（男性／30～34 歳／大曲／既婚）
- ・ 市の広報等で結婚や子育て支援事業について記事があるのを目にするが、若い世代の人はあまり見ないと思ひます。ネット社会の今、様々な SNS 等を使って発信していくべきなのだと思う。（女性／25～29 歳／大曲／独身）
- ・ 子育ての時期は一瞬です。大切な時間を家族で過ごせるよう異性の育児参加が進めばよいと思ひます。（女性／35～39 歳／神岡／既婚）
- ・ 大仙市が現在行っている支援は、今後若い人がずっと大仙市で暮らせるように強力に支援をよろしく願ひしたいと思ひます。（女性／30～34 歳／大曲／独身）
- ・ いつも結婚、出産、子育ての環境を育てていただき、大変ありがたく感じております。このようなアンケートもその積極性の現れと感じます。どうぞ、これからも多くの意見を取り入れつつも、大事な事大切に、親と子供を主役にして支援を願ひできればと思ひます。（男性／45～49 歳／大曲／既婚）
- ・ そもそもどんなものがあるのか知らない。SNS で若い人たちに知ってもらひ機会を作ってはどうか？市のアカウントだと、取っつきにくいので新しくアカウントを設けた方がいいと思ひます。（女性／35～39 歳／大曲／独身）
- ・ 受けられる支援等を全て明らかにする。（男性／20～24 歳／大曲／独身）
- ・ 何を支援しているのか不明。（女性／40～44 歳／大曲／独身）

- ・ 支援の内容がわからない。（男性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 市が何をしているのか知らないなので、書面等で分かりやすくしてほしい。（男性／25～29 歳／大曲／既婚）
- ・ 何をしているのかわからない。（男性／35～39 歳／大曲／既婚）
- ・ 分かりません。（女性／20～24 歳／大曲／独身）
- ・ より良い給付金などがあれば人口増加につながると思う。（男性／30～34 歳／大曲／既婚）
- ・ 子育て支援の取り組みは一定の水準にあり、子育てしやすい街だと思う。問題は「子育て世代」の減少であり、大仙市だけではなく秋田県全体の課題だが少子高齢化に歯止めが掛からない主要因だと思う。コロナウイルスの流行で人口が多い大都市のリスクを若い世代が感じると思う。地方にとっては、地元に残ってもらえるチャンスと思うので、雇用や娯楽の充実等により若い世代に魅力的な街づくりを期待したい。（男性／30～34 歳／大曲／既婚）
- ・ 若い人たちに対する健康診断が少ないと思う。これからの人達（子供を育てていく人達）がしっかり健康診断を受けられるように、市でもお金を使ってほしい。もっと、特定検診の項目を増やし、補助をしてほしい。（女性／35～39 歳／中仙／既婚）
- ・ 安定した雇用機会が増えるといいと思う。また、公園などの施設や環境を整備していただきたい。（男性／35～39 歳／西仙北／既婚）

◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 独身者への「結婚に対する考え」を伺った結果、「早めに結婚したい」「いずれは結婚したい」が全体の約半分を占めており、「結婚したいができそうにない」を合わせると、全体の約7割の方が「結婚したい」意向を持っていることが分かった。一方、「結婚するつもりはない」と答えた方が3割近くおり、「結婚したいができそうにない」と回答した方と合わせてその理由を伺ったところ、「結婚したいと思える相手がいない」「出会いの機会がない」「結婚生活に希望が見出せない」などの回答が多い結果となった。こうした状況を踏まえ、結婚に対する多様な価値観や意識を受け止めながら、これまでの施策を検証するとともに、行政としての今後の支援のあり方について再検討することとする。
- 結婚相手との出会いのきっかけについて見ると、全体では「友人・知人等の紹介」「職場や仕事」「学校」が約8割を占める一方、年齢区別に見ると、20～24歳で「旅先や街なか」「インターネット、SNS」が25%を超えており、また、25～29歳で「インターネット、SNS」が16%となるなど、他の年齢層とは異なる特徴が浮き彫りとなった。こうした「きっかけ」については、プライベート色が強く行政による関わりが難しい分野ではあるが、今後このような傾向が拡大する可能性があることから、新たなサポートのあり方について検討する必要があると考える。
- 結婚に対する支援策としてどのような取組が重要だと思うかについて伺ったところ、「安定した雇用の確保」「住宅取得や家賃、リフォームへの経済的支援」「結婚祝金の支給」などが求められていることが分かった。こうした取組については、既に取り組んでいる施策も多いことから、現行施策の周知を一層強化するとともに、所要の拡充についても検討を行う必要があると考える。また、女性の回答を見ると「地域や職場の理解に向けたPR」「男性の家事や育児への参加を促すPR」が重要であるとの意見が多くあることから、こうしたPR活動のより一層の強化も必要であると考えます。
- 理想的な子どもの人数について伺ったところ、「2人」及び「3人」とする回答が全体の9割を超える結果となった。特に女性の意見を見ると「3人」が理想と回答している方が約4割を占めており、現実の出生との乖離があることが伺えた。その乖離の理由については「出産・子育てや教育にお金がかかりすぎるから」「現在の収入が十分でないから」「高齢出産になるから」「育児の精神的、身体的負担が大きいから」などの回答が多い状況であり、こうした問題・課題の解消に繋がる施策の充実について検討が必要であると考えます。
- 出産・子育て支援における重要な取組について伺ったところ、「子育て世帯に対する経済的支援」「職場環境の充実による仕事と家庭生活、子育てが両立しやすい環境づくり」「保育園、放課後児童クラブなどの施設整備・内容の充実」などが挙げられた。こうした取組については、既に取り組んでいる施策も多いことから、現行施策のPRを図るとともに、さらなる施策拡充も検討すべきと考える。また、女性の意向を見ると、「職場環境の充実による仕事と家庭生活、子育てが両立しやすい環境づくり」のウエイトが男性に比べ大変高くなっていることから、こうした環境づくりに向けた様々なアプローチが特に必要であると考えます。